

2001年3月

## ホンダ フォルツァ T / ST



フォルツァと、アイドルストップシステムやABSを採用したフォルツァSのそれぞれに、積載性をアップさせるトップボックスを標準装備したT/STが追加。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒●249cc●22P/7000rpm●2.4kg-m/5500rpm●176kg/181kg(装備)●110/90-13-130/70-12●55万9000円/60万9000円

2001年3月

## スズキ グラストラッカービッグボーイ



エンジンや車体は基本的にグラストラッカーと共通だが、ホイールを前19・後18インチと大径化して走破性を高めるとともに、車体をより大柄なイメージに見せている。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●249cc●20P/7500rpm●2.1kg-m/6000rpm●127kg(乾燥)●100/90-19-130/80-18●39万4000円

2001年4月

## ヤマハ XJR400R



樹脂製ピストン採用のキャブレターや軽量リアホイールの採用、さらに前後ともにラジアルタイヤを装備するマイナーチェンジを受け、走行性能をアップ。

●空冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●399cc●53P/11000rpm●3.6kg-m/9500rpm●176kg(乾燥)198kg(装備)●110/70ZR17-150/70ZR17●60万9000円

2001年6月

## ホンダ ズーマー



アルミモジュールフレームにスチールフレームを組み合わせ、クリーンな水冷4ストエンジンを搭載。シート下をフリースペースとしたユニークなモデル。

●水冷4ストOHC2バルブ単気筒●49cc●4.9P/8000rpm●0.46kg-m/7000rpm●79kg(乾燥)84kg(装備)●120/90-10-130/90-10●18万9000円

2001年8月

## ホンダ ゴールドウイング



ゴージャスなラグジュアリーツアラーのゴールドウイングが13年ぶりに全てを一新してフルモデルチェンジ。フラット6エンジンは1800ccまで排気量拡大、軽量で剛性も高い新設計のアルミフレームも採用。

●水冷4ストOHC2バルブ水平対向6気筒●1832cc●116P/5500rpm●17.0kg-m/4000rpm●386kg(乾燥)415kg(装備)●130/70HR18-180/60HR16●30万円

2001年9月

## カワサキ バルカン1500ミーンストリーク



北米で「猛獣」を意味する英単語「ミーンストリーク」をその名に冠したクルーザー。強力なブルーキヤラジアルタイヤ装着で走りはスポーティ。

●水冷4ストOHC4バルブV型2気筒●1470cc●64P/5300rpm●11.0kg-m/3000rpm●289kg(乾燥)315kg(装備)●130/70HR17-170/60HR17●122万円

2001年3月

## カワサキ ZZR400



スベック自体に変更はないが、排ガス規制への対応でパワーが若干低下。これに合わせて減速比を変更するなどして対応している。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●399cc●53P/11000rpm●3.8kg-m/9000rpm●197kg(乾燥)●120/60ZR17-160/60ZR17●69万4000円

2001年4月

## ホンダ シルバーウイング



国産スクーター初のPGM-FI付き360度クラック水冷DOHCツインを搭載。φ41mm正立フォークに5段階イニシャル調整リアサスなど、足まわりも充実。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●582cc●49P/7000rpm●5.4kg-m/5500rpm●215kg(乾燥)236kg(装備)●120/80-14-150/70-13●74万9000円

2001年6月

## ホンダ FTR [カラーオーダープラン]



FTRにもカラーオーダープランが登場。70タイプ(通常色含む)の中から、自分に合った色の組み合わせを選択し注文できる。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●223cc●19P/7000rpm●2.1kg-m/6000rpm●126kg(装備)●120/90-18-120/90-18●34万9000円(スタンダード)/35万9000円(トリコロール)

2001年7月

## ヤマハ XJR1300



ホワイトカラーを追加ラインアップ。この車体色のモデルのみ、ブラックに塗られたエンジンとゴールドホイールを採用しているのも特徴。

●空冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1250cc●100P/8000rpm●10.0kg-m/6500rpm●222kg(乾燥)●120/60ZR17-180/55ZR17●94万円/95万円(ブルー)

2001年8月

## ヤマハ TMAX



ビッグスクーター人気の中、一般的なスクーターでは味わえないスポーティな走りを実現するために、フレームからエンジン、駆動系にまで独自のメカニズムを採用して誕生。デビュー直後から、スポーツバイクに引けを取らない機敏な走りを味わえることが注目された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●499cc●38P/7000rpm●4.5kg-m/5500rpm●198kg(乾燥)218kg(装備)●120/70S14-150/70S14●74万円

2001年10月

## ホンダ VTX



PGM-FIを採用する強力な1800cc水冷Vツインを、大柄な車体へ搭載。生産はホンダ・アメリカが担当しているが、この年から国内向けにも販売が開始。

●水冷4ストOHC3バルブV型2気筒●1794cc●102P/5000rpm●16.2kg-m/3000rpm●320kg(乾燥)343kg(装備)●130/70HR18-180/70HR16●160万円

2002年

## ヤマハ BT1100ブルドッグ



ドラッグスター1100系の空冷Vツインエンジンを吸気系への見直しでパワーアップしたものを、スチール製のツインチューブバックボーンフレームへ搭載したネイキッドスポーツ。生産はイタリアのベルガモネ・ヤマハが担当しているだけに、イタリアンデザインが光る美しいスタイルも魅力。

●空冷OHC2バルブV型2気筒●1063cc●65PS/5500rpm●9.0kg-m/4500rpm●229.5kg(乾燥)  
●120/70ZR17-170/60ZR17●輸出車

2002年

## ホンダ CBR954RR



初代のCBR900RRファイヤーブレードから数えて五代目のモデルで、車名の通りに排気量は954ccまでスケールアップ。車体関係も一新して走りやすさを掛けた。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●954cc●150.9PS/11250rpm●10.7kg-m/9500rpm●168kg(乾燥)●120/70ZR17-190/50ZR17●輸出車

2002年

## カワサキ GPZ900R



ブラックと、ライムグリーンの2色のラインアップに。型式はA15となっている。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●908cc●108PS/9500rpm●8.5kg-m/8500rpm●234kg(乾燥)●120/70ZR17-150/70ZR18●輸出車

2002年6月

## スズキ スカイウェイブ650



国産スクーターでは最大排気量を誇るエンジンで、快適装備を満載した巨体を軽々と走らせるツアラー的ビッグスクーター。クラス初の電子制御CVTミッションは、有段式のマニュアル変速操作も可能。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●638cc●50PS/7000rpm●6.1kg-m/5000rpm●238kg(乾燥)●120/70R15-160/60R14●85万9000円

2002年1月

## ホンダ VFR



V4エンジンを搭載するスポーツツアラーであるVFRがフルモデルチェンジ。VTECとインジェクションを組み合わせたV4エンジンに、アップマフラーやプロアームをはじめとした最新テクノロジーを満載。

●水冷4ストDOHC4バルブV型4気筒●781cc●80PS/9500rpm●7.0kg-m/7500rpm●215(乾燥)243kg(装備)●120/70ZR17-180/55ZR17●105万円

2002年

## ヤマハ YZF-R1



98年の初代から数えて三代目となる02年型。エンジンへの燃料供給をキャプテナーからサクシヨナルバルブ付きフューエルインジェクションに変更、さらに2軸式EXUPも採用しエンジンはさらに強力に。フレームの剛性バランス改善、フロントフォークの大径化、スイングアームの変更など、車体も大きく進歩した。

●水冷4ストDOHC5バルブ並列4気筒●998cc●152PS/10500rpm●10.7kg-m/8500rpm●174kg(乾燥)●120/70ZR17-190/50ZR17●輸出車

2002年

## ヤマハ TDM900/A



ヨーロッパで支持されるオールラウンドモデルの3代目。路面を選ばない軽快な走りと、長い航続距離、優れた快適性は健在。

●水冷4ストDOHC5バルブ並列2気筒●897cc●86.2PS/7500rpm●9.06kg-m/6000rpm●190kg(乾燥)●120/70ZR18-160/60ZR17●輸出車

2002年

## カワサキ Ninja ZX-9R



エンジンはクランクマス増量やCVKDφ40mmキャブの採用など、細部まで煮詰められている。排ガス対策も施され、車重は3kg増となっている。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●899cc●144PS/11000rpm●10.0kg-m/9200rpm●186kg(乾燥)●120/70ZR17-190/50ZR17●輸出車

2002年1月

## ホンダ CB400スーパーフォア



この年のマイナーチェンジでは、ハイパーVTECスペックⅡのバルブ切り替えタイミングを変更することで、中速域でのパワー特性の向上を図ったのが最大のポイント。フォークにカバーが追加され、ボトムケースも変更、サスセッティングも見直された。盗難対策に有効なH-I-S-Sが400ccクラスで初採用されたのもこのモデル。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●399cc●53PS/11000rpm●3.9kg-m/9500rpm●169(乾燥)189kg(装備)●120/60ZR17-160/60ZR17●62万9000円

2002年1月

## カワサキ エストレヤRS



2002モデルでは01モデルのグラフィックをベースに、鮮やかな黒×赤とモノトーン調のブロンズ×グレーのカラーリングを採用した。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●249cc●20PS/7500rpm●2.0kg-m/6000rpm●142kg(乾燥)●90/90-18-100/90-17●46万円

2002年2月

## カワサキ エリミネーター



カラーリングに新色のメタリックコメットブラックとメタリックオーロラブルーの2色を採用。ロー&ロングの存在感あるデザインをさらに引き立てた。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●124cc●12PS/9000rpm●1.0kg-m/8000rpm●132kg(乾燥)●90/90-17・130/90-15●32万9000円

2002年3月

## スズキ バンバン200



ファットなタイヤが特徴の個性的なスタイルで、70年代に大人気モデルとなったレジャーバイク・バンバンシリーズ。その独特のデザインテイストを現代に復活させたストリート系トラックモデルがバンバン200。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●199cc●16PS/8000rpm●1.5kg-m/7000rpm●118kg(乾燥)●130/80-18・180/80-14●32万9000円

2002年2月

## ホンダ エイプ100



50ccだったエイプに、パワフルなXR100系の99cc空冷シングルエンジンを搭載。軽快な走りで4ミニブームの大きなきっかけとなった。エンジン以外にも、ロングシートとタンデムステップが装備され、フレームやリアホイールも強化されていてタンデムが可能。カラーオーダープランも設定されていた。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●99cc●7.0PS/8000rpm●0.71kg-m/6500rpm●82(乾燥)187kg(装備)●120/80-12・120/80-12●24万9000円(スタンダード)/26万4000円(カラーオーダープラン)

2002年3月

## カワサキ バルカン150クラシック Fi



KLEENを搭載したVツインやフランジレスタンクなどの装備はそのままに、車体色を深みのあるグリーンとグレーのツートンカラーに。

●水冷4ストOHC4バルブV型2気筒●1470cc●63PS/4700rpm●11.5kg-m/2500rpm●229kg(乾燥)●130/90H16・150/80H16●115万円

2002年3月

## ヤマハ XJR1300



ディーパーブリッシュブルーメタリックCとブルーイッシュシルバーの4色の2色を世界統一カラーとしてラインアップ。シルバー3も継続販売された。

●空冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1250cc●100PS/8000rpm●10.0kg-m/6500rpm●222kg(乾燥)●120/70ZR17・180/55ZR17●95万円

2002年2月

## カワサキ バルカンクラシック



クラスを感じさせない堂々たるスタイリング。シックなキャンディカラーディアルレッドを車体色にフィーター。

●水冷4ストOHC4バルブV型2気筒●399cc●33PS/8500rpm●3.3kg-m/4500rpm●234kg(乾燥)●130/90H16・140/90H16●66万4000円

2002年2月

## ホンダ FTR



盗難抑止システムとして別売のアラームキットが装備できるプレワイヤリングが追加装備された。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●223cc●19PS/7000rpm●2.1kg-m/6000rpm●126kg(装備)●120/90-18・120/90-18●32万9000円(スタンダード)/35万9000円(カラーオーダープラン)

2002年2月

## ホンダ FTR223D



FTR223Dは、1986年に発売されていたFTR250風のトリコロールカラーを採用したことに加えて、赤白のツートンシートの採用、前後アルミリムにクリアアルマイトを施し、ダートでの走行性能も高めたモデル。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●223cc●19PS/7000rpm●2.1kg-m/6000rpm●126kg(装備)●120/90-18・120/90-18●35万9000円

2002年2月

## カワサキ D-トラッカー



2002年モデルではシートとホイールも黒で統一したエポニーと、シートとホイールをブルーとしたポーラホワイトの2色をラインアップ。

●水冷4ストDOHC4単気筒●249cc●29PS/9000rpm●2.5kg-m/7000rpm●119kg(乾燥)●110/70H17・130/70H17●47万9000円

2002年3月

## カワサキ バルカン150クラシックツアラー Fi



大型ウインドシールドやサイドバッグを採用するバルカン1500のバリエーションモデル。黒と赤のツートンカラーを車体色に採用。

●水冷4ストOHC4バルブV型2気筒●1470cc●63PS/4700rpm●11.5kg-m/2500rpm●235kg(乾燥)●150/80H16・150/80H16●139万円

2002年3月

## カワサキ エプシロン250



当時カワサキと業務提携をしていたスズキからOEM供給されたスカイウェイブ250Sが、カワサキ唯一のスクーターとしてエプシロン250という車名で販売されていた。メカニズムや装備類は基本的にスカイウェイブのままでしたが、カラーリングはエプシロン独自のものだった。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒●249cc●23PS/7000rpm●2.5kg-m/6000rpm●161(乾燥)185kg(装備)●110/90-13・130/70-13●57万円

2003年5月

## ヤマハ マジェスティC リミテッドエディション



専用色としてレッドとブラックを採用。メッキ仕上げのヘッドライトエクステンション、レッド文字盤メーターなど、専用装備が与えられた期間受注生産モデル。

- 水冷4スト OHC2バルブ単気筒 ●249cc ●22PS/7500rpm ●2.3kg-m/6000rpm ●171kg(装備) ●110/90-12-130/70-12 ●59万9000円

2003年5月

## ヤマハ シグナスX



新開発の4バルブ&メッキシリンダー採用の125ccエンジン、安定性の高い12インチホイールを履くボディに搭載。スポーティなスタイルで実用性も高い。

- 空冷4スト OHC4バルブ単気筒 ●124cc ●10.4PS/8500rpm ●0.94kg-m/7500rpm ●110(乾燥)119kg(装備) ●110/70-12-120/70-12 ●30万9000円

2003年5月

## ヤマハ グランドアクシス100



2ストローク・ケースリードバルブシングルエンジンなどの基本構成をそのままに、エアシュラウドの二重構造化や排ガス浄化装置の仕様変更により騒音を低減。外装関係ではフロントグリルのデザインを変更し、新色も採用。

- 空冷2スト・クランクケースリードバルブ単気筒 ●101cc ●10PS/7000rpm ●1.1kg-m/6000rpm ●95kg(装備) ●110/70-12-120/70-12 ●21万5000円

2003年5月

## ヤマハ パッソル



電動スクーター・パッソルが、地域限定発売から全国発売へ移行。先行販売版から一部仕様変更も受け、価格はアップした。

- 交流同期電動機 ●0.58kW ●45kg ●60/100-12-60/100-12 ●24万円

2003年6月

## カワサキ エストレヤRS クロームバージョン



燃料タンクをはじめ、サイドカバーやヘッドライトボディなど各部にクロームメッキパーツを多用した特別仕様。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ●249cc ●20PS/7500rpm ●2.0kg-m/6000rpm ●142kg(乾燥) ●90/90-18-110/90-17 ●47万円

2003年7月

## カワサキ W650 クロームバージョン



フューエルタンクとサイドカバーにクローム×ブラックのコンビネーショングラフィックを採用。各所にクロームパーツを多用した特別仕様車。

- 空冷4スト OHC4バルブ並列2気筒 ●675cc ●50PS/7000rpm ●5.7kg-m/6000rpm ●195kg(乾燥) ●100/90H19-130/80H18 ●71万6000円

2003年7月

## ホンダ CBR600RR



センターアップマフラーやユニットプロリンクなど、車体からエンジンまでRC211Vの技術も注して開発された、ミドルスーパースポーツ。国内仕様は日本の規制にに合わせて最高出力は69PSとされているが、スポーティな乗り味は損なわれていない。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ●599cc ●69PS/11500rpm ●5.2kg-m/7500rpm ●171(乾燥)199kg(装備) ●120/70ZR17-180/55ZR17 ●89万円

2003年8月

## ホンダ CB1300スーパーフォア



2003年2月に初のモデルチェンジが行なわれたCB1300SF。8月にはパールヘロンブルー×フォアスミルバーメタリックの新色が追加された。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ●1284cc ●100PS/7000rpm ●11.9kg-m/5500rpm ●254kg(装備) ●120/70ZR17-180/55ZR17 ●98万円~99万円

2003年8月

## ホンダ フォルツァ・TYPE X スペシャル



ピュアブラックを基調に、マルチグラデーションストライプで個性を強調。足まわり、エンジンまわりはブラック塗装仕上げ。1000台の限定販売。

- 水冷4スト OHC2バルブ単気筒 ●249cc ●22PS/7000rpm ●2.4kg-m/5500rpm ●172kg(装備) ●110/90-13-130/70-12 ●58万9000円

2003年8月/3月

## スズキ SV1000/S



パワフルな走り特徴のスカイウェイブ。そのスポーツイメージを強調するタイプSが、02年秋の250に続いて400にも追加された。

- 水冷4スト OHC4バルブ単気筒 ●385cc ●32PS/7500rpm ●3.3kg-m/6000rpm ●181kg(乾燥) ●110/90-13-130/70-13 ●61万9000円

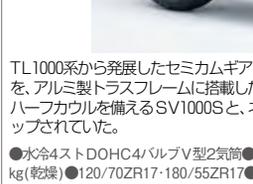
2003年9月

## ホンダ フェージョン・TYPE X スペシャル



マットアクシスグレーメタリックの車体色をベースに、インナーカバーをホワイト、シートをブラックとホワイトのツートーンとした。500台限定モデル。

- 水冷4スト OHC2バルブ単気筒 ●244cc ●19PS/7500rpm ●2.1kg-m/5000rpm ●170kg(装備) ●110/100-12-120/90-10 ●51万9000円



TL1000系から発展したセミカムギアトレン機構を採用した強力な水冷Vツインエンジンを、アルミ製トラスフレームに搭載したビッグVツインスポーツ。エッジの効いたデザインのパワーカウルを備えるSV1000Sと、ネイキッドバージョンのSV1000の2タイプがラインアップされていた。

- 水冷4スト DOHC4バルブV型2気筒 ●995cc ●94PS/8500rpm ●9.2kg-m/7000rpm ●186/189kg(乾燥) ●120/70ZR17-180/55ZR17 ●90万円/95万円

2004年

ヤマハ **YZF-R1**



剛性をアップしたデルタボックスVフレームを新設計。エンジンも新ユニットで最高出力が172PSにアップし、ブレーキにはラジアルマウントキャリパーを採用。

●水冷4ストDOHC5バルブ並列4気筒●398cc●172PS/12500rpm●10.6kg-m/10500rpm●172kg(乾燥)●120/70ZR17・190/50ZR17●輸出車

2004年

ホンダ **XL650V トランザルプ**



スティード系をベースとした水冷52度Vツインを搭載。楽しめる中堅アルプスローダーとして、欧州では根強い人気を保っている。

●水冷4ストDOHC3バルブV型2気筒●647cc●53PS/7500rpm●5.6kg-m/5500rpm●191kg(乾燥)●90/90-21・120/90-17●輸出車

2004年

ヤマハ **FZ6-N**



特徴的なヘッドライトを持つノンカウルのFZ6-Nはオールラウンダー。通勤からスポーツツーリングまでをこなす。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●600cc●98PS/12000rpm●6.4kg-m/10000rpm●180kg(乾燥)●120/70ZR17・180/55ZR17●輸出車

2004年

ヤマハ **FZ6-S フェーザー**



YZF-R6直系の水冷4気筒エンジンを搭載するストリートスポーツ。2005年モデルにはカラーリングを変更。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●600cc●98PS/12000rpm●6.4kg-m/10000rpm●187kg(乾燥)●120/70ZR17・180/55ZR17●輸出車

2004年

スズキ **GSX-R600**



750とともにこの年フルモデルチェンジ。激化する600ccクラスのレースに対応して、ニューエンジンと倒立フロントフォークなどで戦闘力を向上。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●599.4cc●120PS/13000rpm●7.1kg-m/10800rpm●161kg(乾燥)●120/70ZR17・180/55ZR17●輸出車

2004年1月

ホンダ **FTR**



従来の車体色であるキャンディタヒチアンブルー、ブロンズシルバーメタリック、トリコロールに加え、新色キャンディフレイズオレンジを採用。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●223cc●19PS/7000rpm●2.1kg-m/6000rpm●126kg●120/90-18・120/90-18●33万9000円～35万9000円

2004年1月

ヤマハ **ドラッグスター250**



重厚感とクルーザーイメージを強調したブラックと、淡い色を織込み暖かさを表現したパールホワイトの新色2色ヘカラーリングを要。

●空冷4ストOHC2バルブV型2気筒●248cc●23PS/8000rpm●2.2kg-m/6000rpm●159kg●80/100-18・130/90-15●49万9000円

2004年1月

スズキ **ST250/E タイプ**



空冷2バルブシングルエンジンを、オーソドックスな車体に搭載するベーシック250ccスポーツ。タイプEは各部にメッキパーツが装着されている仕様。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●249cc●20PS/7500rpm●2.2kg-m/6000rpm●127/129kg(乾燥)●90/90-118・110/90-18●36万6450円/39万7950円

2004年1月

ホンダ **VFR**



新色のデジタルシルバーメタリックを採用。ホイールカラーと車体ロゴも変更。また、キースイッチにハザード専用ポジションを追加し、使い勝手も向上させた。

●水冷4ストDOHC4バルブV型4気筒●781cc●80PS/9500rpm●7.0kg-m/7500rpm●243kg●120/70ZR17・180/55ZR17●105万円

2004年1月

ヤマハ **ゼロー225W**



人気だったブラックは、グラフィックを進化させ、さらに洗練させたイメージに。爽快な大自然をイメージしたブルーメタリックはそのまま継続販売。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●223cc●20PS/8000rpm●1.9kg-m/7000rpm●122kg●2.75-21・120/80-18●38万9000円

2004年1月

ホンダ **CB750**



04年モデルでTPS付きキャブとリザーバータンク付きリアサスを採用。HISSを標準装備するなど細部の熟成が図られた。カラーリングはCB750Fを想わせるものになっている。

●空冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●747cc●75PS/8500rpm●6.5kg-m/7500rpm●235kg●120/70R17・150/70R17●72万9000円

2004年9月

ヤマハ **TMAX**



エンジンはFI化でトルクアップ。フロントフォーク強化、Fブレーキのダブルディスク化、リアホイール15インチ化、ラジアルタイヤ採用など、足まわりが大きく進化している。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●499cc●38PS/7500rpm●4.6kg-m/4500rpm●225kg●120/70R14-160/60R15●84万9450円

2004年10月

スズキ **GSX400 インパルス**



80年代から続く伝統の車名・インパルス。99年を区切り一旦はラインアップから外れていたものの、04年に復活。外装パーツ、さらにエンジンも排ガス対策を施されるなど、多くの相違点がある。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●399cc●53PS/11000rpm●3.8kg-m/9500rpm●177kg(乾燥)●110/70-17-140/70-17●66万450円

2004年11月

ホンダ **Vツインマグナ**



“SPIRIT OF THE PHOENIX”の立体エンブレムと新デザインのロゴを装着。強化ハンドルロック機構や強化キーシリンダーなどを採用。新色のブラックも追加。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●249cc●27PS/10000rpm●2.3kg-m/7500rpm●184kg●120/80-17-150/80-15●57万7500円

2004年12月

カワサキ **ゼファー1100**



車体色のラインアップはそのまま、新パターンのグラフィックに変更、同時にフレーム塗色もストイックブラックとされた。

●空冷4ストDOHC2バルブ並列4気筒●1062cc●86PS/7500rpm●8.5kg-m/7000rpm●245kg(乾燥)●120/70-18-160/70-17●90万1950円

2004年12月

カワサキ **ZR-7S**



高速走行時にライダーにかかる風圧を低減させるハーブフェアリング装着の7Sは、前モーターから車体色を含め変更なし。リサイクルマークが追加された。

●空冷4ストDOHC2バルブ並列4気筒●738cc●67PS/9000rpm●5.8kg-m/7500rpm●209kg(乾燥)●120/70ZR17-160/60ZR17●70万8750円

2004年10月

ホンダ **CBR1000RR**



4月に発売されたばかりのCBR1000RRが初のマイナーチェンジ。タンクカバーにオーバークートクリア処理を施し、ハザードランプも標準装備している。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●998cc●94PS/10000rpm●8.6kg-m/6000rpm●210kg●120/70ZR17-190/50ZR17●121万8000円

2004年10月

ホンダ **CBR1000RR・スペシャルエディション**



MotoGPのホンダ・ワークスであるレプソル・ホンダ・チームが走らせているRC211Vのレプリカカラーを採用したスペシャルエディションで、700台限定で発売された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●998cc●94PS/10000rpm●8.6kg-m/6000rpm●210kg●120/70ZR17-190/50ZR17●131万2500円

2004年11月

ホンダ **シャドウ<750>**



メッキ処理されたサイドスタンドや、リアホイールハブの表面をバフ仕上げとするなど、細部の質感を向上。立体エンブレムをタンク上に装着。

●水冷4ストDOHC3バルブV型2気筒●745cc●44PS/5500rpm●6.3kg-m/4500rpm●252kg●120/90-17-160/80-15●76万6500円

2004年11月

ホンダ **VFR**



変更はカラーチェンジのみで、ニューカラーとして鮮やかなイメージのウイングレッドを追加。すでに好評を得ていたデジタルシルバーマタリックと合わせた2色設定。

●水冷4ストDOHC4バルブV型4気筒●781cc●80PS/9500rpm●7.0kg-m/7500rpm●243kg●120/70ZR17-180/55ZR17●110万2500円

2004年12月

カワサキ **ZRX1200R**



新色を設定し、フレームの塗装は高級感のあるストイックブラックを採用。アルミハンドルが新たに装着され、エンジンカバーやフォークアウターチューブの色を変更。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1164cc●95PS/7500rpm●10.3kg-m/3500rpm●224kg(乾燥)●120/70ZR17-180/55ZR17●102万3750円

2004年12月

カワサキ **ゼファー750**



新たにカラーリングがストライプを追加したメタリックマジェスティックレッドとエボニーの2色のラインアップとなった他は変更点なし。

●空冷4ストDOHC2バルブ並列4気筒●738cc●68PS/9000rpm●5.5kg-m/5500rpm●204kg(乾燥)●120/70-17-160/70-17●70万8750円

2004年12月

カワサキ **W650**



新色のメタリックオーシャンブルーとギャラクシースilverタイプ2が登場。シルバーはサイドカバーも同色に。性能や諸元は変更なし。

●空冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●675cc●50PS/7000rpm●5.7kg-m/5500rpm●195kg(乾燥)●100/90-19-130/80-18●72万3000円

2005年2月

ヤマハ **マジスティ C**



スモーククリア仕上げのマフラープロテクターとマフラーエンドキャップを新採用。カラーリングは従来のブラックとホワイトが継続ラインアップ。

- 水冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 249cc ● 22P S / 7500rpm ● 2.3kg・m / 6000rpm ● 171kg ● 110/90-12-130/70-12 ● 61万1100円

2005年2月

ホンダ **XR100/50モタード**



エンジン・車体は基本的にエイブがベースだが、前後アルミホイール&ディスクブレーキ、モタード風外装などでイメージを一新している。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 99cc ● 6.5P S / 8000rpm ● 0.67kg・m / 6000rpm ● 82kg (乾燥) ● 120/80-12・120/80-12 ● 29万円 / 25万2000円 ※諸元は100

2005年2月

スズキ **アドレスV125/G**



アドレスV100の後継。フロントウインカーにクリアレンズを採用、サイドスタンド、インナーラックやリアキャリア、立体エンブレムを装着する上級版がG。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 124cc ● 11.4P S / 7500rpm ● 1.2kg・m / 6000rpm ● 85/87kg (乾燥) ● 90/90-10-100/90-10 ● 20万8950円 / 22万9950円

2005年2月

ヤマハ **ドラッグスター1100クラシック**



新デザインメーターとクリアレンズウインカー、各部のパーツのクロームメッキパーツ化で質感を高められた。カラーリングも新色のシルバーが追加。

- 空冷4スト OHC2バルブV型2気筒 ● 1063cc ● 60P S / 5750rpm ● 8.3kg・m / 2500rpm ● 291kg ● 130/90-16-170/80-15 ● 95万5500円

2005年2月

スズキ **GS50**



オートバイを操る楽しみを気軽に味わって欲しいと開発された4ミニスポーツ。軽量で足つき性も良く、初心者でも扱いやすい。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 49cc ● 5.0P S / 8500rpm ● 0.44kg・m / 7000rpm ● 69kg (乾燥) ● 70/90-14-80/90-14 ● 20万8950円

2005年2月

ヤマハ **XJR400R**



05年のカラーチェンジで、スポーティなディーパーブリッシュブルーメタリックCと、シンプルなブラックXの全2色のラインアップとなった。

- 空冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 399cc ● 53P S / 11000rpm ● 3.6kg・m / 9500rpm ● 177kg (乾燥) ● 110/70ZR17-150/70ZR17 ● 66万2550円

2005年2月

ヤマハ **SR400**



新色のレッドは、SR初代のシルバー塗装フレームが特徴。もう一つの新色・ブラックと継続されるホワイトでは、燃料タンクとリアカウルのピンストライプを変更。

- 空冷4スト OHCバルブ単気筒 ● 399cc ● 27P S / 7000rpm ● 3.0kg・m / 6500rpm ● 168kg ● 90/100-18-110/90-18 ● 48万6150円

2005年2月

ヤマハ **ドラッグスター400**



カスタム感を強調する新色のオレンジを新設定、"DragStar" ロゴも新デザインに。またホワイトでは、タンクのフレアパターンが変更された。

- 空冷4スト OHC2バルブV型2気筒 ● 399cc ● 32P S / 7500rpm ● 3.3kg・m / 6000rpm ● 225kg ● 100/90-19-170/80-15 ● 69万5100円

2005年2月

ヤマハ **ドラッグスター400 クラシック**



新デザインメーター、クリアレンズウインカーを新採用、加えてクロームメッキパーツも多用し質感アップ。カラーリングも変更された。

- 空冷4スト OHC2バルブV型2気筒 ● 399cc ● 32P S / 7500rpm ● 3.3kg・m / 6000rpm ● 240kg ● 130/90-16-170/80-15 ● 73万5000円

2005年2月

ヤマハ **ドラッグスター250**



新たにクリアレンズ使用ウインカーを採用。カラーリングは従来モデルと同じく、重厚なクルーザーイメージのブラックとパールホワイトの2色。

- 空冷4スト OHC2バルブV型2気筒 ● 248cc ● 23P S / 8000rpm ● 2.2kg・m / 6000rpm ● 159kg ● 80/100-18-130/90-15 ● 52万6050円

2005年3月

ホンダ **CB1300スーパーボールドール ABS**



CB1300SFに、新設計のハーブカウルを装備することで、ツーリングなどでの高速走行時における快適性をアップさせたモデルにABS仕様が登場。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 1284cc ● 100P S / 7000rpm ● 11.9kg・m / 5500rpm ● 268kg ● 120/70ZR17-180/55ZR17 ● 122万8500円

2005年3月

ホンダ **CB400スーパーボールドール**



2005年3月

ホンダ **CB400スーパーフォア**



フロントフォークに無段階調節が可能なプリロードアジャスターを採用。シートクッションに高密度ウレタン素材採用で乗り心地を向上。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 399cc ● 53P S / 11000rpm ● 3.9kg・m / 9500rpm ● 190kg ● 120/60ZR17-160/60ZR17 ● 66万1500円 ~ 68万2500円

2005年3月

ホンダ **CB400スーパーボールドール**



CB1300SFをベースにしてCB1300SBが誕生したように、その弟分であるCB400SFをベースにしたCB400SBもデビューした。1300SBと共通なイメージを持つハーブカウルを装着することで、高速走行時の疲労軽減と走行安定性をSFよりも向上させている。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 399cc ● 53P S / 11000rpm ● 3.9kg・m / 9500rpm ● 195kg ● 120/60ZR17-160/60ZR17 ● 73万5000円 / 75万6000円 (ツートーン)

2006年3月

ヤマハ **TW225E**



全て新色となった2006年モデルは、レッド、ブラック、ホワイトというラインアップに。各色とも燃料タンクにワンポイントアクセントが入るニューグラフィックを採用。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 223cc ● 18PS/7500rpm ● 1.8kg・m/6000rpm ● 127kg ● 130/80-18・180/80-14 ● 35万8050円

2006年4月

カワサキ **W650 クロームバージョン**



タンク、ヘッドライトステーなどをメッキパーツ、フォークアウターチューブやリアショックスプリングはシルバークローム仕上げ、シート表皮は本革とした特別仕様。

- 空冷4スト OHC4バルブ並列2気筒 ● 675cc ● 50PS/7000rpm ● 5.7kg・m/5500rpm ● 195kg(乾燥) ● 100/90-19・130/80-18 ● 76万7550円

2006年4月

ホンダ **CB400スーパーフォア**



イグニッションコイルを大型化して低回転域での扱いやすさを向上。前後のウインカーレンズにスモーククリアタイプが新たに採用された。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 399cc ● 53PS/11000rpm ● 3.9kg・m/9500rpm ● 190kg ● 120/60ZR17-160/60ZR17 ● 66万1500円～68万2500円

2006年4月

ホンダ **CB400スーパーボルドール**



2006年モデルでは低回転域での扱いやすさをアップするためイグニッションコイルを大型化。スモーククリアのウインカーレンズを前後に採用する。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 399cc ● 53PS/11000rpm ● 3.9kg・m/9500rpm ● 195kg ● 120/60ZR17-160/60ZR17 ● 73万5000円(単色)/75万6000円(ツートン)

2006年4月

スズキ **スカイウェイブ400タイプS**



スモークショートスクリーン、メッキパイプハンドル、リアスポイラーなどを装着して軽快でスポーティなイメージとしたモデル。基本的なスペックは共通だ。

- 水冷4スト DOHC4バルブ単気筒 ● 399cc ● 32PS/7500rpm ● 3.5kg・m/6000rpm ● 200kg(乾燥) ● 120/80-14・150/70-13 ● 69万1950円

2006年5月/4月

スズキ **GSR400/600**



クラス初のアルミキャストフレームに、GSX-R600ベースのエンジンを搭載。輸出仕様の600は97PSを発揮。2006-2007年グッドデザイン受賞車でもある。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 398cc ● 53PS/11000rpm ● 3.8kg・m/9000rpm ● 185kg ● 120/70ZR17-180/55ZR17 ● 78万7500円 ※諸元は400

2006年4月

ヤマハ **シグナス-X**



06年モデルはカラーリング変更のみで、新色として鮮やかなブルーを設定。シックなホワイトと、メタル感か魅力のガンメタは継続して設定されていた。

- 空冷4スト OHC4バルブ単気筒 ● 124cc ● 10.4PS/8500rpm ● 0.94kg・m/7500rpm ● 119kg ● 110/70-12・120/70-12 ● 32万5500円

2006年4月

ヤマハ **シグナス-X SR**



カラーリング自体はブラックとレッドで前年型と同じだが、フロントブレーキキャリパーをレッド塗装仕上げにしてスポーティさを強調。

- 空冷4スト OHC4バルブ単気筒 ● 124cc ● 10.4PS/8500rpm ● 0.94kg・m/7500rpm ● 119kg ● 110/70-12・120/70-12 ● 33万7500円

2006年4月

カワサキ **エストレヤRS クロームバージョン**



クロームメッキ×ブルーの燃料タンクをはじめ、全面クロームメッキされたサイドカバーやヘッドライトボディ、黒×白のシートなど特別な装備が与えられたクロームバージョン。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 249cc ● 20PS/7500rpm ● 2.0kg・m/6000rpm ● 142kg(乾燥) ● 90/90-18・100/90-17 ● 49万3500円

2006年4月

ヤマハ **グラントアクシス100**



鮮やかなブルーのボディ色を採用。クオリティ感あふれるホワイト、落ち着いた雰囲気ガンメタは継続販売。また価格が大きく引き下げられた。

- 空冷2スト・クランクケースリッドバルブ単気筒 ● 101cc ● 10PS/7000rpm ● 1.1kg・m/6000rpm ● 95kg ● 110/70-12・120/70-12 ● 18万7950円

2006年5月/4月

スズキ **スカイウェイブ250タイプS**



4年ぶりにフルチェンジしたスカイウェイブ。大柄な車体とパワフルなエンジンで、ゆとりある快適な走りを楽しめる。タイプSはショートスクリーンにメッキ処理されたパイプハンドルなど、スポーティなイメージでまとめたモデル。

- 水冷4スト DOHC4バルブ単気筒 ● 249cc ● 26PS/7500rpm ● 2.5kg・m/6000rpm ● 193kg(乾燥) ● 120/80-14・150/70-13 ● 62万8950円

2006年5月

ホンダ **ゴールドウイング**



グリップヒーターやシートヒーター、フットウォーマーダクトなどを装備。オーディオもグレードアップされた。LAFセンサーなどの追加で平成19年排ガス規制をクリア。

- 水冷4スト OHC2バルブ水平対向6気筒 ● 1832cc ● 109PS/5500rpm ● 16.4kg・m/4000rpm ● 425kg ● 130/70R18-180/60R16 ● 325万5000円

2007年1月

## カワサキ ZZR400



新たにメタリックオーシャンブルーとメタリックマジェスティックレッドを追加し、フロントカウル、フェューエルタンク、テールカウル、フロントフェンダーのカラーも変更。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●399cc ●53PS/11000rpm ●3.8kg・m/9000rpm ●197kg(乾燥) ●120/60ZR17-160/60ZR17 ●72万8700円

2007年1月

## ホンダ XR250・モタード



XRロゴを採用、フロントバイザーおよびサイドカバーをボディ同色とした。ハンドルバイブはマットアクシスグレーにされ、タンクキャップもクロームメッキが施された。

●空冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●28PS/8000rpm ●2.6kg・m/7000rpm ●134kg ●110/70-17-130/70-17 ●55万6500円

2007年2月

## カワサキ バルカン900カスタム



キャストホイールが目を惹くチョッパースタイルが特徴。エンジンは騒音規制への対応のため、輸出仕様に対し、13PSダウンしている。

●水冷4ストOHC4バルブV型2気筒 ●902cc ●41PS/5500rpm ●6.4kg・m/3000rpm ●249kg(乾燥) ●80/90-21-180/70-15 ●84万円

2007年2月

## ホンダ シルバーウイング<600>/ABS



新色をのびアブラックとパールサンビームホワイト設定。前後ホイールはシルバーとなり、シートの表皮はツートンカラーに。ヘッドライトも改良、新たに盗難抑止装置のH・I・Sも搭載。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●582cc ●49PS/7000rpm ●5.4kg・m/5500rpm ●245kg/249kg ●120/80-14-150/70-13 ●83万4750円/88万7250円(ABS)

2007年2月

## カワサキ エストレヤ



空冷エンジンのままフェューエルインジェクション化され、同時にカスタムとRSという2バリエーションを統合。ブレーキはフロントはディスクブレーキ、リアはドラムブレーキの組み合わせとなり、メーターなども見直された。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●249cc ●20PS/8000rpm ●2.0kg・m/6000rpm ●146kg(乾燥) ●90/90-18-110/90-17 ●51万8000円

2007年2月

## ヤマハ ドラッグスター400/クラシック



ドラッグスターは全て新色のブラック×ブラウン、グリーン×シルバー、ブラック。クラシックは継続のブラックに新色レッドとシルバーが加わった。

●空冷4ストOHC2バルブV型2気筒 ●399cc ●32PS/7500rpm ●3.3kg・m/6000rpm ●225kg/240kg ●100/90-19-170/80-15/130/90-16-170/80-15 ●69万5100円/73万5000円

2007年1月

## ホンダ XR250



燃料タンク左右のシウルラドに2007年型のモトクロッサー・CRFシリーズで好評のストライプを採用し、スポーツ志向を強調。

●空冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●28PS/8000rpm ●2.6kg・m/7000rpm ●133kg ●3.00-21-460-18 ●54万6000円

2007年2月

## ヤマハ ドラッグスター1100/クラシック



カラーリング変更、軽快感と上質感を感じさせるメラーン、クラシックには重厚感あるツートンカラーのブルーメタリックと、新色がそれぞれ追加された。

●空冷4ストOHC2バルブV型2気筒 ●1063cc ●60PS/5750rpm ●8.3kg・m/2500rpm ●278kg/291kg ●110/90-18-170/80-15/130/90-16-170/80-15 ●90万3000円/95万5500円

2007年2月

## カワサキ バルカン900クラシック



バルカン900クラシックの国内仕様。ワイドハンドルと鞍型シートによるゆったりとした乗り味が魅力。ベルトドライブの採用で騒音も低く抑えている。

●水冷4ストOHC4バルブV型2気筒 ●902cc ●41PS/5500rpm ●6.4kg・m/3000rpm ●253kg(乾燥) ●130/90-16-180/70-15 ●84万円

2007年2月

## ヤマハ TMAX



カラー変更のみ。新色として鮮やかでスポーティなレッドとブルーが追加され、ストリート風のイメージが好評だったブラックは前年型から継続して販売された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●499cc ●38PS/7500rpm ●4.6kg・m/4500rpm ●225kg ●120/70-14-160/60R15 ●85万5000円

2007年2月

## ヤマハ TMAX SPECIAL



2005年モデルで登場、黒と赤のコントラストが印象的なスペシャルカラーと、各部の専用装備が特徴の上級モデルのスペシャルも、2007年モデルとして引き続き販売。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●499cc ●38PS/7500rpm ●4.6kg・m/4500rpm ●225kg ●120/70-14-160/60R15 ●87万1500円

2007年2月

## スズキ イントルダークラシック キャストホイール仕様



同じスズキのアメリカンクルーザーでも斬新なイメージのブルバードとは一線を画す、クラシカルなイメージを持つイントルダークラシック400。そのクラシカルなイメージはそのままに、キャストホイールを採用したモデルがこのキャストホイール仕様だ。

●水冷4ストOHC4バルブV型2気筒 ●399cc ●33PS/8000rpm ●3.4kg・m/6000rpm ●244kg(乾燥) ●130/90-16-170/80-15 ●72万3450円~73万3950円

2007年2月

ヤマハ **TW225E**



基本的に前年モデルをそのままに、カラーパリエーションをブラックとホワイトの2色設定に絞って引き続き販売。この年のモデルが最終型となる。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 223cc ● 18P S / 7500rpm ● 1.8kg · m / 6000rpm ● 127kg ● 130/80-18 · 180/80-14 ● 35万8050円

2007年2月

ホンダ **フォルツァ Z ABS S パッケージ**



フォルツァ Z の ABS 仕様をベースに、カーボン調のメーターやシートバック、ゴールドのキャリパーなどを採用。カラーはブラック、シルバーの2色のみ。

- 水冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 249cc ● 22P S / 7500rpm ● 2.4kg · m / 5500rpm ● 182kg (乾燥) ● 110/90-13 · 130/70-12 ● 71万9250円

2007年2月

ホンダ **スペイシー100**



ブラック、コスミックシルバーメタリック、パールロニーエローに加え、新色「パールホワイト」を採用。フロントブレーキのキャリパーやリアキャリアをブラック塗装とし、ロゴも一新。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 102cc ● 7.1P S / 7500rpm ● 0.8kg · m / 5000rpm ● 101kg ● 90/90-12 · 100/90-10 ● 21万円

2007年2月

ヤマハ **ドレッジスター250**



ニューカラーはバイオレットパール。シリーズ共通イメージのブラックと、モダンで洗練されたイメージなホワイトは継続。

- 空冷4スト OHC2バルブV型2気筒 ● 248cc ● 23P S / 8000rpm ● 2.2kg · m / 6000rpm ● 159kg ● 80/100-18 · 130/90-15 ● 52万6050円 / 54万7050円 (バイオレットパール)

2007年3月

スズキ **バンディット1250 ABS/S ABS**



国内市販のビッグネイキッドとして安定した人気を博したバンディット1200がモデルチェンジ。ハーフカウルを装備するS、そしてカウルレスのネイキッド版とともに油冷時代のものをベースとする車体に新設計の水冷ユニットを採用。ABSも標準装備する。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 1254cc ● 100P S / 7500rpm ● 10.9kg · m / 3500rpm ● 226 / 229kg ● 120/70ZR17 · 180/55ZR17 ● 99万7500円 / 102万9000円

2007年3月

ホンダ **CBR1000RR・スペシャルエディション**



ニッキー・ヘイデンの手でMotoGP2006年シリーズチャンピオンを獲得したレプソル・ホンダチームをイメージしたカラーリングを採用したスペシャルエディションを限定発売。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 998cc ● 94P S / 10000rpm ● 8.8kg · m / 6000rpm ● 206kg ● 120/70ZR17 · 190/50ZR17 ● 133万3500円

2007年3月

ヤマハ **グランドマジスティ400**



バックレスト一体型によるフィット感に優れた新シートを採用をはじめ、タンデムライダー用バックレストの追加、リアサスの調整機能追加などの改良を受けた。

- 水冷4スト DOHC4バルブ単気筒 ● 394cc ● 33P S / 7250rpm ● 3.5kg · m / 6000rpm ● 219kg ● 120/80-14 · 150/70-13 ● 68万2500円

2007年2月

スズキ **アドレスV125/G**



軽量コンパクトで、街中での快速通勤用として人気のアドレスV125が、マイナーチェンジでメーターパネルにウィンカーのインジケーターが装備され、トランク内にマットが付いた。125Gには新たにキャンディソノレッドカラーが追加された。

- 空冷4スト OHC 2バルブ単気筒 ● 124cc ● 11.4P S / 7500rpm ● 1.2kg · m / 6000rpm ● 85kg (88kg (乾燥)) ● 90/90-10 · 100/90-10 ● 20万8950円 (22万9950円) (内) 1万 G

2007年2月

ホンダ **フォルツァ Z S パッケージ**



Dモード、Sモード、オートシフトモード、そして7速マニュアルの4つの変速モードを持つフォルツァ。Sパッケージは外観によりスポーティなディテールを盛り込んだモデル。

- 水冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 249cc ● 22P S / 7500rpm ● 2.4kg · m / 5500rpm ● 176kg (乾燥) ● 110/90-13 · 130/70-12 ● 66万1500円

2007年2月

カワサキ **250TR**



フェーエルインジェクションを採用してモデルチェンジ。また、ハンドル左右幅を30mm短縮させ、乗りやすさを向上させている。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 249cc ● 19P S / 7500rpm ● 1.9kg · m / 6000rpm ● 136kg (乾燥) ● 90/90-19 · 110/90-18 ● 38万8000円

2007年3月

カワサキ **ZRX1200R**



性能やスペックはそのまま、新色として濃い光を放つゴールドストライプを配したメタリックディアプロブラックが追加された。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 1164cc ● 95P S / 7500rpm ● 10.3kg · m / 3500rpm ● 223kg (乾燥) ● 120/70ZR17 · 180/55ZR17 ● 102万3750円

2007年3月

ホンダ **CB750スペシャルエディション**



1982年にF・スベンサーのライディングにより、AMAスーパーバイク・デイトナ100マイルレースを制したマシンのチャンピオンカラーを再現し、限定で発売。

- 空冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 747cc ● 75P S / 8500rpm ● 6.5kg · m / 7500rpm ● 235kg ● 120/70R17 · 150/70ZR17 ● 79万8000円

2007年3月

カワサキ **ZRX**



ライムグリーンに加え、メタリックディアプロブラックを追加。さらにピキニカウル、タンク、テールカウル、フロントフェンダー、サイドカバー、ホイールのカラーリングを変更した。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 399cc ● 53P S / 11500rpm ● 3.8kg · m / 9000rpm ● 186kg (乾燥) ● 110/70R17 · 150/60R18 ● 67万9500円

2007年9月

ホンダ XR400モタード



タンクシュラウドのステッカーデザインをフレアパターンに変更、前後ホイールリムをゴールドアルマイト仕上げとし、フレームカラーをマットブラックメタリックとした。

- 空冷4スト OHC4バルブ単気筒 ● 397 cc ● 30PS/7000rpm ● 3.4kg-m/5500rpm ● 145kg ● 110/70-17-140/70R17 ● 66万1500円

2007年10月

ホンダ CB750/スペシャル



偉大な名車「CBX」を彷彿させるボディカラー(デジタルシルバークメタリック、キャンディブレイジングレッド)が限定販売された。この2008年型を最後に生産終了となった。

- 空冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 747cc ● 75PS/8500rpm ● 6.5kg-m/7500rpm ● 235kg ● 120/70ZR17-150/70ZR17 ● 78万7500円/81万9000円

2007年10月

スズキ スカイウェイブ250タイプM リミテッド



4つの変速/パターンが選べる電子制御CVTを搭載したタイプMに、500台限定としてマーブルエラスレッドという鮮やかな赤色に塗られたモデルが登場。

- 水冷4スト DOHC4バルブ単気筒 ● 249cc ● 26PS/7500rpm ● 2.5kg-m/6000rpm ● 204kg(乾燥) ● 120/80-14-150/70-13 ● 69万3000円

2007年10月

ヤマハ ジョグ



この年のモデルチェンジでついにフォーエールインジエクション&4スト化。車体も新設計されるなど、新時代に向かふスマートでクリーンな方向へ進化した。

- 水冷4スト OHC3バルブ単気筒 ● 49cc ● 4.2PS/8500rpm ● 0.4kg-m/6500rpm ● 84kg ● 90/90-10-90/90-10 ● 14万4900円

2007年11月

ホンダ CB400SS スペシャルエディション



着座部はブラック、サイド部をブラウンとしたツー トーンシートや、軟質の立体ウイングマークを燃料タンクに、サイドカバーに専用マークも装着。

- 空冷4スト OHC4バルブ単気筒 ● 397 cc ● 29PS/7000rpm ● 3.2kg-m/5500rpm ● 159kg ● 100/90-19-110/90-18 ● 53万4450円

2007年11月

ヤマハ WR250R



「オフロードのR1」を目指して開発されたモデル。専用設計のDOHC4バルブ水冷単気筒に、国産市販オフロードモデル初のアルミフレームなどで高性能を実現。

- 水冷4スト DOHC4バルブ単気筒 ● 249cc ● 31PS/10000rpm ● 2.4kg-m/8000rpm ● 132kg ● 80/100-21-120/80-18 ● 70万1400円

2007年9月/2008年1月

スズキ レッツ4/パレット



レッツ4をベースにメッキハンドル、別体式スピードメーター、燃料計などを装備したパレットがラインアップに加わった。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 49 cc ● 5.0PS/8000rpm ● 0.46kg-m/6500rpm ● 62/64kg(乾燥) ● 80/90-10-80/90-10 ● 12万4950円/14万5950円

2007年10月

ホンダ CB400SS



スタンダードタイプはタンクにシンプルでありながらアクセントとなるシルバーストライプが入り、ツートンタイプは新パターンに変更された。

- 空冷4スト OHC4バルブ単気筒 ● 397 cc ● 29PS/7000rpm ● 3.2kg-m/5500rpm ● 159kg ● 100/90-19-110/90-18 ● 51万3450円(スタンダード)/52万3950円(ツートン)

2007年10月

ヤマハ シグナスX



基本コンセプトはそのまま、高い環境性能を実現するF1化されたエンジン、シャープさを増した新スタイルリングなどで魅力的にモデルチェンジ。

- 空冷4スト OHC4バルブ単気筒 ● 124 cc ● 11PS/8500rpm ● 0.93kg-m/7500rpm ● 122kg ● 110/70-12-120/70-12 ● 32万5500円

2007年11月

ヤマハ ギア/ニュース ギア



初のフルモデルチェンジ。過酷な配達業務のための機能的な車体に、F1仕様の水冷4ストエンジンを搭載。ニュースギアは新規商品向けモデル。

- 水冷4スト OHC3バルブ単気筒 ● 49 cc ● 4.2PS/8250rpm ● 0.4kg-m/6500rpm ● 98kg/104kg ● 90/90-12-110/90-10 ● 22万5000円/23万1000円

2007年11月

ホンダ FTR



キャブセッティング変更とキャタライザーをエキゾーストパイプ内とマフラー内に装備することで、排出ガス規制に適合。カラーリングなども変更された。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 223 cc ● 16PS/7000rpm ● 1.8kg-m/5500rpm ● 128kg ● 120/90-18-120/90-18 ● 40万9500円~43万5000円

2007年11月

ヤマハ WR250X



WR250Rをベースとした本格モタードスポーツ。クラス初のアルミフレームや前後17インチのロードタイヤを装着し、31PSの高出力を絞り出す。

- 水冷4スト DOHC4バルブ単気筒 ● 249cc ● 31PS/10000rpm ● 2.4kg-m/8000rpm ● 134kg ● 110/70R17-140/70R17 ● 73万2900円

2007年11月

ホンダ CBR600RR/スペシャルエディション



MotoGPに参戦した「KONICAMINOLTA Honda」チームのレプリカカラーリングを施したスペシャルエディションが500台限定で登場。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 599cc ● 69PS/11500rpm ● 5.2kg-m/8500rpm ● 187kg ● 120/70ZR17-180/55ZR17 ● 107万6250円/117万6000円

2008年

## スズキ **ブルバード M109R2**



ブルバードM109Rから、スタイルの大きな特徴であるビキニカウルを取り去り、異形ヘッドライトを流して精悍なイメージでまとめたネイキッドバージョン。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●1783cc●125PS/6200rpm ●NA ●347kg ●130/70R18-240/40R18●輸出車

2008年

## スズキ **GSX-R750**



2008年モデルは、FIのインジェクターの小型化により、1シリンダーあたり2インジェクターを採用。また3種類の出力特性を選択できるS-DMSも搭載された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●750cc●150PS/12200rpm ●NA ●167kg(乾燥) ●120/70ZR17-180/55ZR17●輸出車

2008年

## ヤマハ **YZF-R6**



MotoGPで熟成された電子制御スロットル「YCC-T」に加え、可変吸気管長機構「YCC-I」を新採用。さらに扱いやすさを増している。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●599cc●127PS/13000rpm ●6.7kg-m/11000rpm ●162kg(乾燥) ●120/70ZR17-180/55ZR17●輸出車

2008年

## スズキ **GSX1300BK B-KING/ABS**



2001年の東京モーターショーで注目されたB-KINGのコンセプトを具現化。超個性的なスタイルにハヤブサの直4を搭載したネイキッドモデルで、出力特性を切り替えるS-DMSも採用している。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1340cc●183.5PS/9500rpm ●14.8kg-m/7200rpm ●235/239kg(乾燥) ●120/70ZR17-200/50ZR17●輸出車

2008年1月

## ホンダ **リード**



手軽なコミューターとして定番スクーターのリードがフルモデルチェンジで4スト化。パワフルで環境性能・経済性に優れた新エンジン、シート下の35L収納スペース、低シート高など、高い実用性を誇る。

●水冷4ストOHC2バルブ単気筒●114cc●9.0PS/7500rpm ●0.95kg-m/6250rpm ●114kg ●90/90-12-100/90-10 ●27万3000円

2008年

## カワサキ **ZZR1400/ABS**



フルブーストで200PSオーバーのメガスポーツに新たにABS仕様が増加された。外觀デザインに変更はないが、2008年型は最高出力が193PSにアップ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1352cc●193PS/9500rpm ●15.7kg-m/7500rpm ●220kg(乾燥) ●120/70ZR17-190/50ZR17●輸出車

2008年

## スズキ **ハヤブサ1300**



デビューから約8年目で初のフルモデルチェンジ。パワー特性を3段階に切り替えるS-DMSなど新技術も投入されたが、スタイリングやメカニズムの基本コンセプトは不変。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1340cc●197PS/9500rpm ●15.7kg-m/7500rpm ●260kg ●805mm ●120/70ZR17-190/50ZR17●輸出車

2008年1月

## スズキ **インパルス400スペシャルエディション**



1982年に発売されたGSX400FSインパルスのカラーを継ぐスペシャルエディション。エンジンカバーには懐かしいTSCCロゴも入る。この年でインパルスは生産終了。

●水冷4ストDOHC4バルブ直列4気筒●399cc●53PS/11000rpm ●3.8kg-m/9500rpm ●177kg ●110/70-17-140/70-17 ●66万4500円

2008年

## スズキ **GSX-R600**



繊細な燃料噴射と混合を可能にする燃料噴射機構を採用。吸気ポートの形状も拡大し、さらなる高出力化を果たしている。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●599cc●125PS/13500rpm ●6.9kg-m/11200rpm ●161kg(乾燥) ●120/70ZR17-180/55ZR17●輸出車

2008年1月

## ホンダ **シャドウ<750>**



エンジンをPGM-FI化。マフラーにキャタライザーを内蔵するなど、平成19年国内二輪車排ガス規制に適合。ハンドルの形状見直しなど、各部を大幅に改良。

●水冷4ストOHC3バルブV型2気筒●745cc●44PS/5500rpm ●6.3kg-m/3500rpm ●258kg ●120/90-17-160/80-15 ●85万5000円、88万2000円(ツートーン)

2008年1月

## ホンダ **シルバーウイング<400>/ABS**



カラー変更によりヘッドライト上部やフロア下部、テールカウルをマットアクシスグレーに統一。シート表皮は座面部とサイド部の風合いを換えたツートンシートとなった。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●398cc●38PS/7500rpm ●4.0kg-m/6000rpm ●245kg/249kg ●120/80-14-150/70-13 ●70万8750円/76万1250円

2008年1月

## ホンダ **シャドウ・スペシャルエディション<400>**



車体色は、シックなグラフィックブラック。タンクとフェンダーに、ゴールドとブラックのグラフィックパターンを採用し、高級感と個性を一層際立たせた。

●水冷4ストOHC3バルブV型2気筒●398cc●33PS/7500rpm ●3.5kg-m/6000rpm ●248kg ●120/90-17-170/80-15 ●75万6000円

2008年3月  
ヤマハ **グランドマジェスティ400**



ページのシート表皮を採用。排ガスをよりクリーンにするために三元触媒が装着され、平成19年国内排出ガス規制に適合化された。

- 水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●394cc ●31PS/7250rpm ●3.4kg・m/6000rpm ●220kg ●120/80-14-150/70-13 ●71万4000円

2008年3月  
カワサキ **ZRX**



追加カラーとしてキャンディライムグリーンが登場。レーサーライクなグラフィックを採用し、またフォークアウターチューブとスイングアームをシルバーに、ホイールをブラックとした。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●399cc ●53PS/11500rpm ●3.8kg・m/9000rpm ●186kg(乾燥) ●110/70R17-150/60R18 ●69万2000円

2008年3月  
カワサキ **ZRX-II**



追加カラーモデルとしてパールクリスタルホワイトが登場。タンクは上質さを感じさせるツートン塗装とし、ホイールカラーがゴールドにグレードアップ。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●399cc ●53PS/11500rpm ●3.8kg・m/9000rpm ●186kg(乾燥) ●110/70R17-150/60R18 ●67万6000円

2008年3月  
ホンダ **フォルツァ X**



フルモデルチェンジで最初に登場したフォルツァZに続き、ホンダSマチックなどを省いてベーシックな無段変速を採用して価格を抑えたスタンダードモデルのフォルツァXが登場。

- 水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●248cc ●22PS/7500rpm ●2.2kg・m/6000rpm ●196kg ●110/90-13-140/70-13 ●65万1000円

2008年3月  
ホンダ **フォルツァ X・オーディオパッケージ**



フォルツァXをベースに、ビルトインタイプで高指向性スピーカーシステムや車速連動のオートボリュームも備える、エクスクルーシブ・オーディオシステムを標準搭載。

- 水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●248cc ●22PS/7500rpm ●2.2kg・m/6000rpm ●199kg ●110/90-13-140/70-13 ●71万9250円

2008年3月  
ホンダ **フォルツァ Z ABS・オーディオパッケージ**



ABS仕様でも、オーディオパッケージは設定されている。二輪車のオーディオとして最適な機能を備えたフォルツァ専用のオーディオシステムを搭載。

- 水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●248cc ●22PS/7500rpm ●2.2kg・m/6000rpm ●207kg ●110/90-13-140/70-13 ●82万4250円

2008年3月  
ホンダ **フォルツァ Z・オーディオパッケージ**



エクスクルーシブ・オーディオシステムを装着したモデル。オートボリュームコントロールで、100km/hでもライダーに聞こえる音量を自動調整。

- 水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●248cc ●22PS/7500rpm ●2.2kg・m/6000rpm ●204kg ●110/90-13-140/70-13 ●76万1250円

2008年3月  
ヤマハ **マジェスティ**



新色のシルバーを追加設定。ディープレッドのシートとの組み合わせで、ラグジュアリー感とスポーティ感を出し。

- 水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●19PS/6500rpm ●2.2kg・m/5500rpm ●188kg ●110/90-13-140/70-12 ●70万2450円

2008年3月  
スズキ **スカイウェイブ250タイプM**



電子制御CVTの走行パターンが5つに増え、より走りの自由度が上がった。ブレーキとスロットル操作によりシフトダウンできるスロットルシフトを初採用。

- 水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●26PS/7500rpm ●2.5kg・m/6000rpm ●197kg(乾燥) ●120/80-14-150/70-13 ●70万3500円

2008年3月  
ホンダ **XR230モタード**



トータルバランスの良さとオフロードで優れた走破性を発揮するXR230をベースに、前後ホイールを17インチに換装したモタード仕様。

- 空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●223cc ●18PS/7500rpm ●1.8kg・m/7000rpm ●125kg ●110/70-17-130/70-17 ●50万8200円

2008年3月  
ヤマハ **ギア パーキングスタンド**



中央のスタンドで車体を支えると同時に後輪をロックする機構を装備。重い荷物を載せたまま安定した駐輪が可能となる。

- 水冷4ストOHC3バルブ単気筒 ●49cc ●4.2PS/8250rpm ●0.4kg・m/6500rpm ●101kg ●90/90-12-110/90-10 ●24万1500円

2008年3月  
スズキ **レッツ5/G**



メーター下部の小物入れポケットを採用。高い実用性と愛らしいスタイルで女性ユーザーを意識したファッションブルスクーター。

- 空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●49cc ●4.5PS/8000rpm ●0.4kg・m/7000rpm ●68/69kg ●80/90-10-80/90-10 ●13万5450円/14万5950円

2008年4月  
ホンダ **CB1300SF <ABS>スペシャルエディション**



トリコロールを用いた特別なカラーリングを期間限定で発売。燃料タンクやリアカウルにレッドを、その下にブルーのストライプを施した。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●1284cc ●101PS/7000rpm ●11.6kg・m/5500rpm ●264kg ●120/70ZR17-180/55ZR17 ●121万8000円

2008年4月  
カワサキ **W650 クロームバージョン**



ヘッドライトステーなどをクロームメッキにし、フォークアウターチューブやリアショックスプリングをシルバーバフ仕上げにした特別仕様車。

- 空冷4ストOHC4バルブ並列2気筒 ●675cc ●50PS/7000rpm ●5.7kg・m/5500rpm ●195kg(乾燥) ●100/90-19-130/80-18 ●75万2000円

2008年7月

ホンダ **フォルツァ Z・スペシャルエディション<スタイル S>**



2007年東京モーターショーに参考出品されたドレスアップモデルを彷彿とさせる赤×黒のシートが映えるマットファームシルバーメタリックの車体色が特徴。

●水冷4スト OHC4バルブ単気筒 ●248cc ●22PS/7500rpm ●2.2kg・m/6000rpm ●201kg ●110/90-13-140/70-13 ●70万8750円

2008年7月

ヤマハ **TMAX**



前後タイヤを15インチ化し、ラジアルタイヤを採用したTMAXの二代目。アルミフレームの採用やエンジンのリセッティングなどでパフォーマンスを大幅に向上させている。

●水冷4スト DOHC4バルブ並列2気筒 ●499cc ●38PS/7000rpm ●4.5kg・m/5500rpm ●222kg ●120/70R15-160/60R15 ●94万5000円

2008年7月

ヤマハ **SR400 30周年 Anniversary Limited Edition**



手作業によるサンバースト塗装、タックロールシートを採用し、各部パーツもグレードアップさせた500台の限定車。

●空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ●399cc ●27PS/7000rpm ●3.0kg・m/6500rpm ●152kg ●90/100-18-110/90-18 ●60万9000円

2008年7月/9月

ホンダ **CBR1000RR**



スタイルも一新され、フルモデルチェンジされたホンダ製スーパースポーツのフラッグシップモデルCBR1000RR。国内仕様ではついに100PSオーバーとなる最高出力118PSで登場した。スタンダードカラーは7月に、トリコロールは9月に発売。

●水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ●999cc ●118PS/9500rpm ●9.7kg・m/8250rpm ●201kg ●120/70ZR17-190/50ZR17 ●139万円(スタンダードカラー)/142万円(トリコロール)

2008年8月

スズキ **GSX1400 スペシャルエディション**



往年のスズキグランプリレーサーを彷彿させるグラフィックを施されて登場したのが、このスペシャルエディション。油冷エンジンはこれで長い歴史の幕を一度閉じた。

●油冷4スト DOHC4バルブ直列4気筒 ●1401cc ●100PS/6500rpm ●12.8kg・m/5000rpm ●226kg ●120/70-17-190/50-17 ●104万7900円

2008年8月

スズキ **GSX1400**



迫力と乗りやすさを兼ね備えた次世代油冷ビッグネイキッドはこの2008年モデルで生産は終了。カラーは白×青のツートン、ブラックの2色の設定だった。

●油冷4スト DOHC4バルブ直列4気筒 ●1401cc ●100PS/6500rpm ●12.8kg・m/5000rpm ●226kg ●120/70-17-190/50-17 ●104万7900円

2008年8月

スズキ **ST250 Eタイプ**



クロームメッキマフラーやヘッドライトカバー、燃料タンクグラフィックなど、上級の雰囲気を持ったEタイプ。同年2月にフェューエルインジェクション化されて、8月に黒/灰の限定色を発売。

●空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ●249cc ●19PS/7500rpm ●2.1kg・m/5500rpm ●132kg ●90/90-18-110/90-18 ●45万4500円

2008年9月

スズキ **グラストラッカー**



フェューエルインジェクション化されて生まれ変わった。燃料タンクの形状変更により容量を2L拡大して登場。シートクッションの厚みや燃料警告灯を装備など細部も変更された。

●空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ●249cc ●19PS/7500rpm ●2.1kg・m/5500rpm ●136kg ●3.00-18-120/80-17 ●41万8950円

2008年9月

ホンダ **CBR1000RR トリコロール**



2008年7月にフルモデルチェンジしたCBR1000RRに、ホンダのスポーツマインドを象徴するトリコロールカラーのモデルが追加された。

●水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ●999cc ●118PS/9500rpm ●9.7kg・m/8250rpm ●201kg ●120/70ZR17-190/50ZR17 ●142万円

2008年9月

スズキ **グラストラッカービッグボーイ**



グラストラッカーをベースに前後タイヤのインチアップや幅広いハンドルなどを装着したビッグボーイがFI仕様で登場。始動はセルのみで、燃料タンク容量が2L拡大した。

●空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ●249cc ●19PS/7500rpm ●2.1kg・m/5500rpm ●139kg ●100/90-19-130/80-18 ●45万4500円

2008年9月

## ホンダ エイプ・100 Type D



キャタライザーなどの採用で排ガス規制をクリアすると同時にバッテリーも装備したエイプ100の前・後ホイールをアルミキャストホイールとし、さらにディスクブレーキも装着したスポーティバージョン。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●99cc●6.3PS/8000rpm●0.67kg-m/6000rpm●88kg●120/80-12・120/80-12●36万6450円

2008年9月

## ホンダ エイプ・100



キャブセッティングの最適化とマフラーへのキャタライザー追加で国内二輪車排ガス規制をクリア。バッテリーも装備され、カラーリングも変更された。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●99cc●6.3PS/8000rpm●0.67kg-m/6000rpm●90kg●120/80-12・120/80-12●31万3950円

2008年10月

## ホンダ シヤドウ<750>



新カラーリングを採用。ツートーンカラーは2種類、ソリッドカラーには従来モデル同様のグラフィックブラックが用意された。

●水冷4ストOHC3バルブV型2気筒●745cc●44PS/5500rpm●6.3kg-m/3500rpm●258kg●120/90-17・160/80-15●85万5000円、88万2000円(ツートーン)

2008年11月

## ホンダ シヤドウクラシック400



エンジンをフューエルインジェクション化して中低速域を強化。ハンドル形状やステップボード位置も見直され、ライディングポジションもより快適になった。

●水冷4ストOHC3バルブV型2気筒●398cc●31PS/7000rpm●3.4kg-m/3500rpm●255kg●120/90-17・160/80-15●78万7500円(STD)

2008年11月

## ホンダ シヤドウカスタム400



フロントに21インチホイールを採用し、前後フェンダーはショート化されたスポーティさを演出。エンジンはクラシックと同様。

●水冷4ストOHC3バルブV型2気筒●398cc●31PS/7000rpm●3.4kg-m/3500rpm●244kg●90/90-21・160/80-15●76万6500円(STD)

2008年11月

## スズキ イントルーダークラシック400



重厚なレックスのVツインエンジンにシャフトドライブ。スタンダードモデルではワイヤースポークホイールを装着。新たにフューエルインジェクションを採用して排出ガス規制に対応。

●水冷4ストOHC4バルブV型2気筒●399cc●33PS/8000rpm●3.4kg-m/6000rpm●275kg(装備)●130/90-16・170/80-15●81万9000円

2008年11月

## スズキ イントルーダークラシック400 キャストホイール仕様/特別仕様



排出ガス対応でキャストホイール仕様もインジェクションを採用。2009年にはシート側面に旗をあしらった特別仕様車も追加設定された。写真は特別仕様のブラックエディションでホワイトカラーモラインアップされていた。

●水冷4ストOHC4バルブV型2気筒●399cc●33PS/8000rpm●3.4kg-m/6000rpm●275kg(装備)●130/90-16・170/80-15●82万9500円/85万5000円

2008年11月

## ホンダ エイプ50



鮮やかなリバーサイドブルーが追加され、従来モデルのクラシカルホワイト、グラフィックブラックと合わせて合計3色のカラーバリエーションとなった。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●49cc●3.7PS/8000rpm●0.37kg-m/6000rpm●84kg●120/80-12・120/80-12●26万2500円

2008年11月

## ホンダ エイプ50 Type D



エイプ100では設定されていたタイプDが50にも追加設定。アルミキャストホイールやディスクブレーキを装着、専用カラーを採用しているのも100と同じ。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●49cc●3.7PS/8000rpm●0.37kg-m/6000rpm●82kg●120/80-12・120/80-12●30万9750円

2008年11月

## スズキ スカイウェイブ650LX



ヘッドライトのリフレクターを淡青色メッキして顔つきが変更。さらにシート表面を暖めるシートヒーターとグリップヒーターを装備して快適性に磨きをかけた。

●水冷4ストDOHC4バルブ2気筒●638cc●50PS/7000rpm●6.1kg-m/5500rpm●277kg●120/70-15・160/60-14●109万2000円

2008年12月

## ホンダ CB1300スーパーボルドール/ABS



人気の高いツートーンにカラーバリエーションを追加。新たにホワイト×ブラックが仲間入りした。主要諸元に変更はない。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1284cc●101PS/7000rpm●11.6kg-m/5500rpm●264kg/270kg●120/70ZR17-180/55ZR17●121万8000円/129万1500円

2008年12月

## ホンダ CB1300スーパーフォア/ABS



同時デビューのスーパーボルドールと同様に、カラーバリエーションを追加。新たにブラック×ホワイトが設定された。主要諸元に変更はない。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1284cc●101PS/7000rpm●11.6kg-m/5500rpm●259/264kg●120/70ZR17-180/55ZR17●111万3000円～120万7500円

2008年12月

## ホンダ CBR1000RR・スペシャルエディション



MotoGPのレプソル・ホンダが走らせているRC212Vと同じイメージのカラーリングで彩られたスペシャルモデルを期間限定受注モデルとして発売。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●999cc●118PS/9500rpm●9.7kg-m/8250rpm●201kg●120/70ZR17-190/50ZR17●148万5000円

2011年1月

ホンダ **VT750S**



シャドウ750をベースとしたロードスター仕様のVT750Sに、ホンダ伝統のトリコロールデザインのパールヘロンプールカラーが追加。ヘビーグレーメタリックは継続して販売。価格はカラーによって異なる。

●水冷4スト OHC3バルブV型2気筒 ●745cc ●42PS/5500rpm ●6.0kg-m/3500rpm ●232kg ●100/90-19-150/80B16 ●74万9700円～76万9650円

2011年1月

スズキ **スカイウェイブ400タイプS ABS**



ショートスクリーン、パーバンドル、ABSやキーレスエントリーなど利便性と安全性も兼ね備えたタイプS ABSに、サンダーグレーメタリックカラーを追加。

●水冷4スト DOHC4バルブ単気筒 ●399cc ●31PS/7000rpm ●3.4kg-m/5000rpm ●223kg ●120/80-14-150/70-13 ●77万7000円

2011年1月

スズキ **スカイウェイブ400 リミテッドABS**



「タイプS」と同様に、「リミテッド」もエアクリナー構造を変更するとともに、最高出力/最大トルクなどの諸元を変更、合わせてレッドゾーン的位置も変更されている。

●水冷4スト DOHC4バルブ単気筒 ●399cc ●31PS/7000rpm ●3.4kg-m/5000rpm ●223kg ●120/80-14-150/70-13 ●78万7500円

2011年2月

スズキ **スカイウェイブ250タイプM**



既存のパールミラーージュホワイトに加え、新色のガラスブラック、アルミブルーメタリックを加え3色のラインアップに。

●水冷4スト DOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●26PS/7500rpm ●2.5kg-m/6000rpm ●221kg ●120/80-14-150/70-13 ●71万4000円

2011年2月

カワサキ **W800**



W650の後継モデル。端正でクラシカルなスタイリングはW650から大きな変更はされていないが、エンジン排気量をアップするとともにフューエルインジェクション化。細部のリアフィンと仕上げの向上により美しさにも磨きがかかった。

●空冷4スト OHC4バルブ並列2気筒 ●773cc ●48PS/6500rpm ●6.3kg-m/2500rpm ●216kg ●100/90-19-130/80-18 ●85万円

2011年2月

カワサキ **W800スペシャルエディション**



スタンダード版に対して、外装やフレームはもちろん、エンジンやマフラーまでほぼ全身に黒をまとう。ホイールリムのみゴールドという、ワイルドな仕上がり。

●空冷4スト OHC4バルブ並列2気筒 ●773cc ●48PS/6500rpm ●6.3kg-m/2500rpm ●216kg ●100/90-19-130/80-18 ●88万円

2011年2月

ホンダ **VFR1200F デュアルクラッチ・トランスミッション**



二輪車用としては世界初の有段式自動変速機・DCTを搭載。ハンドルのスイッチでクラッチ操作なしでのマニュアルシフトも可能。

●水冷4スト OHC4バルブV型4気筒 ●1236cc ●111PS/8500rpm ●11.3kg-m/6000rpm ●278kg ●120/70ZR17-190/55ZR17 ●168万0000円

2011年2月

ホンダ **CB400 スーパーフォア/ABS**



単色タイプの3パターンと、ツートンタイプの2パターンをラインアップ。カラーによって価格が異なっている。

●水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ●399cc ●53PS/10500rpm ●3.9kg-m/9500rpm ●194/199kg ●120/60ZR17-160/60ZR17 ●79万2750円～89万7750円

2011年2月

ホンダ **CB400 スーパーフォア スペシャルエディション**



トリコロールデザインで、フレームはレッドの専用カラーに、タンクの立体エンブレム、各部をゴールドカラーとした特別仕様。

●水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ●399cc ●53PS/10500rpm ●3.9kg-m/9500rpm ●198kg ●120/60ZR17-160/60ZR17 ●83万4750円

2011年2月

ホンダ **CB400 スーパーボールドール/ABS**



同時に発売となったCB400SFと同じく、単色タイプ3色、ツートンタイプ2色。カラーにより価格が違っているのも同様。

●水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ●399cc ●53PS/10500rpm ●3.9kg-m/9500rpm ●198/203kg ●120/60ZR17-160/60ZR17 ●71万9250円～81万3750円

2011年2月

ヤマハ **アクシストリート**



新色としてスポーティで鮮やかなブルーと、シックで品質感あるガンメタリックの2色を追加。従来型から継続されたシルバー、ブラックとあわせて全4色となった。

●空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ●124cc ●8.1PS/7000rpm ●0.91kg-m/6000rpm ●110kg ●3.50-10-3.50-10 ●22万5000円

2011年2月

ホンダ **CB400 スーパーボールドール スペシャルエディション**



パールサンビームホワイトを基調に、鮮烈なレッドとブルーのストライプを施したホンダ伝統のトリコロールデザインとした。

●水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ●399cc ●53PS/10500rpm ●3.9kg-m/9500rpm ●194kg ●120/60ZR17-160/60ZR17 ●76万1250円

2011年3月

## スズキ グラディウス400ABS



細部のカラーを変更。フロントフェンダーのABSデカールを廃止し、ボディカラーも3色のラインアップから、2種類のツートンカラーへと変更された。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒 ●399cc ●55PS/11000rpm ●4.1kg・m/8500rpm ●206kg ●120/70ZR17-160/60ZR17 ●80万8500円

2011年5月

## ヤマハ グランドマジェスティ400



新色としてガンメタが加わり、落ち着いたある継続色のホワイトとあわせ全2色のカラー設定に。両色とも、フロントフォークをシルバー仕上げに変更。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●394cc ●31PS/7250rpm ●3.4kg・m/6000rpm ●221kg ●120/80-150/70-13 ●73万5000円

2011年5月

## スズキ レッツ4



2004年から2ストのレッツ2の後継として4ストエンジンで登場したレッツ4。リアキャリアを大型へと変更してマイナーチェンジ。速度計のデザインも変わった。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●49cc ●4.5PS/8000rpm ●0.4kg・m/7000rpm ●68kg ●80/90-10-80/90-10 ●13万4400円

2011年5月

## スズキ スカイウェイブ650LX



シートヒーター、グリップヒーター、電動スクリーン、電動格納式のミラーなど豪華装備。カラーはオールグレーメタリックとパールミラージュホワイトの2色設定。

●水冷4ストDOHC4バルブ2気筒 ●638cc ●50PS/7000rpm ●6.1kg・m/5000rpm ●277kg ●120/70-15-160/60-14 ●111万3000円

2011年6月

## カワサキ Ninja 250R スペシャルエディション



ライムグリーンをベースにブラックを基調したグラフィックを採用し、前後ホイールにピンストライプを施したスペシャルエディション。400台の限定販売。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●248cc ●31PS/11000rpm ●2.1kg・m/8500rpm ●168kg ●110/70-17-130/70-17 ●55万3000円

2011年7月

## ホンダ ディオ110



スポーティーな走りイメージさせるスタイリングの車体は、14インチの大径ホイールによる優れた安定性と、シート収納スペースなど高い実用性を兼ね備える。新設計の空冷エンジンは、低燃費と十分なパワーを発揮。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●107cc ●8.4PS/8250rpm ●0.89kg・m/6500rpm ●103kg ●80/90-14-90/90-14 ●19万9500円

2011年7月

## ホンダ CB1100<Type I> ABS・スペシャルエディション



タイプI ABSをベースに、車体をパールセイレンブルーとし、シルバーのエンジンやホイール、色調変更したエンブレムを組み合わせた受注期間限定モデル。

●空冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●1140cc ●88PS/7500rpm ●9.4kg・m/5000rpm ●247kg ●110/80R18-140/70R18 ●109万2000円

2011年7月

## ヤマハ TMAX WGP 50周年記念カラー



MotoGPマシンのYZR-M1と共通デザインの、ヤマハWGP参戦50周年記念カラーを採用した期間限定受注生産モデル。スポンサーステッカーも同梱。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●499cc ●38PS/7000rpm ●4.5kg・m/5500rpm ●222kg ●120/70R15-160/60R15 ●97万6500円

2011年7月

## カワサキ エストレヤ



シンプルでありながら、上質な造形と機能性を兼ね備えた250シングル。2012年モデルでは新色のキャンディアラビアンレッド、メタリックミッドナイトサファイアブルーを採用。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●249cc ●20PS/7500rpm ●2.0kg・m/6000rpm ●142kg ●90/90-18-100/90-17 ●51万8000円

2011年7月

## カワサキ 250TR



2012年モデルでは鮮やかなパールソーラーイエローと、漢字を用いた独創的なデザインのエンブレムをあしらったポーラホワイトの2色をラインアップ。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●249cc ●19PS/7500rpm ●1.8kg・m/6000rpm ●134kg ●90/90-19-110/90-18 ●41万8000円

2011年8月

## スズキ バンディット1250S ABS



ハーカウル装備のバンディット1250Sが色変更。新色のサンダーグレーメタリックと既存のパールネプチューンブラックの2色に。ABSデカールがフロントフェンダー上部へ。

●水冷4ストDOHC4バルブ直列4気筒 ●1254cc ●100PS/7500rpm ●10.9kg・m/3500rpm ●252kg ●120/70-17-180/55-17 ●108万1500円

2011年8月

## カワサキ Ninja 250R



カラーリングを変更し、ライムグリーン、メタリックスパークブラック、パッションレッドの3色を展開。リアブレーキの220mmペダルディスクなど装備内容に変更はない。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●248cc ●31PS/11000rpm ●2.1kg・m/8500rpm ●168kg ●110/70-17-130/70-17 ●53万3000円

2011年9月

## カワサキ Ninja 400R



視認性に優れたLEDテールランプ。前部に装備したペダルディスクなど所有感を満たしてくれる400スポーツ。カラー変更で青、赤の2色を設定する。

●水冷4ストDOHC2バルブ並列4気筒 ●399cc ●44PS/9500rpm ●3.8kg・m/7500rpm ●203kg ●120/70ZR17-160/60ZR17 ●64万9000円

2012年  
ヤマハ **FZ8 WGP50周年記念カラー**



白ベースに赤いストロボラインという、ヤマハのWGP参戦50周年記念カラーを採用したアニバーサリーエディションはFZ8にも設定された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●779cc●106PS/1000rpm●8.4kg-m/800rpm●211/216kg(ABS)●120/70ZR17-180/55ZR17●輸出車

2012年  
スズキ **GSR750/ABS**



GSX-R750をベースにしたエンジン、スチール製ツインスーパーフレームに積んで攻撃的なスタイリングを与えられたネイキッドモデル。GSR600の後継にあたる。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●749cc●106PS/1000rpm●NA●210/213kg●120/70-17-180/55-17●輸出車

2012年  
スズキ **GSX-R1000**



2本出しだったマフラーを1本出しにするなど、軽量化を徹底。サスペンディングなど細かな熟成でさらに戦勝力を絞り出している。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●999cc●NA●NA●203kg●120/70ZR17-190/50ZR17●輸出車

2012年  
スズキ **GSX-R750**



2012年モデルはカラーチェンジのみ、ブルー×ホワイトを各国で販売、欧州でブラック、北米とオセアニアでイエローを設定。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●750cc●NA●NA●190kg●120/70ZR17-180/55ZR17●輸出車

2012年  
カワサキ **Ninja ZX-10R**



2011年にモデルチェンジしたカワサキ製SSのフラッグシップ。2012年モデルの変更点はカラーラインアップのみだ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●998cc●200PS/1300rpm●欧州仕様●11.4kg-m/11500rpm●198kg●120/70ZR17-190/55ZR17●輸出車

2012年  
カワサキ **Ninja 650R/ABS**



欧米で人気のニンジャ650Rがフルモデルチェンジ。車体・エンジンともにポテンシャルアップ。フルカウルは風洞実験により、快適さとスポーツ性を両立。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●649cc●70.7PS/800rpm(東南アジア仕様)●6.5kg-m/7000rpm(東南アジア仕様)●209kg/211kg●120/70ZR17-160/60ZR17●輸出車

2012年  
カワサキ **Ninja 1000/ABS**



2012年モデルはカラー変更、これまでの黒×赤に代わって、銀×黒を設定。継続のライムグリーンも配色デザインが新しくなった。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1043cc●136PS/9000rpm●11.2kg-m/7800rpm●228/231kg●120/70ZR17-190/50ZR17●輸出車

2012年  
カワサキ **ER-6n/ABS**



基本コンセプトを受け継ぎつつモデルチェンジ。フレーム、スタイリングなど車体は一新、エンジンは低中速トルクを強化して魅力アップ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●649cc●72PS/8500rpm●6.5kg-m/7000rpm●209kg/211kg(ABS)●120/70ZR17-160/60ZR17●輸出車

2012年  
カワサキ **Z1000/ABS**



2012年モデルはカラー変更のみで、初代Z1000のイメージカラーだったオレンジが復活。シウルドにはZのグラフィックも入った。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1043cc●138PS/9600rpm●11.2kg-m/7800rpm●218/221kg●120/70ZR17-190/50ZR17●輸出車

2012年  
カワサキ **ヴェルシス**



ロングストロークのサスペンションに17インチホイールを組み合わせたフルライド系スポーツ、ヴェルシス。カラーは黒×黄が追加された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●649cc●N.A.●N.A.●206kg●120/70ZR17-160/60ZR17●輸出車

2012年  
スズキ **グラディウス650/ABS**



国内モデルのグラディウス400の兄貴分は輸出仕様。Vツインらしさを残しながら扱いやすいエンジンと、特徴的なスタイリングが魅力。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●645cc●72PS/9000rpm●6.5kg-m/6400rpm●202/205kg●120/70-17-160/60-17●88万2000円/93万4500円

2012年  
スズキ **Vストローム650ABS**



使い勝手の良いVストロームがモデルチェンジ。新デザインのフロントカウルやスクリーンで快適性アップ、ABSも標準化。エンジンもよりトルクフルに。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●645cc●69PS/8800rpm●6.1kg-m/6400rpm●214kg●110/80R19-150/70R17●輸出車

2012年  
ヤマハ **YZF-R6/WGP50周年記念カラー**



レースでの勝利を目指す先鋭的なR6。2012年モデルはカラー変更。他のヤマハ車に用意されているWGP参戦50周年記念カラーもラインアップ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●599cc●123.7PS/14500rpm●6.7kg-m/10500rpm●189kg●120/70ZR17-180/55ZR17●輸出車

2012年  
スズキ **GSX-R600**



2012年型はカラーチェンジのみで、ブラックとブルー×ホワイトの2タイプ設定に。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●599cc●NA●NA●187kg●120/70ZR17-180/55ZR17●輸出車

2012年1月

## ホンダ CB400 スーパーフォア/ABS



単色タイプは従来の3色のバリエーションを継続。ツートンタイプは細部のカラーが変更された。カラーにより価格は異なる。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●399cc ●53PS/10500rpm ●3.9kg-m/9500rpm ●194kg/199kg ●120/60ZR17-160/60ZR17 ●71万9250円～81万3750円

2012年1月

## ホンダ CB400 スーパーフォア スペシャルエディション



グラファイトブラックを基調にゴールドを配したツートンカラーで、エンジンや足まわりまで黒で統一。期間限定受注モデル。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●399cc ●53PS/10500rpm ●3.9kg-m/9500rpm ●194kg ●120/60ZR17-160/60ZR17 ●75万7500円

2012年1月

## ホンダ CB400 スーパーボールドール/ABS



単色タイプは従来のバリエーションを継続、ツートンタイプはバリエーションは変えず、ホイールなどのカラーを変更。カラーによって価格は異なる。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●399cc ●53PS/10500rpm ●3.9kg-m/9500rpm ●198/203kg ●120/60ZR17-160/60ZR17 ●79万2750円～89万7750円

2012年1月

## ホンダ CB400 スーパーボールドール スペシャルエディション



スペシャルエディションも、グラファイトブラックに車体の前方から後方にかけてゴールドのラインを入れたゴージャスなイメージのカラーと装備が特徴。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●399cc ●53PS/10500rpm ●3.9kg-m/9500rpm ●198kg ●120/60ZR17-160/60ZR17 ●82万4250円

2012年1月

## スズキ スカイウェイブ250 タイプM



ブレーキレバー部のゴムカバーを廃止、車載工具の内容変更、スタートスイッチリングの照明をオレンジにするなど小変更。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●26PS/7500rpm ●2.5kg-m/6000rpm ●221kg ●120/80-14-150/70-13 ●71万4000円

2012年1月

## スズキ スカイウェイブSS



スクリーンレスのエアロマスクにクロームメッキのハンドルバー、ミラー、サイドスタンドを採用するSSが、車載工具の内容などを小変更して価格は据え置き。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●26PS/7500rpm ●2.5kg-m/6000rpm ●215kg ●120/80-14-150/70-13 ●68万2500円

2012年2月

## ホンダ CB1100/ABS



CB1100がマイナーチェンジでアップハンドルタイプに統一。さらにシート変更で乗り心地を向上し、サイドカバーには立体エンブレムも装着された。

●空冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●1140cc ●88PS/7500rpm ●9.4kg-m/5000rpm ●243/247kg ●110/80R18-140/70R18 ●99万7500円/107万1000円

2012年1月

## ヤマハ セロー-250



ホワイト×グリーンは、シートをモノトーンとし、ゴールドホイールを装着。ホワイト×レッドは、ツートンシートにシルバーホイールという組み合わせ。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●249cc ●18PS/7500rpm ●1.9kg-m/6500rpm ●130kg ●2.75-21-120/80-18 ●49万3500円

2012年1月

## スズキ e-レッツ/W



ホイールレイン電気モーターとリチウムイオン電池を使った排気ガスゼロの電動スクーター。車体のベースとなったのはレッツ4i/バスケット。Wはもうひとつバッテリーが追加される。

●交流同期電動機 ●定格出力0.58kW ●2.3PS/2050rpm ●1.5kg-m/350rpm ●72kg ●80/90-10-80/90-10 ●31万2900円/39万6900円

2012年1月

## スズキ スカイウェイブ400 リミテッド ABS



ガラススパークルブラック×パールムーンストーングレーの新色を採用し、ホイールピンストライプを追加。車載工具の内容を変更するとともに「400」エンブレムを廃止。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●399cc ●31PS/7000rpm ●3.4kg-m/5000rpm ●227kg ●120/80-14-150/70-13 ●78万7500円

2012年1月

## スズキ スカイウェイブ250タイプS ベーシック



新色のサンダーグレーメタリックが登場。レバーのゴムカバーを廃止し、車載工具の見直しの他にトランスポンダイモビライザーを変更。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●26PS/7500rpm ●2.5kg-m/6000rpm ●214kg ●120/80-14-150/70-13 ●64万5000円

2012年1月

## スズキ スカイウェイブ250リミテッド



高いスクリーンや手の先を寒さから守るナックルバイザー、グリップヒーターを採用したのがリミテッド。シリーズ中もっとも質感剛健。車載工具も変更。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●26PS/7500rpm ●9.4kg-m/5000rpm ●218kg ●120/80-14-150/70-13 ●67万2000円

2012年2月

## ホンダ CB1100ブラックスタイル/ABS



車体色を精悍なグラファイトブラックとし、エンジンや前後ホイール、サスペンションパーツまで黒で統一しワイルドなイメージを強調したモデル。ABS仕様もラインアップ。

●空冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●1140cc ●88PS/7500rpm ●9.4kg-m/5000rpm ●243/247kg ●110/80R18-140/70R18 ●96万6000円/103万9500円

2012年5月

ホンダ **スーパーカブ50**



スーパーカブ50が46年ぶりにフルモデルチェンジ。外装デザインをはじめ、パイプアンダーボーンフレーム+樹脂製外装ボディ、二段クラッチを採用した新型エンジン、フロントサスのテレスコピックフォーク化など、スーパーカブ110と共通した設計に。中国で生産することで価格も引き下げられた。

●水冷4スト OHC2バルブ単気筒 ●49cc ●3.7PS/7500rpm ●0.39kg-m/5500rpm ●95kg ●60/100-17-60/100-17 ●18万7950円

2012年5月

スズキ **スカイウェイブ650LX**



車体色に新色パールムーンストーングレーを追加設定。継続して販売されるパールミラーージュホワイトと合わせて2色設定となった。

●水冷4スト DOHC4バルブ並列2気筒 ●638cc ●50PS/7000rpm ●6.1kg-m/5000rpm ●277kg ●120/70R15-160/60R14 ●111万3000円

2012年5月

ホンダ **CRF250L**



ホンダが国内向けに開発したスクタの250ccフルサイズオフローダー。CBR250R用単気筒エンジンをオフロード向けにリファインし、新設計のスチール製ソインチューブフレームに搭載。倒立フォークなどを組み合わせ、市街地からオフロードまで軽快な走りを楽しめる。CBR250Rと同様にタイで生産されている。

●水冷4スト DOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●23PS/8500rpm ●2.2kg-m/7000rpm ●143kg ●3.00-21-120/80-18 ●44万9400円

2012年5月

ホンダ **PCX**



エンジンを改良し、耐久性と静粛性、燃費性能をさらに追求した新型のeSPエンジンを搭載。シート形状など細部も熟成され、さらに使いやすく進化した。

●水冷4スト OHC2バルブ単気筒 ●124cc ●12PS/8500rpm ●1.2kg-m/6500rpm ●128kg ●90/90-14-100/90-14 ●29万9250円

2012年6月

ホンダ **VFR1200X/XD 無限**



アドベンチャーツアラーVFR1200Xが、無限製マフラーなどを装着した無限仕様として国内販売を開始。DCT仕様のXDも用意。

●水冷4スト OHC4バルブV型4気筒 ●1237cc ●129PS/7750rpm ●12.8kg-m/6500rpm ●275/285kg ●120/70ZR17-160/60ZR17 ●163万2750円/175万3500円

2012年6月

ホンダ **NC700X デュアルクラッチトランスミッション<ABS>**



NC700XのABS仕様をベースに、インテグラリに採用されていたATモードやスイッチでのシフト操作も可能なDCTを組み合わせたエンジンを搭載。

●水冷4スト OHC4バルブ並列2気筒 ●669cc ●50PS/6250rpm ●6.2kg-m/4750rpm ●228kg ●120/70ZR17-160/60ZR17 ●75万2850円

2012年6月

ホンダ **NC700S デュアルクラッチトランスミッション<ABS>**



ニューミッドコンセプトのスタンダードモデルである、ネイキッドスタイルのNC700SにもXと同様DCT仕様も追加された。

●水冷4スト OHC4バルブ並列2気筒 ●669cc ●50PS/6250rpm ●6.2kg-m/4750rpm ●225kg ●120/70ZR17-160/60ZR17 ●70万1400円

2012年6月

ホンダ **NC700X タイプLD/ABS/DCT<ABS>**



NC700XにNC700Sのサスペンションを装着し、シート高を下がり取り回しやすとしたモデル。ノーマル、ABS、DCTのいずれでも選択できる。

●水冷4スト OHC4バルブ並列2気筒 ●669cc ●50PS/6250rpm ●6.2kg-m/4750rpm ●214kg/218kg(ABS)/228kg(DCT) ●120/70ZR17-160/60ZR17 ●64万9950円/69万9300円(ABS)/75万2850円(DCT)

2012年6月

ホンダ **PCX150**



PCXの使いやすしいサイズや装備など車体はそのままに、排気量を拡大した152ccの排気量を持つeSPエンジンでパワーアップした、軽二輪バージョンのPCX。

●水冷4スト OHC2バルブ単気筒 ●152cc ●13PS/8500rpm ●1.4kg-m/5500rpm ●129kg ●90/90-14-100/90-14 ●32万9700円

2012年7月

スズキ **バンディット1250S ABS**



バンディット1250シリーズのスタンダードモデル。1250Sがマイナーチェンジ。フレームのカラーがブルーに変わり、ウインカーも変更された。

●水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ●1254cc ●100PS/7500rpm ●10.9kg-m/3500rpm ●252kg ●120/70ZR17-180/55ZR17 ●108万1500円

2012年7月

スズキ **バンディット1250F ABS**



高速走行が快適なフルカウルを備えたバンディット1250F。ボディカラーにオールドグレーメタリックを追加し、全4色のラインアップとなった。

●水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ●1254cc ●100PS/7500rpm ●10.9kg-m/3500rpm ●256kg ●120/70ZR17-180/55ZR17 ●112万3500円

2012年7月

スズキ **GSR250**



存在感の強いネイキッドスタイルが特徴の新型250ccネイキッドスポーツ。大柄なボディサイズによる安定感の高い乗り味、粘り強くスムーズなパワー特性の水冷並列2気筒エンジンで快適に長距離走行が可能。中国で生産を行なうことで、価格もリーズナブルな設定とされている。

●水冷4スト OHC2バルブ並列2気筒 ●248cc ●24PS/8500rpm ●2.2kg-m/6500rpm ●183kg ●110/80-17-140/70-17 ●43万8900円

2014年3月

ホンダ **CB1300スーパーフォア**



CB1300SFがモデルチェンジ。6速ミッション化、新型ホイールの装着、新設計のメーターなど多岐にわたる変更で熟成度をアップ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1284cc●101PS/7000rpm●11.7kg・m/5500rpm●267kg●120/70ZR17-180/55ZR17●122万6400円～125万7900円

2014年3月

ホンダ **VFR1200Xデュアルクラッチトランスミッション**



ホンダのアドベンチャーツアラーVFR1200Xの国内仕様。車名の通りVFR1200Fと基本メカニズムを同じくし、DCTやABSなど装備も充実。

●水冷4ストDOHC4バルブV型4気筒●1236cc●106PS/6000rpm●12.7kg・m/5500rpm●288kg●110/80R19-150/70R17●183万7500円

2014年3月

ホンダ **CB400スーパーボールドール**



視認性、被視認性に優れデザインの自由度も高いLEDヘッドライトを採用し、フロントカウルもより精悍さを感じさせるものとなった。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●399cc●53PS/10500rpm●3.9kg・m/9500rpm●200kg/203kg(ABS)●120/60ZR17-160/60ZR17●83万4750円～91万5600円

2014年3月

ホンダ **CB400スーパーフォア**



サイドカバーやリアカウル、メーターなどに新デザインを採用。ホイールも10本スポークの新型を装着。ポジションの設定も見直された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●399cc●53PS/10500rpm●3.9kg・m/9500rpm●197kg/200kg(ABS)●120/60ZR17-160/60ZR17●74万2500円～82万1100円

2014年3月

カワサキ **Z250**



ニンジャベースの250ストリートファイターであるZ250の2014年モデルは、特徴的なスタイルとメカニズムはそのまま、新たなカラーリングを採用。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●248cc●31PS/11000rpm●2.1kg・m/8500rpm●168kg●110/70-17-140/70-17●48万8250円

2014年3月

ホンダ **モンキー・くまモンバージョン**



モンキーをベースに、熊本県のPRマスコットくまモンをイメージさせる黒×赤のカラーや、くまモンのイラストラジックなど専用パーツを装着。

●空冷4ストDOHC2バルブ単気筒●49cc●3.4PS/8500rpm●0.35kg・m/5000rpm●68kg●3.50-8-3.50-8●33万6960円

2014年4月

ホンダ **ゴールドウイングF6C**



ゴールドウイングシリーズのバリエーションモデル。独特のアルミフレームやバワフルで滑らかな水平対向6気筒エンジンなどをゴールドウイングと共用。LEDヘッドライト&テールライトなどを採用することで実現された独特なプロポーションを組み合わせ、まさに「ストリート・マッスル・クルーザー」と呼ぶにふさわしい、強い存在感を見せている。

●水冷4ストDOHC2バルブ水平対向6気筒●1832cc●117PS/5500rpm●17.1kg・m/4000rpm●342kg●130/60R19-180/55R17●199万8000円

2014年4月

スズキ **GSR750 ABS/専用ツートーン**



スズキのミドルスーパーネイキッドGSR750に、青×白の専用ツートーンカラーのモデルを追加。青色のチェーンやチタン色のハンドルも特徴。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●749cc●106PS/12000rpm●8.2kg・m/9000rpm●213kg●120/70ZR17-180/55ZR17●96万9840円/100万2240円

2014年4月

ホンダ **VFR800F**



フレームは先代のVFRがベースだが、サイドに配置されていたラジエーターをエンジン前に移すことで実現されたシャープなフルカウルで大幅にイメージチェンジ。ハイパーVTEC機構を備えるV4エンジンも吸気系の改良で力強さを増し、トラクションコントロールも装備。この国内仕様は受注生産モデルで、ETC車載器とグリップヒーターを標準装備。

●水冷4ストDOHC4バルブV型4気筒●781cc●105PS/10250rpm●7.6kg・m/8500rpm●242kg●120/70ZR17-180/55ZR17●135万円

2014年4月

ホンダ **CBR650F**



4000回転以下でも豊かなトルクを発揮する新開発された水冷直4エンジンや、スチール製の楕円断面ダイヤモンドフレームなど、主要コンポーネントはCB650Fと共用。ハンドルはコントロール性を重視したクリップオンハンドルに変更されている。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●648cc●83PS/9500rpm●6.4kg・m/8000rpm●211kg●120/70ZR17-180/55ZR17●99万9000円

2014年4月

ヤマハ **MT-09/ABS**



ロードスポーツとモーターが融合したような独特のスタイル。バワフルな3気筒エンジン、軽量コンパクトさを活かした切れ味鋭い走りでの注目のMT-09に待望の国内仕様が登場。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列3気筒●846cc●110PS/8500rpm●8.9kg・m/8500rpm●188/191kg●120/70ZR17-180/55ZR17●84万9960円/89万9640円

2014年12月

ホンダ **VFR800X**



VFR800Xがモデルチェンジ。中低速で力強さを増したエンジンやトラクションコントロール採用のほか、LEDライトやヒートクリップなどの装備も充実化。

●水冷4ストDOHC4バルブV型4気筒●782cc●105PS/10250rpm●7.6kg・m/8500rpm●244kg●120/70R17・180/55R17●138万2400円

2014年12月

スズキ **レッツG**



4スト化から約10年を経てフルモデルチェンジ。17%もの燃費向上のほか、フロントインナーポケットなど装備も充実。レッツGは各部にメッキが採用され、シートにはパイピングが施される。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●49cc●4.1PS/8000rpm●0.38kg・m/7000rpm●69kg●80/90-10・80/90-10●15万4440円

2015年

カワサキ **Ninja H2**



カワサキの技術の粋を集めたニンジャシリーズの最高峰。新設計の1000cc水冷直4を専用開発のスーパーチャージャーで過給するエンジンを搭載。ハイパワーに動じない安定性とシャープなハンドリングを両立するスチール製トレリスフレームは、ピボットレス構造も採用。スイングアームはカワサキ車初となる片持ちタイプ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒スーパーチャージャー●998cc●200PS/11000rpm●13.6kg・m/10500rpm●238kg●120/70ZR17・200/55ZR17●輸出車

2015年

スズキ **GSX-R750**



GSX-R750にもカウルにスズキロゴを大胆にあしらったGSX-RRのレプリカカラーがラインアップ。その他にはグレー×ホワイト、レッド×ホワイトが用意された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●750cc●148PS/13200rpm●NA●190kg●120/70ZR17・180/55ZR17●輸出車

2015年

ヤマハ **YZF-R1**



6年ぶりにフルモデルチェンジ。新しいアルミ製デルタボックスフレームに搭載される新型エンジンは、大幅に軽量化しながら最高出力200PSを発揮し、マルチプレートスリッパークラッチも装備。市販二輪車で初搭載された6軸姿勢センサーは、トラクションコントロールやABSなどのデバイスを統合した「YRC」の制御などに活用される。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●998cc●200PS/13500rpm●11.5kg・m/11500rpm●199kg●120/70ZR17・190/55ZR17●輸出車

2014年12月

ヤマハ **BW'S**



オフロード車的なディテールを大きく取り入れた個性的スタイルが人気のBW'Sにマットチタン1を設定し、継続色のブルーとともに足まわりをブラックアウト。

●水冷4ストOHC3バルブ単気筒●49cc●4.0PS/8000rpm●0.37kg・m/6000rpm●92kg●120/90-10・120/90-10●23万2200円

2015年

スズキ **GSX-R1000**



2015年はGSX-RRレプリカなどの通常カラーのモデルに加え、GSX-R30周年記念の限定アニバーサリーモデルもラインアップされていた。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●999cc●185PS/11,000rpm●NA●205kg●120/70ZR17・190/50ZR17●輸出車

2015年

カワサキ **ヴェルシス1000**



2015年モデルで初のモデルチェンジ。フロントマスクに、ロードスポーツ風デュアルヘッドライトを備えた、ニンジャ1000を思わせるデザインに変更。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1043cc●120PS/9000rpm●10.4kg・m/7500rpm●249kg●120/70ZR17・180/55ZR17●輸出車

2015年

ヤマハ **XJR1300レーサー**



2015年にイメージを一新したXJR1300の輸出モデルをベースにした上級仕様。専用デザインのピニオンカウルを追加した、70年代的なカフェレーサースタイルが特徴。

●空冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1251cc●98PS/8000rpm●11.1kg・m/6000rpm●240kg●120/70ZR17・180/55ZR17●輸出車

2015年

カワサキ **1400GTR**



2015年モデルでは、電動ウインドスクリーンに空気導入口を追加。その他、1速をローギアード化して低回転域のレスポンスを向上。シートの改良による快適性もアップ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1352cc●155PS/8800rpm●13.9kg・m/6200rpm●305kg●120/70ZR17・190/50ZR17●輸出車

2015年

ヤマハ **XSR700**



MT-07の基本コンポーネンツをもとに、クラシカルなスポーツバイクを想わせる個性的なスタイリングを合体させたヘリテイジカスタムバージョン。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●689cc●74.8PS/9000rpm●6.9kg・m/6500rpm●186kg●120/70ZR17・180/55ZR17●輸出車

2015年

カワサキ **ヴェルシス650ABS**



ER-6をベースにロングストロークのサス、アップライトなポジション設定などを与えたアドベンチャー。2015年モデルでフルモデルチェンジ、スタイルも走りもさらに洗練された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●649cc●69PS/8500rpm●6.5kg・m/7000rpm●216kg●120/70ZR17・160/60ZR17●輸出車

2015年

## スズキ GSX-R600



GSX-R600の2015年モデルでは、この年から参戦をはじめたMotoGPマシン・GSX-RRのレプリカカラーも用意してレーシーさをアピール。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●599cc ●126PS/13500rpm ●10.7kg・m/9500rpm ●187kg ●120/70ZR17-180/55ZR17 ●輸出車

2015年1月

## スズキ バンディット1250S/F ABS



オールラウンドなビッグバイクとして人気のバンディット1250Sがモデルチェンジ。ハーフカウルのデザイン変更などでさらに使い勝手の良さが増した。フルカウルを装備したバンディット1250Fはカラー変更がおこなわれた。

- 水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●1254cc ●100PS/7500rpm ●10.9kg・m/3500rpm ●252/256kg ●120/70ZR17-180/55ZR17 ●111万2400円/115万5600円

2015年1月

## ホンダ CB1100EX <ABS> 特別仕様車



キャストホイール化することでトラディショナルなイメージと軽快さを融合。この変更によって、スタンダードなCB1100EXよりも2kg軽量化が図られている。

- 空冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●1140cc ●90PS/7500rpm ●9.3kg・m/5500rpm ●257kg ●100/80R18-140/70R18 ●116万3160円

2015年1月

## ホンダ CBR650F 特別カラー



2015年1月には、ホンダ伝統のトリコロールイメージのカラーリングを採用した特別モデルが、100台限定で発売された。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●648cc ●83PS/9500rpm ●6.4kg・m/8000rpm ●211kg ●120/70ZR17-180/55ZR17 ●99万9000円

2015年1月

## スズキ GSR250S



大型ハーフカウルとアップ気味のハンドルを装着し、快適性をさらに高めたGSR250Sがマイナーチェンジ。サイドアッパーカウルのカラーがシルバーとなり、GSRのロゴデカールのカラーを変更。

- 水冷4ストOHC2バルブ並列2気筒 ●248cc ●24PS/8500rpm ●2.2kg・m/6500rpm ●188kg ●110/80-17-140/70-17 ●49万2480円

2015年1月

## ホンダ タクト



タクトの名を冠したスクーターが久々に復活。コンパクトで実用的な造りのボディに、タンクにも採用された50cc版水冷eSPエンジンを搭載。

- 水冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●49cc ●4.5PS/8000rpm ●0.42kg・m/7500rpm ●79kg ●80/100-10-80/100-10 ●17万2800円

2015年2月

## ホンダ VFR800F



2015年2月には、新色としてパールグレアホワイトが追加設定され、ウィクトリーレッド、ダークネスブラックメタリックと合わせて3色が揃った。

- 水冷4ストDOHC4バルブV型4気筒 ●781cc ●105PS/10250rpm ●7.6kg・m/8500rpm ●242kg ●120/70ZR17-180/55ZR17 ●135万円

2015年

## ヤマハ YZF-R1M



新型YZF-R1の上級モデル。サーキットでのライディングをより積極的に楽しむために開発されたYZF-R1Mには、専用のカーボン製カウルが装着されるだけでなく、オーストラリア製の電子制御サスペンションを標準装備。さらに内蔵のGPSシステムや6軸姿勢センサーで走行データ記録用のWi-Fiインターフェースまで搭載されている。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●200PS/13500rpm ●11.5kg・m/11500rpm ●200kg ●120/70ZR17-200/55ZR17 ●輸出車

2015年1月

## ホンダ CBR1000RR SP チャンピオンズスペシャル



2014年シーズンのMotoGPで、レプソル・ホンダチームがライダー、コンストラクター、チームの3タイトルを独占したことを記念して特別仕様車が受注期間限定で発売。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●999cc ●123PS/9500rpm ●9.9kg・m/8500rpm ●211kg ●120/70ZR17-190/50ZR17 ●211万1400円

2015年1月

## ヤマハ TMAX530/アイアンマックス



TMAX530が2015年モデルでモデルチェンジ。LEDヘッドライト採用とそれに合わせてフロントマスクを変更。さらにフロントフォークを倒立タイプに変更しハンドリングに磨きかけると同時に、スマートキーシステムなどで実用性も向上。スエード調のシートや専用メーターを装備する上級版のアイアンマックスも同様の改良を受けた。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●530cc ●48PS/6750rpm ●5.4kg・m/5250rpm ●222kg ●120/70R15-1160/60R15 ●105万8400円/109万800円

2015年1月

## ホンダ タクト ベーシック



久々に復活を遂げたタクトの1リレーションモデル。スタンダード版より15mm低いシート高による良好な足つき性を確保しつつ、価格も同様に抑えられている。

- 水冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●49cc ●4.5PS/8000rpm ●0.42kg・m/7500rpm ●78kg ●80/100-10-80/100-10 ●15万9840円

2015年2月

## スズキ GSR750ABS



2015年2月のマイナーチェンジでは、ハンドルバーの色をマットシルバーに、車体色が白のモデルのホイールをブラックに、車体色が黒のモデルのGSRロゴの色をグレーに変更。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●749cc ●106PS/10000rpm ●8.2kg・m/9000rpm ●213kg ●120/70ZR17-180/55ZR17 ●96万9840円/100万2240円(ツートーン)

2015年5月

## ホンダ PCX/150



新色としてPCXには精悍なイメージのマットテクニカルシルバーメタリックを、150には鮮やかなキャンディイーノープルレッドがそれぞれ追加された。

●水冷4ストOHC単気筒●124cc/152cc●12(14)PS/8500rpm●1.2(1.4)kg-m/5000rpm●130(131)kg●90/90-14/100/90-14●32万9400円(PCX)/36万720円(PCX150)

2015年5月

## スズキ アドレス V50



新型FI採用によって低燃費を実現したSEPエンジンを採用。スタイリングなどは従来モデルのままで、タンク容量もレッツのように従来の4.5Lから4.8Lへと増量。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●49cc●4.1PS/8500rpm●0.38kg-m/6500rpm●73kg●80/90-10/80/90-10●15万5520円

2015年5月

## スズキ レッツ バスケット



レッツバスケットも新エンジンを搭載。さらに燃料タンク容量もレッツと同様に4.5Lから4.8Lへと増やされて最大航続距離も伸ばされている。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●49cc●4.1PS/8500rpm●0.38kg-m/6500rpm●75kg●80/90-10/80/90-10●16万6320円

2015年6月

## ホンダ リード125



スタイリッシュで実用性に優れた原付二種スクーターのリード125がマイナーチェンジ、同時にカラーバリエーションも変更された。アイドリングストップシステムの見直しでバッテリーの寿命を伸ばし、メーターのオイル交換時期の目安を表示する機能もより使いやすく改良。新色を加えたカラーバリエーションは全4色に。

●水冷4ストOHC単気筒●124cc●11PS/8500rpm●1.2kg-m/5000rpm●114kg●90/90-12/100/90-10●29万3760円

2015年6月

## ヤマハ XJR1300C



定番ビッグネイキッド・XJR1300をベースに、クラシカルなディテールと最新技術を融合させる最新のヘリテイジカスタムを取り入れたカフェレーサー仕様。

●空冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1251cc●98PS/8000rpm●11.1kg-m/6000rpm●240kg●120/70ZR17-180/55ZR17●135万円

2015年6月

## カワサキ バルカン S/ABS



カワサキのクルーザーとして長年親しまれてきたバルカンシリーズは、2007年以降水冷Vツイン搭載の900系のみだったが、久々にニューモデルのバルカンSが登場。ER-6系の水冷並列2気筒エンジンを新たにデザインされたモダンで個性的な車体に搭載。街乗りからツーリングまで、多彩なニーズにフィットできるアーバンランナーだ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●649cc●61PS/7500rpm●6.4kg-m/6600rpm●224kg●120/70-R18-160/60-R17●77万40円/82万800円

2015年6月

## カワサキ Ninja 400ABS リミテッドエディション



ニンジャ400ABSのスタンダードモデルともスペシャルエディションとも異なるゴージャスな専用カラーのリミテッドエディションが登場。限定300台のみ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●399cc●44PS/9500rpm●3.8kg-m/7500rpm●149kg●120/70ZR17-160/60ZR17●75万1680円

2015年7月(受付開始)

## ホンダ RC213V-S



MotoGPレーサーホンダRC213Vのストリートバージョンとして、2014年のEICMAで初公開。RC213Vの基本メカニズムを踏襲。保安部品こそ装着されているものの、カウルの形状やフレーム、スイングアーム、マフラーなど、RC213Vそのまま、その妥協のない造り込みはまさにMotoGPレプリカだ。

●水冷4ストDOHC4バルブV型4気筒●999cc●70PS/6000rpm●8.8kg-m/5000rpm●170kg(乾重)●120/70ZR17-190/55ZR17●2190万円\*日本仕様参考値

2015年7月

## スズキ GSX-S1000F ABS



GSX-S1000Iに高速走行での快適性を重視したフルカウルを装備した万能モデル。ネイキッドのGSX-S1000同様トラクションコントロールも採用。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●998cc●145PS/10000rpm●10.7kg-m/9500rpm●214kg●120/70ZR17-190/50ZR17●116万6400円

2015年7月

## スズキ GSX-S1000 ABS



GSX-R1000譲りのハイパフォーマンスをストリートで楽しめる、魅力的な新型スーパーネイキッドとして誕生。コンパクトなシェラウドとマスコットカウルを装着している。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●998cc●145PS/10000rpm●10.7kg-m/9500rpm●209kg●120/70ZR17-190/50ZR17●111万5640円

2015年7月

## カワサキ Ninja H2R



Ninja H2をベースに開発された、クローズドコース専用モデル。最高出力は300PSで前後タイヤもレーシングスリックが装着される。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒スーパーチャージャー●998cc●310PS(ラムエア加圧時:326PS)/14000rpm●16.8kg-m/12500rpm●216kg●120/600R17-190/650R17●540万円

2015年7月

## ヤマハ **YZF-R25 モビスターヤマハMotoGPエディション**



MotoGPマシン・YZR-M1を思わせるスポンサーロゴ入りカラーを採用。限定400台のみが販売される。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●249cc ●36P S / 12000rpm ●2.3kg・m / 10000rpm ●166kg ●110/70-17・140/70-17 ●56万7000円

2015年8月

## スズキ **スカイウェイブ650LX**



マイナーチェンジを敢行。変更点は、フロントフォークアウターチューブのカラーがブラックに変更されたことのみ。

●水冷4ストDOHC4バルブ2気筒 ●638cc ●50P S / 7000rpm ●6.1kg・m / 5000rpm ●277kg ●120/70R15・160/60R14 ●114万4800円

2015年8月

## スズキ **スカイウェイブ 400 リミテッドABS**



グリップヒーターやナックルパイザー、大型のバックレストを装備したリミテッドABSが新色のマットフィブリングレーメタリックを採用。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●399cc ●31P S / 7000rpm ●3.4kg・m / 5000rpm ●227kg ●120/80-14・150/70-13 ●84万2400円

2015年8月

## カワサキ **Dトラッカー X**



2016年モデルは、前年と同様にカラーの変更のみ。オリエンタルブルー、エボニー×メタリックプラットロウグレーストーンの2色に。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●24P S / 9000rpm ●2.1kg・m / 7000rpm ●138kg ●110/70-17・130/70-17 ●57万4560円

2015年8月

## カワサキ **KLX250**



高い信頼性が魅力のデュアルバーバスKLX250。2016年モデルはカラーとグラフィックの変更のみで、ライムグリーンとプライトホワイトを用意。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●24P S / 9000rpm ●2.1kg・m / 7000rpm ●136kg ●3.00-21・4.60-18 ●55万4040円

2015年8月

## ホンダ **ベンリィ/プロ**



50ccビジネススクーターのベンリィ/プロがモデルチェンジ。水冷eSPエンジンの採用に加え、実用性やメンテナンス性がさらに向上している。

●水冷4ストOHC単気筒 ●49cc ●4.4PS / 7750rpm ●0.43kg・m / 6000rpm ●110kg ●90/90-12・110/90-10 ●23万2200円 / 24万3000円

2015年9月

## カワサキ **Ninja 250/スペシャルエディション/ABS スペシャルエディション**



2016年モデルはメーターパネルのデザインとカラーバリエーションを変更。スペシャルエディションとそのABSモデルも、それぞれ新しいカラーが採用されている。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●248cc ●31P S / 11000rpm ●2.1kg・m / 8500rpm ●172kg / 174kg (ABS) ●110/70-17・140/70-17 ●55万3500円 / 56万9160円 / 62万4600円

2015年9月

## ヤマハ **マジスティ S**



クッションを増した柔らかいタンDEMシートの採用をはじめとして、サスの改良などが施された。さらに新色も追加、カラーバリエーションモデルのSPも追加設定。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●155cc ●15P S / 7500rpm ●1.4kg・m / 6000rpm ●145kg ●120/70-13・130/70-13 ●34万9920円

2015年9月

## ヤマハ **マジスティ S SP**



スタンダードモデルとは別に用意された新たなカラーリングバリエーションモデルがSP。マットチタンとパープルという専用ボディカラー2色が存在する。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●155cc ●15P S / 7500rpm ●1.4kg・m / 6000rpm ●145kg ●120/70-13・130/70-13 ●36万7200円

2015年9月

## ホンダ **ベンリィ110/プロ**



ベンリィの原付二種版の110/プロもモデルチェンジ。こちらはエンジンが従来モデルのままだが、やはりメンテナンス性の改善などが図られた。

●空冷4ストOHC単気筒 ●107cc ●7.9P S / 7000rpm ●0.88kg・m / 5000rpm ●117kg / 119kg ●90/90-12・110/80-10 ●27万3240円 / 28万4040円

2015年9月

## カワサキ **W800/スペシャルエディション**



2016年モデルはカラー変更のみで、メタリックオーシャンブルー×パールアルパインホワイトの1色設定に。専用カラーのスペシャルエディションではシートデザインも変更。

●空冷4ストOHC4バルブ並列2気筒 ●773cc ●48P S / 6500rpm ●6.3kg・m / 2500rpm ●216kg ●100/90-19・130/80-18 ●87万4800円 / 90万6120円

2015年9月

## スズキ **Vストローム650 ABS**



新色のガラススパークルブラック、キャンディードアリングレッドが追加され、継続販売されるマットフィブリングレーメタリックと合わせて3色設定に。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒 ●645cc ●66P S / 8800rpm ●6.0kg・m / 6500rpm ●214kg ●110/80R19・150/70R17 ●90万7200円

2015年9月

## スズキ **Vストローム650XT ABS**



2014年に追加されたVストローム650XTは、フロントカウルを前輪の上まで延ばしたユニークなフロントマスクと、スポークホイールが特徴。新色2タイプが追加。全3色に。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒 ●645cc ●66P S / 8800rpm ●6.0kg・m / 6500rpm ●215kg ●110/80R19・150/70R17 ●95万4000円

2015年9月

## ヤマハ **WR250X**



2016年モデルは、カラーバリエーションはブラック、ホワイトのままだが、タンクサイドからサイドカバーにまたがるロゴグラフィックに、ホイールにゴールドリムも採用された。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●31P S / 10000rpm ●2.4kg・m / 8000rpm ●134kg ●110/70R17・140/70R17 ●75万3840円

2016年1月

ホンダ **NC750X**



NC750Xが初のモデルチェンジ。LEDヘッドライトを採用してスタイリングを一新し、タンク部のラゲッジボックスの大型化など実用性も大きく向上。エンジンは細部にわたる熟成を図り扱いやすさを増し、DCTの制御プログラムも変更して完成度もアップ。フロントフォークなど足まわりにも手が入り、乗り心地とハンドリングも改善された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●745cc●54PS/6250rpm●6.9kg-m/4750rpm●218kg/220kg(ABS)/230kg(DCT・ABS)/231kg(Eパッケージ)●120/70ZR17・160/60ZR17●74万3040円/79万3800円(ABS)/85万9680円(DCT・ABS)/92万4480円(Eパッケージ)

2016年2月

ホンダ **CRF1000L アフリカツイン/ABS/DCT**



90年代に人気を集めた国産アドベンチャーツアラーの先駆けであるアフリカツインが、全てを一新したニューモデルとして復活。先代同様、道を選ばずどこへでも行けるモデルを目指し、新開発の998cc水冷並列2気筒エンジンなど、新技術を全身に取り入れて開発。オフロード走行にも対応したDCT搭載モデルも用意されるなど、快適性も非常に高い。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●998cc●92PS/7500rpm●9.7kg-m/6000rpm●232/242kg(DCT・ABS)●90/90-21・150/70R18●135万円~138万2400円/145万8000円~149万400円(DCT)

2016年2月

ヤマハ **MT-07/A**



ABS仕様専用色としてタンクグラフィックとホイールをブルーにしたマットシルバーが登場。スタンダードモデルと共通色のセンターカバーなどをブラックにしたレッドを用意。ホワイト、マットグレーは継続販売。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●688cc●73PS/9000rpm●6.9kg-m/6500rpm●179/182kg●120/70ZR17・180/55ZR17●69万9840円/74万9520円

2016年2月

ホンダ **CBR400R/ABS**



フルカウルボディにスムーズで扱いやすく燃費も良好な水冷並列2気筒エンジンを搭載したCBR400Rがモデルチェンジ。LEDヘッドライトとテールランプを新たに採用。これを活かしてシャープさを増したフロントマスクからテールまでエッジの効いたスタイリングが魅力。増量された燃料タンク、足まわりのリファイン、新しいマフラーなど各部も変更された。

●水冷4ストDOHC 4バルブ 並列2気筒●399cc●46PS/9500rpm●3.8kg-m/7500rpm●192/194kg●120/70ZR17・160/60ZR17●69万9840円~73万2240円/75万600円~78万3000円

2016年1月

ヤマハ **TMAX530/ABS アイアンマックス**



TMAX530の2016年モデルは新色のマットシルバーを採用。アイアンマックスはダークグレーにゴールドホイールやエンブレムを採用。写真はアイアンマックス。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●530cc●48PS/6750rpm●5.4kg-m/5250rpm●222kg●120/70R15・160/60R15●105万8400円/109万8000円

2016年1月

カワサキ **エストレヤ/スペシャルエディション**



カラーが一新され、メタリックスパークブラック、パールアルバインホワイトの2色に。スペシャルエディションはシートのデザインを変更、カラーも各部をブラックアウトしたキャンディクリムソノレッドとされた。

●空冷4ストDOHC2バルブ単気筒●249cc●18PS/7500rpm●1.8kg-m/5500rpm●161kg●90/90-18・110/90-17●53万3520円/54万8640円

2016年2月

ホンダ **NC750S/ABS/DCT/DCTABS**



Xと共通の熟成エンジンとSモードに3種類のレベルを設定できるDCT、新しいマフラーと足まわりなど採用。SIはETCとグリッヒヒーターを標準装備。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●745cc●54PS/6250rpm●6.9kg-m/4750rpm●216/218kg(ABS)/228kg(DCT・ABS)●120/70ZR17・160/60ZR17●69万120円~82万2960円

2016年2月

スズキ **ハヤブサ**



新色のレッド×ホワイトを追加し、継続色のホワイト×シルバー、グレー×ブラックと合わせて3色に。その他、前後ホイールリムにピンストライプテープも装着されている。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1339cc●197PS/9500rpm●15.8kg-m/7200rpm●256kg●120/70ZR17・190/50ZR17●160万9200円

2016年2月

スズキ **バンディット1250S ABS**



2015年にマイナーチェンジが行われた、メカニズム、諸元、カラーの大きな変更がなく、継続モデルとしてリリースされた。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1254cc●100PS/7500rpm●10.9kg-m/3500rpm●252kg●120/70ZR17・180/55ZR17●111万2400円

2016年2月

スズキ **バンディット1250F ABS**



1250Sの2016年モデルと同じく、1250Fも2015年モデルの継続モデルとして販売された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1254cc●100PS/7500rpm●10.9kg-m/3500rpm●256kg●120/70ZR17・180/55ZR17●115万5600円

2016年2月

カワサキ **ZRX1200ダエグ カワサキ正規取扱店特別仕様車**



専用カラーに加えて、オーリンズ製のフルアジャスタブルリアサス、専用シート、プレーキキャリアやホイールなどをゴールド仕上げとするなどグレードアップ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1164cc●110PS/8000rpm●10.9kg-m/6000rpm●246kg●120/70ZR17・180/55ZR17●131万7600円

2017年2月

ホンダ **CRF250ラリー**



CRF250Lのアドベンチャーバージョンというべき、CRF250ラリーの市販モデルが発売された。非対称デザインのヘッドライト、大型のスクリーンが目立つフロントマスクをはじめ、そのスタイルはホンダのダカールラリー用マシンのノウハウを取り入れたもの。サスペンションやエンジン、装備類も見直されて長距離走行も快適に。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●24.75PS/8500rpm ●2.3kg-m/6750rpm ●157kg ●3.00-21・120/80-18 ●64万8000円

2017年2月

ヤマハ **ジョグ デラックス**



スタンダードなスタイルに、アルミホイールにディスクブレーキ、シルバーのキャリパーを装着するジョグデラックスにも新色が追加設定された。

●水冷4ストOHC3バルブ単気筒 ●49cc ●4.3PS/8500rpm ●0.42kg-m/6500rpm ●84kg ●90/90-10・90/90-10 ●18万4680円

2017年2月

ヤマハ **ジョグZR**



ジョグシリーズの中、リアスポイラーやアルミホイール、ディスクブレーキを装着したスポーティバージョンのZR。2017年モデルで新色を追加。

●水冷4ストOHC3バルブ単気筒 ●49cc ●4.3PS/8500rpm ●0.42kg-m/6500rpm ●83kg ●90/90-10・90/90-10 ●20万9520円

2017年2月

ホンダ **CRF250L/Type LD**



スロットルボディの口径を大径化するとともに、マフラーの変更などで改良。フルデジタルメーターも装備している。ローダウン仕様のタイプLDも設定。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●24PS/8500rpm ●2.3kg-m/6750rpm ●144(143)kg ●3.00-21・120/80-18 ●49万7880円※()はタイプLD

2017年2月

ヤマハ **ジョグ プチ**



ジョグをベースに、シート高を725mmから700mmにダウンして扱いやすさを向上させたのがジョグプチ。2017年モデルでやはり新色が登場。

●水冷4ストOHC3バルブ単気筒 ●49cc ●4.3PS/8500rpm ●0.42kg-m/6500rpm ●83kg ●90/90-10・90/90-10 ●17万1720円

2017年2月

ホンダ **CRF250M**



エンジンを改良。メーターもフルデジタルとなったほか、リアフェンダーがシャープなものとなりテールランプも新設計されるなど、オフロードモデルのLと同様に変更。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●24PS/8500rpm ●2.3kg-m/6750rpm ●146kg ●110/70-17・130/70-17 ●53万8920円

2017年2月

ヤマハ **ビーノデラックス**



ポップで可愛いスタイルが人気の50ccスクーター、ビーノ。2017年モデルで新カラー3色が加わり、全6色という豊富なラインアップに。

●水冷4ストOHC3バルブ単気筒 ●49cc ●4.5PS/8000rpm ●0.43kg-m/6000rpm ●80kg ●90/90-10・90/90-10 ●20万9520円

2017年2月

ヤマハ **マジスティS スペシャルエディション**



500台限定のスペシャルエディション。ヤマハレーシングブルーの専用カラーや金色のブレーキキャリパーなどでスポーティイメージを強調。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●155cc ●15PS/7500rpm ●1.4kg-m/6000rpm ●145kg ●120/70-13・130/70-13 ●36万720円

2017年2月

ホンダ **PCX/150**



カラーバリエーションを変更。クリップパイエローのほか、上質感をより際立たせるツートーンのキャンディエロージーレッド、ボセイドブラックメタリックを設定。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●124cc ●12PS/8500rpm ●1.2kg-m/5000rpm ●130kg ●90/90-14・100/90-14 ●32万9400円~34万200円※諸元は125

2017年2月

ヤマハ **シグナス-X SR スペシャルエディション**



シグナス-XSRのスペシャルエディションを500台限定発売。ブルー×シルバーの専用カラー、専用エンブレム、金色のキャリパーなどが特徴だ。

●空冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●124cc ●9.8PS/7500rpm ●1.0kg-m/6000rpm ●118kg ●110/70-12・120/70-12 ●31万8600円

2017年2月

ホンダ **モンキー・50周年アニバーサリー**



1967年のモンキー-Z50Mの雰囲気をも再現したカラーリングや、復刻デザインのウイングマークバッジや記念マーク入りメインキーなどを採用している。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●49cc ●3.4PS/8500rpm ●0.35kg-m/5000rpm ●68kg ●3.50-8・3.50-8 ●35万2080円

2017年3月

カワサキ **Ninja 1000**



2017年モデルでモデルチェンジ。エンジンが5PSパワーアップ。IMU(慣性計測装置)を搭載し、KCMFを核とした電子制御デバイスを実現、加えて防風性能も向上した。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●1043cc ●141PS/10000rpm ●11.3kg-m/7300rpm ●235kg ●120/70ZR17・190/50ZR17 ●127万4400円

2017年3月

スズキ **ハヤブサ**



ハヤブサの国内仕様カラーリングを変更。パールグレッシャーホワイト×ガラススパークルブラック、パールビクターブルー×ガラススパークルブラック、ガラススパークルブラックに。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●1339cc ●197PS/9500rpm ●15.8kg-m/7200rpm ●266kg ●120/70ZR17・190/50ZR17 ●160万9200円

2017年3月

## ホンダ CBR1000RR/SP



フルモデルチェンジで徹底した軽量・コンパクト化、エンジンのパワーアップに加え最新の電子制御技術を採用。足まわりなどの専用化を図った一人乗り仕様様のSPも設定される。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●999cc●192PS/13000rpm●11.6kg-m/11000rpm●196/195kg●120/70ZR17・190/50ZR17●201万2400円～246万2400円

2017年3月

## スズキ GSX-S750 ABS



GSX-R750ベースのエンジン、ラジアルマウントブレーキキャリパーなどの贅沢な足まわりに加え、トラクションコントロールやローRPMアシストも装備するなど扱いやすさにも配慮。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●749cc●112PS/10500rpm●8.2kg-m/9000rpm●212kg●120/70ZR17・180/55ZR17●96万9840円

2017年3月

## カワサキ エストレヤ



エストレヤの2017年モデル、メカニズムは従来モデルと同様。ブルー×ホワイト、オレンジ×ホワイトの明るいイメージの新品色2色を設定。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●249cc●18PS/7500rpm●1.8kg-m/5500rpm●161kg●90/90-18-110/90-17●53万6760円

2017年4月

## ホンダ 400X



マフラーやメインステップホルダーが変更され、アンダーカバーは廃止。カラーリングも新品色2色追加された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●399cc●46PS/9500rpm●3.8kg-m/7500rpm●192kg(194kg)●120/70ZR17・160/60ZR17●74万1960円～79万2720円※( )内はABS

2017年4月

## カワサキ Z1000



独特な「Sugomi」スタイルが特徴のZシリーズの最高峰、Z1000に国内仕様が登場。兄弟モデルのエンジャ1000と異なり、電子制御デバイスを備えない。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1043cc●141PS/10000rpm●11.3kg-m/7300rpm●220kg●120/70ZR17・190/50ZR17●115万200円

2017年4月

## ヤマハ TMAX530 DX/SX



TMAX530がモデルチェンジ。電子制御スロットルを採用したエンジンと、新設計のアルミフレームにリンク式リアサスを組み合わせた車体を採用。スタンダード仕様のSX、装備を充実させたDXを設定。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●530cc●46PS/6750rpm●5.4kg-m/5250rpm●215/218kg●120/70R15・160/60R15●135万円/124万2000円

2017年4月

## ホンダ X-ADV



オフロードモデル的なディテールを盛り込みながら、通勤的な利便性を高次元で融合した合体したユニークなアドベンチャーツアラー。DCTやETC車載器やグリップヒーターも標準装備。

●水冷4ストOHC4バルブ並列2気筒●745cc●54PS/6250rpm●6.5kg-m/8000rpm●238kg●120/70R17・160/60R15●120万9600円～124万2000円

2017年3月

## スズキ GSX-S1000 ABS/F ABS



GSX-S1000/F ABSが平成28年国内排ガス規制に対応しつつ、最高出力は3PSアップの148PSに。ネイキッド版のSには特別カラーマットブラックメタリックが設定された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●998cc●148PS/10000rpm●10.9kg-m/9500rpm●209kg/214kg●120/70ZR17・190/50ZR17●113万1840円/118万5840円

2017年3月

## スズキ GSR250



シールドからタンク、サイドカバーに印象的なグラフィックが入ったカラーに変更。ホワイト×ブラック、ブルー×ブラック、レッド×ブラック、ブラックの4色に。

●水冷4ストOHC2バルブ並列2気筒●248cc●24PS/8500rpm●2.2kg-m/6500rpm●183kg●110/80-17・140/70-17●45万6840円

2017年3月

## カワサキ エストレヤスペシャルエディション



スペシャルエディションの2017年モデルは、エンジン、エキゾーストなど車体各部をブラックアウトした専用カラーに、専用デザインのシートやシート、立体エンブレムなどを装着。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●249cc●18PS/7500rpm●1.8kg-m/5500rpm●161kg●90/90-18-110/90-17●55万1880円

2017年4月

## ホンダ レブル250/500



幅広い層にオートバイを楽しんでもらうために開発された新世代クルーザー。タフでクールなイメージのスタイルで、軽量スリムな車体は取り回しやすさも良好。250cc単気筒エンジンは扱いやすい出力特性を備える。共通の車体コパフルな水冷並列2気筒エンジンを搭載した兄弟分の500も同時デビュー。写真は250。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒●249cc●26PS/9500rpm●2.2kg-m/7750rpm●168kg(170kg)●130/90-16・150/80-16●53万7840円～58万8600円/78万5160円※諸元は250( )内はABS

2017年4月

## ホンダ CBR250RR/ABS



ホンダファン待望の最新250ccスーパースポーツ。新開発の水冷並列2気筒エンジンは、最高出力38PSと国内クラス最高のVツワーを発揮。鋼管トラスフレームに倒立フォークを組み合わせた車体でシャープなハンドリングも実現。LEDヘッドライトを活かした先鋒的なフルカウルスタイルも魅力的だ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●249cc●38PS/12500rpm●2.3kg-m/11000rpm●165/167kg●110/70R17・140/70R17●75万6000円～82万8360円

2017年4月

スズキ **GSX250R**



GSX250Rはスーパースポーツのようなレーシーなフルカウルを装備しているが、その開発コンセプトは日常的な扱いやすさを持つスタイリッシュでスタンダードなストリートスポーツ。GSXRベースの248cc水冷並列2気筒エンジンは街乗りで多用する低中速の扱いやすさを重視、セパハンを採用しなからも快適なポジション設定も備えている。

●水冷4ストOHC 2バルブ並列2気筒 ●248cc ●24PS/8000rpm ●2.2kg・m/6500rpm ●178kg ●110/80-17・140/70-17 ●52万7040円

2017年4月

ホンダ **CBR650F**



エンジンのパワーアップ、ミッションのギア比変更、サスの改良など変更点はCB650Fと基本的に共通。スタイリングもよりスポーティに変身。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●648cc ●90PS/11000rpm ●11.3kg・m/7300rpm ●213kg ●120/70ZR17・180/55ZR17 ●99万9000円～103万1400円

2017年4月

ホンダ **CBR400R**



扱いやすく燃費性能に優れた並列2気筒エンジンと、レーシーなフルカウルスタイルが特徴のCBR400R。カラーリングを変更され新色2色が追加。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●399cc ●46PS/9500rpm ●3.8kg・m/7500rpm ●192kg(194kg) ●120/70ZR17・160/60ZR17 ●69万9840円～78万3000円 ※( )内はABS

2017年4月

ヤマハ **アクシスZ**



実用性を重視した新型125ccスクーター。低燃費を狙った空冷ブルーコアエンジンを軽量ボディに搭載、大容量のシート下収納などの装備も充実。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●124cc ●8.2PS/6500rpm ●0.99kg・m/5000rpm ●100kg ●100/90-10・100/90-10 ●24万3000円

2017年5月

カワサキ **Z650**



ニンジャ650と基本メカニズムを共用するネイキッド仕様。従来型までは車名がER-6nだったが、このモデルチェンジでZ650に変更された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●649cc ●68PS/8000rpm ●6.6kg・m/6500rpm ●187kg ●120/70ZR17・160/60ZR17 ●78万6240円

2017年5月

カワサキ **Z250SL**



250ccシングルエンジンを搭載したライトウエイト・ネイキッドのZ250SL。2017年モデルはカラーリングのみ変更。グリーンフレームが印象的だ。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●29PS/9700rpm ●2.2kg・m/8200rpm ●148kg ●100/80-17・130/70-17 ●43万7400円

2017年4月

ホンダ **CB650F**



ベーシックなミドルネイキッド。CB650Fの国内仕様もモデルチェンジ。LEDヘッドライトでスタイルをリファイン、吸排気系の改良で7PS/パワーを向上。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●648cc ●90PS/11000rpm ●11.3kg・m/7300rpm ●208kg ●120/70ZR17・180/55ZR17 ●92万3400円

2017年4月

カワサキ **ヴェルシスX250ABS/ツアラー**



大きなスクリーンやシート、アップライトなポジション設定を備えた機能的なアドベンチャースタイルのボディに、スポークホイールとストロークに余裕のあるサスを組み合わせ、ニンジャ250ベースの水冷並列ツインのDパワーで、あらゆる道で快適な走りを楽しめる。ツアラーはパニアケース、エンジン・ハンドガード、DCソケット、センタースタンドを装備する。

●水冷4ストDOHC 4バルブ並列2気筒 ●248cc ●33PS/11500rpm ●2.1kg・m/10000rpm ●175/183kg ●100/90-19・130/80-17 ●62万9640円/68万3640円

2017年4月

スズキ **バーグマン200**



トータルバランスに優れた実用的なスクーター。バーグマン200が2017年モデルで平成28年国内排ガス規制に対応。カラーリングも変更された。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●199cc ●18PS/8000rpm ●1.6kg・m/6000rpm ●163kg ●110/90-13・130/70-12 ●52万3800円

2017年4月

ホンダ **ディオ110**



2015年にデビュー、高効率なeSPエンジンを積んだハイホイールスクーターディオ110。新色が2色追加され、全5色のラインアップが揃った。

●空冷4ストOHC単気筒 ●108cc ●9.0PS/7500rpm ●0.95kg・m/5500rpm ●100kg ●80/90-14・90/90-14 ●23万1120円～23万4360円

2017年5月

カワサキ **Z250ABS/スペシャルエディション**



エンジンやフレームなど、ニンジャ250をベースしたネイキッドバージョン。2017年モデルはカラー変更のみで、スペシャルエディションも設定される。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●248cc ●31PS/11000rpm ●2.1kg・m/8500rpm ●170kg ●110/70-17・140/70-17 ●55万3500円/56万9160円

2017年5月

ヤマハ **MT-10/SP**



エンジン、電子制御システム、車体などをYZF-R1から受け継いだMT-10の日本国内向けモデルが登場。オランダ製電子制御サスをなどを装備した上級モデルMT-10SPも同時発売。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●997cc ●160PS/11500rpm ●11.3kg・m/9000rpm ●210/212kg ●120/70ZR17・190/55ZR17 ●167万4000円/199万8000円

2017年5月

ヤマハ **SCR 950**



スポーティなクルーザーのポリティをベースに、70年代風の軽快なスクランブラースタイルに変身させたのがSCR950。空冷Vツインエンジンなどはポリティとほぼ共通だが、リア周りのフレームの改良、サスペンションの変更やスポークホイール化、ブロックパターンのタイヤを装着してフラットダートならば苦もなく走れる。

●空冷4ストOHC4バルブV型2気筒●941cc●54PS/5500rpm●8.2kg・m/3000rpm●252kg●100/90-19・140/80R17●106万5600円

2017年5月

カワサキ **Ninja 650**



2012年以降のフルモデルチェンジ。エンジンは従来型ベースだが、車体はリアサスをリンク式とするなど一新された。国内仕様はETCも標準装備。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●649cc●68PS/8000rpm●6.6kg・m/6500rpm●193kg●120/70ZR17-160/60ZR17●80万7840円

2017年6月

ホンダ **モンキー50周年スペシャル**



2017年春に生産終了が発表されたモンキー。その最終モデルとなったのがこの50周年スペシャル。前後フェンダーや燃料タンク、ヘッドライトケース、サイドカバーが美しいクロームメッキ仕上げとされているのが特徴。限定500台に対し4万5000通もの購入申込みが殺到、公開抽選が行なわれた。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●49cc●3.4PS/8500rpm●0.35kg・m/5000rpm●68kg●3.50-8・3.50-8●43万2000円

2017年7月

スズキ **Vストローム250**



Vストロームシリーズらしい個性的なスタイルに、低中速域トルクを重点的に向上させ、ノワフルさと扱いやすさを両立させた248cc水冷並列2気筒エンジン、安定性に優れた車体と充実した装備を組み合わせたアドベンチャーツアラー。扱いやすさに250ccクラスとは思えない快適さも兼ね備える1台。

●水冷4ストOHC2バルブ並列2気筒●248cc●24PS/8000rpm●2.2kg・m/6500rpm●188kg●110/80-17・140/70-17●57万2400円

2017年5月

スズキ **Vストローム1000/XT ABS**



モデルチェンジで650と共通イメージのスタイルを採用。メカニズム面ではIMUを新搭載し、モーショントラックブレーキを実現。スポークホイール仕様のXTも新たに用意された。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●1036cc●99PS/8000rpm●10.2kg・m/4000rpm●232/233kg●110/80R19・150/70R17●140万4000円/144万7200円

2017年5月

スズキ **Vストローム650/XT ABS**



フルモデルチェンジで定評のあるメカニズムを踏襲しながら、スタイリングを1000と共通デザインに。トラクションコントロールも新たに採用。スポークホイール仕様のXTも引き続き設定。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●645cc●69PS/8800rpm●6.2kg・m/6500rpm●212/215kg●110/80R19・150/70R17●90万7200円/95万4000円

2017年6月

カワサキ **エストレヤ ファイナルエディション**



往年の名車・W3を想わせるシックなカラーに、専用エンブレムやデカール、ロゴ入りスペシャルシートなどの特別装備が奪われている。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●249cc●18PS/7500rpm●1.8kg・m/5500rpm●161kg●90/90-18・110/90-17●57万5640円

2017年6月受注開始

ホンダ **CBR1000RR SP2**



CBR1000RRSPをベースにマルケジニー製ホイール装着、特別仕様のエンジン搭載など、さらなる性能向上を図った。国内限定35台のみの希少モデル。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●999cc●192PS/13000rpm●11.5kg・m/11000rpm●194kg●120/70ZR17-190/50ZR17●302万4000円

2017年7月

スズキ **GSX-R1000R ABS**



GSX-R1000が5年ぶりにフルモデルチェンジ。軽量コンパクトな車体とハイグレードなサス、軽量コンパクトで可変リブタイミングを採用したエンジン、先進の電子制御システムなど、MotoGPテク/ロジックを全身に取り入れて最高のパフォーマンスを発揮。待望の国内仕様はハイグレードなサスなどを装備する上級版のRだ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●999cc●197PS/13200rpm●11.9kg・m/10800rpm●203kg●120/70ZR17-190/55ZR17●204万1200円

2017年7月

スズキ **スカイウェイブ650LX**



グリップヒーターを全周タイプのものとし、シートステッチパターンも変更。同時に平成28年国内排ガス規制に対応した。カラーは白、黒、グレーの3色。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●638cc●53PS/7000rpm●5.9kg・m/4750rpm●281kg●120/70R15-160/60R14●114万4800円

2017年7月

ホンダ **グロム**



前後のホイールとブレーキキャリパー、エンジン右側面のカバーにゴールドカラーを採用。車体色はマットアクシスグレーメタリックを新たに設定。白と赤は継続。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 124 cc ● 9.8PS/7000rpm ● 1.1kg・m/5250rpm ● 104kg ● 120/70-12-130/70-12 ● 35万1000円

2017年7月

ホンダ **ダンク**



マトガンパウダーブラックメタリックと、マットビュレットシルバーの2色を新たに設定。ブレーキキャリパー、リアサスペンションスプリングなどは専用色で、ツートンカラーのシートを採用。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 49 cc ● 4.5PS/8000rpm ● 0.42kg・m/6000rpm ● 81kg ● 90/90-10-90/90-10 ● 21万4920円～22万320円

2017年8月

スズキ **バーグマン400 ABS**



スカイウェイブ400の後継としてデビュー。流麗なスタイルのボディはスカイウェイブよりも軽量で、フロントホイールを15インチに大径化している。

- 水冷4スト DOHC4バルブ単気筒 ● 399cc ● 31PS/6300rpm ● 3.7kg・m/4800rpm ● 215kg ● 120/70-15-150/70-13 ● 79万9200円

2017年8月

カワサキ **ヴェルシス X250/ ツアラー**



カワサキの250アドベンチャーツアラー、ヴェルシス-X250/ツアラーの2018年モデルが登場。ツアラーには400台限定販売のカラーも用意された。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列2気筒 ● 248cc ● 33PS/11500rpm ● 2.1kg・m/10000rpm ● 175kg (183kg) ● 100/90-19-130/80-17 ● 62万9640円～64万4400円 (68万3640円～70万5240円) ※ ( )内はツアラー

2017年8月

ヤマハ **NMAX**



MAXシリーズの125cc版であるNMAXが、平成28年国内排出ガス規制適合モデルへとチェンジ。同時にカラーリングも変更された。

- 水冷4スト OHC4バルブ単気筒 ● 124 cc ● 12PS/7500rpm ● 1.2kg・m/7250rpm ● 127kg ● 110/70-13-130/70-13 ● 35万1000円

2017年8月

ヤマハ **シグナス X SR**



スポーティな125ccスクーターとして人気のシグナス X SR がカラーリングを変更、同時に平成28年国内排出ガス規制適合のためモデルチェンジ。

- 空冷4スト OHC4バルブ単気筒 ● 124 cc ● 9.8PS/7500rpm ● 1.0kg・m/6000rpm ● 118kg ● 110/70-12-120/70-12 ● 31万8600円

2017年9月

カワサキ **Z1000**



2018年モデルではウインカーをLED化した以外メカニズム面では従来モデルと同様で、カラーリングのみ変更。ABSも標準装備。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 1043cc ● 141PS/10000rpm ● 11.3kg・m/7300rpm ● 220kg ● 120/70ZR17-190/50ZR17 ● 115万200円

2017年9月

カワサキ **Ninja 1000**



2018年モデルはカラー変更のみ。車名に表記はないが、ABSは標準装備されている。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 1043cc ● 141PS/10000rpm ● 11.3kg・m/7300rpm ● 235kg ● 120/70ZR17-190/50ZR17 ● 127万4400円

2017年9月

ヤマハ **シグナス X SR モビスター ヤマハ MotoGP エディション**



シグナス X SR をベースに、MotoGPマシン YZR-M1のモビスターカラーを再現、金色のキャリパー、黄色いリアサスペンションも装着。限定1300台。

- 空冷4スト OHC4バルブ単気筒 ● 124 cc ● 9.8PS/7500rpm ● 1.0kg・m/6000rpm ● 118kg ● 110/70-12-120/70-12 ● 32万9400円

2017年9月

スズキ **アドレス125**



アドレスV125がフルモデルチェンジ。快適さと実用性を追求した新デザインのボディへ、優れた燃費と走りを両立した新開発のSEPエンジンを搭載。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 124 cc ● 9.4PS/7000rpm ● 1.0kg・m/7000rpm ● 109kg ● 90/90-12-100/90-10 ● 22万1400円

2017年9月

ホンダ **ジャイロキャノピー**



平成28年排出ガス規制に対応。新たにリアファンダーの左側にエンジンオイルの点検・交換時に役立つ開閉式の点検窓を設置しメンテナンス性を向上している。

- 水冷4スト OHC4バルブ単気筒 ● 49 cc ● 4.6PS/7500rpm ● 0.45kg・m/7000rpm ● 139kg ● 100/100-12-130/70-8 ● 39万7440円

2017年9月

ホンダ **ジャイロ X ベーシック / スタンダード**



平成28年排出ガス規制対応として燃料蒸発ガス抑制装置や、排出ガスの異常を警告する車載故障診断装置を装着。開閉式のオイル点検窓も設置。

- 水冷4スト OHC4バルブ単気筒 ● 49 cc ● 4.6PS/7500rpm ● 0.45kg・m/7000rpm ● 113/110kg ● 90/100-10-130/70-8 ● 39万7440円/41万9040円

2017年9月

スズキ **アドレス V50**



SEPエンジンを搭載するスポーツスクーター。トリトンブルーメタリック、スプラッシュホワイト、グラスシャインブラックの3色がラインアップ。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 49 cc ● 3.7PS/8500rpm ● 0.35kg・m/7000rpm ● 74kg ● 80/90-10-80/90-10 ● 17万4960円

2017年9月

スズキ **レッツ**



優れた燃費性能と使い勝手のよいコンパクトな車体サイズが特徴のレッツが平成28年国内排気ガス対応。新色のティーマゼンタを加え全4色のラインアップに。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 49 cc ● 3.7PS/8500rpm ● 0.35kg・m/7000rpm ● 70kg ● 80/90-10-80/90-10 ● 16万3080円

2017年9月

## スズキ レッツバスケッ



フロントに大型バスケットやフロントインナーラックを装備して利便性を高めたモデル。レッツと同様、平成28年国内排気ガス対応。新色の「ソリッドスベシャルホワイトNo.2」を加え、全3色に。

- 空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●49cc ●3.7PS/8500rpm ●0.35kg-m/7000rpm ●76kg ●80/90-10・80/90-10 ●18万2520円

2017年10月

## ヤマハ YZF-R25/3モビスターヤマハ MotoGPエディション



YZF-R3/25に、ヤマハのMotoGPマシン・YZR-M1のカラーリングを再現したモデルが登場した。国内ではR3が9月発売で300台、R25が10月発売で400台の限定販売となる。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●249cc ●35PS/12000rpm ●2.3kg-m/10000rpm ●167kg ●110/70-17・140/70-17 ●64万2600円/56万7000円 ※諸元はR25

2017年10月

## スズキ GSX-S125 ABS



水冷DOHC単気筒エンジン、フレームやサスはGSX-R125をベースにしているが、ワイルドな雰囲気な仕上げたネイキッドスタイルに印象を大きく変えている。

- 水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●124cc ●15PS/10000rpm ●1.1kg-m/8000rpm ●133kg ●90/80-17・130/70-17 ●35万4240円

2017年10月

## ホンダ タクト/ベーシック



平成28年排出ガス規制対応を施すとともに、カラーバリエーションを変更。タクトはヘビークレームタリック-Uを追加し全2色に。ベーシックはキャンディエブレイズオレンジを追加して6色に。

- 空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●49cc ●4.5PS/8000rpm ●0.42kg-m/6000rpm ●79/78kg ●80/100-10・80/100-10 ●17万8200円～16万5240円

2017年10月

## ホンダ ベンリィ/プロ/110/110プロ



平成28年度排出ガス規制に適合。タンクは10Lとなり、オイル点検窓を装備。

- 水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●49cc ●4.4PS/7750rpm ●0.43kg-m/6000rpm ●110kg ●90/90-12・110/90-10 ●23万7600円 ※諸元・価格はベンリィ

2017年10月

## カワサキ Ninja 650 KRT Edition



ニンジャ650の2018年モデルに、世界スーパーバイク選手権で活躍するZX-10Rのカラーリングを再現したKRTエディションが追加された。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●649cc ●68PS/8000rpm ●6.6kg-m/6500rpm ●193kg ●120/70ZR17-160/60ZR17 ●82万9440円

2017年10月

## ホンダ CB400スーパーフォア/<ABS>



ロングセラーにしてベストセラーの400ccネイキッド。エンジンは3PSのパワーアップと同時に平成28年度排出ガス規制をクリア。ヘッドライトもLEDに。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●399cc ●56PS/11000rpm ●4.0kg-m/9500rpm ●199kg (201kg) ●120/60ZR17-160/60ZR17 ●81万5400円～89万8560円 ※( )内はABS

2017年10月

## ホンダ CB1300スーパーフォア



伝統と最新技術をミックスしたCBシリーズの最高峰モデルで、根強い支持を集め続けるCB1300SF。今回のモデルチェンジで、丸形LEDヘッドライトの採用などスポーティで堂々たるネイキッドスタイルをリファイン。排ガス規制をクリアしつつ9PS/パワーアップされた水冷直4エンジンは、アシストスリッパークラッチも装備。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●1284cc ●110PS/7250rpm ●12.0kg-m/5500rpm ●268kg ●120/70ZR17-180/55ZR17 ●144万7200円

2017年10月

## ホンダ CB1300スーパーボルドール



CB1300SFをベースにハーフカウルを装着。高速走行での快適性を高めたCB1300スーパーボルドールもモデルチェンジ。CB1300SFと同様の改良が施された。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●1284cc ●110PS/7250rpm ●12.0kg-m/5500rpm ●274kg ●120/70ZR17-180/55ZR17 ●155万5200円

2017年10月

## カワサキ Ninja ZX-10RR 国内向けレーススペース



全日本ロードレース・JSB1000クラスへの参戦用ベース車両としてZX-10RRを販売。登録書類が付属せず公道走行も不可とされている。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●N.A ●N.A ●206kg ●120/70ZR17-190/55ZR17 ●210万6000円

2017年10月

## カワサキ Ninja ZX-6R 国内向けレーススペース



全日本選手権のレースでST600クラスに参戦するためのベース車両で、レース用ECUとサブハーネスが付属する。公道走行は不可。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●599cc ●N.A ●N.A ●191kg ●120/70ZR17-180/55ZR17 ●92万4480円

2017年10月

## ホンダ CB400スーパーボルドール<ABS>



トータルバランス抜群なCB400SFの双子モデルで、ハーフカウルを装備したCB400SBもモデルチェンジ。平成28年度排出ガス規制対応、パワーアップ、前後サスペンションの改良によるハンドリングの改善などはCB400SFと共通。CB400SBは全車ABSが標準装備なのがCB400SFとは異なっている。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●399cc ●56PS/11000rpm ●4.0kg-m/9500rpm ●205kg (206kg) ●120/60ZR17-160/60ZR17 ●94万7160円～104万7600円 ※( )内はABS

2018年

## カワサキ Ninja ZX-10R SE



2017年ミラノショーで初公開されたZX-10R SEは、カワサキ製スポーツモデルとしては初の電子制御サスペンション・KECSを標準装備する。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●998cc●200PS/13000rpm●11.6kg-m/11500rpm●208kg●120/70ZR17-190/55ZR17●輸出車

2018年

## カワサキ Ninja H2SX/SE



H2シリーズに、スポーツツアラー仕様のH2SXが追加。アップライトなポジションと大型スクリーン、タンデムも配慮したシートなどで快適性アップ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●998cc●200PS/11000rpm●14.0kg-m/9500rpm●256kg●120/70ZR17-190/55ZR17●輸出車

2018年1月

## ヤマハ YZF-R25/ABS/R3ABS



人気の250スーパースポーツ・YZF-R25と排気量を拡大版のR3に2018年モデルが登場。変更点はカラーのみ、シリーズ共通の新しい3タイプが揃った。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●249cc●35PS/12000rpm●2.3kg-m/10000rpm●167kg(170kg)●110/70-17-140/70-17●56万7000円(61万2000円)/64万2600円※諸元はR25(内)はABS

2018年1月

## スズキ GSX-R125 ABS



スズキのスーパースポーツ・GSX-Rシリーズの長い歴史の中で初めて登場した最小排気量の125ccモデル。最新GSX-Rシリーズのノウハウを活かしたDOHC4バルブ単気筒エンジンなど、小さくても本格的な走りを支えるメカニズムやレーシーなフルカウルスタイルで、ルックも走りもGSX-Rらしさにあふれている1台。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒●124cc●15PS/10000rpm●1.1kg-m/8000rpm●134kg●90/80-17-130/70-17●38万6640円

2018年2月

## ヤマハ BW S125



平成28年度国内排出ガス規制へ適合。チタンカラーとブラウンをローtoonで組み合わせたマットチタン1と、ビビッドイエローノリッド2の2色が新色として設定された。

●空冷4ストOHC4バルブ単気筒●124cc●9.8PS/7500rpm●1.0kg-m/6000rpm●119kg●120/70-12-130/70-12●32万9400円

2018年2月

## ヤマハ FJR1300AS/A



高品質なイメージのダークグレーメタリックに加え、マットブルーをベースカラーにしたマットダークブルーリッシュブルーメタリックを新色に設定。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1297cc●147PS/8000rpm●14.1kg-m/7000rpm●296/289kg●120/70-17-180/55-17●183万6000円/151万2000円

2018年

## ヤマハ スターエルダー



スターベンチャーから派生したニューモデル。ベンチャーの基本構成はそのままに、バグースタイルを採用してワイルドなイメージを強調している。

●空冷4ストOHV4バルブV型2気筒●1854cc●N.A●N.A●396.9kg●130/70R18-200/55R16●輸出車

2018年1月

## スズキ SV650/X ABS



ベーシックなネイキッドスタイルのSV650と、そのSV650をベースにヘッドライトカウル、シールド、セパレートハンドル、タックロールシートを装備したSV650Xに2019年モデルが登場。

※写真はSV650X ABS

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●645cc●76.1PS/8500rpm●6.5kg-m/8100rpm●197kg●120/70ZR17-160/60ZR17●73万8270円/78万1920円

2018年1月

## ヤマハ マジェスティS



コンパクトボディに155ccエンジンを搭載し、俊敏な走りや高い実用性で人気のマジェスティSが、LEDヘッドライトを採用し大きくイメージチェンジ。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒●155cc●15PS/7500rpm●1.4kg-m/6000rpm●145kg●120/70-13-130/70-13●37万2600円

2018年1月

## ヤマハ トリシティ125/ABS



124ccブルーコアエンジンを搭載。4バルブ化するとともに、VVA機構を採用し最高出力を1PS向上。さらに、43.6km/Lという低燃費も実現。フレームも新設計。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒●124cc●12PS/7500rpm●1.2kg-m/7250rpm●159/164kg●90/80-14-130/70-13●39万4200円/43万2000円

2018年1月

## ヤマハ XMAX ABS



ヨーロッパなどで人気のXMAXの250ccモデルが、2018年に国内向けにも発売開始。洗練されたスタイリング、高効率のブルーコアエンジンを採用していることが特徴。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒●249cc●23PS/7000rpm●2.4kg-m/5500rpm●179kg●120/70-15-140/70-14●64万2600円

2018年2月

## ヤマハ NMAX ABS



高級感を強めた、ビビッドブルーリッシュブルーカウル5とマットグレーメタリック3の2色を新色に加え、ホワイトメタリック6は継続販売される。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒●124cc●12PS/7500rpm●1.2kg-m/7250rpm●127kg●110/70-13-130/70-13●35万1000円

2018年2月

## ヤマハ シグナスX SR



新車体色、マットダークブルーイッシュグレーメタリック2はマットダークブルーをベースにオレンジをアクセントに、マットブラック2はホワイトとの組み合わせ。全6色設定。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒●124cc●9.8PS/7500rpm●1.0kg-m/6000rpm●118kg●110/70-12-120/70-12●31万8600円

2018年4月

スズキ **GSX-R1000R ABS**



GSX-R1000RABSの新車体色は、トリトンブルーメタリック、パールグレッシャーホワイト、グラスパールブラックの3色設定に。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●999cc●197PS/13200rpm●11.9kg-m/10800rpm●203kg●120/70ZR17-190/55ZR17●204万1200円

2018年4月

ホンダ **CB1100/EX/RS**



CB1100の車体色は白系1色、EXの車体は赤系と青系の2色設定となる。RSは、3色車体設定と共に、グリップヒーター、ETC車載器、ABSを標準装備とした。

- 空冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1140cc●90PS/7500rpm●9.3kg-m/5500rpm●253/255/252kg●110/80-18-140/70-18(CB1100/RS)120/70-17-180/55-17(RS)●122万4000円/133万8120円/137万8080円

2018年4月

ヤマハ **ボルト ABS/Rスペック ABS**



新車体色にブラックメタリックを用意したBOLT ABS。RスペックABSは、ブルーイッシュグレンリッド4、ビビッドパーブリッシュブルーカクテル502色の車体色を設定。

- 水冷4ストOHC4バルブV型2気筒●941cc●54PS/5500rpm●8.2kg-m/3000rpm●252kg●100/90-19-150/80-16●96万1200円/100万6560円

2018年4月

ヤマハ **トレーサー900 ABS**



MT-09から派生したスポーツツアラー、トレーサー900がモデルチェンジ。定評のあったスポーツ性はそのまま、快適な乗り心地とツーリング機能を強化するため、防風性能を高めた新型フロントスクリーンをはじめ、新し前後シート、サイドケース用マウント追加、60mm延長されたスイングアームなど大改良を受けた。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列3気筒●845cc●116PS/10000rpm●8.9kg-m/8100rpm●214kg●120/70-17-180/55-17●111万2400円

2018年4月

ホンダ **400X**



車体色にキャンディークロモスフィアレッドとマットバリスティックブラックメタリックを新採用。このモデルよりアンチロックブレーキシステム(ABS)が標準装備される。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●399cc●46PS/9500rpm●2.3kg-m/7500rpm●194kg●120/70-17-160/60-17●79万2720円

2018年4月

ホンダ **CBR250RR < ABS >**



CBR250RRのABS仕様のみの新色として、CBRらしい洗練的なフォルムを際立たせるパールグレアホワイトが追加された。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●249cc●38PS/12500rpm●2.3kg-m/11000rpm●165kg●110/70R17-140/70R17●80万6760円

2018年4月

カワサキ **Z900**



Z900RS同様のエンジンを新設計の軽量トリスフレームに搭載。1バフルで軽快、機敏な運動性能を高次元でバランスさせ、高いコントロール性と快適な乗り心地を両立。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●948cc●125PS/9500rpm●10.0kg-m/7700rpm●210kg●120/70-17-180/55-17●95万0400円

2018年4月

ホンダ **NC750X/ < ABS > Eパッケージ/ DCT < ABS > Eパッケージ**



これまでDCTモデルにのみ設定されていた、グリップヒーター&ETC車載器を標準装備した「Eパッケージ」を、マニュアルトランスミッション仕様のNC750X<ABS>にも設定。

- 水冷4ストOHC4バルブ並列2気筒●745cc●54PS/6250rpm●6.9kg-m/4750rpm●218-231kg●120/70-17-160/60-17●74万3040円/88万200円/94万080円

2018年4月

ホンダ **PCX150/ < ABS >**



フロントからリアまで連続的に流れる様なボディラインを描く「流麗で伸びやか」なデザインや、熟成を図ったグローバルエンジンを採用するなど、PCX同様にフルモデルチェンジ。

- 水冷4ストOHC単気筒●149cc●15PS/8500rpm●1.4kg-m/6500rpm●131kg●100/80-14-120/70-14●37万3680円/39万5280円

2018年4月

ホンダ **NC750S/DCT**



全タイプにアンチロックブレーキシステム(ABS)を標準装備すると共に、グラフィックブラック(ツートーン)とキャンディークロモスフィアレッドの2色のボディカラー設定となった。

- 水冷4ストOHC4バルブ並列2気筒●745cc●54PS/6250rpm●6.9kg-m/4750rpm●218-228kg●120/70-17-160/60-17●74万880円~75万7080円/82万2960円~80万6760円

2018年4月

ヤマハ **MT-07ABS**



MTシリーズのミドルバージョンとして、軽快な走りとトータルバランスの高さで高く評価されたMT-07がモデルチェンジ。スタイリングを一新し、ライダーの操作に対し優れたパフォーマンスを発揮するべく、前後サスをリニューアル。また、ライディングポジションの自由度を高める設定となっている。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●688cc●73PS/9000rpm●6.9kg-m/6500rpm●183kg●120/70-17-180/55-17●77万7600円

2018年4月

ホンダ **PCX**



2度目のフルモデルチェンジでは、ダブルクレードル構造の新フレームや熟成の進んだeSPエンジン、スマートキーの採用などでさらに進化。

- 水冷4ストOHC単気筒●124cc●12PS/8500rpm●1.2kg-m/5000rpm●130kg●100/80-14-120/70-14●34万2360円

2018年12月

## ホンダ VFR800X



ボディカラーは、キャンディープロミネンスレッドの1色設定となる。従来より装備していたETC車載器を、ETC2.0へとバージョンアップした。

●水冷4ストDOHC4バルブV型4気筒●781cc●107PS/10250rpm●7.9kg-m/8500rpm●246kg●120/70-17・180/55-17●147万3120円

2018年12月

## カワサキ Ninja ZX-6R KRT EDITION



リニューアルされたNinja ZX-6Rのバリエーションモデル。車体グラフィックには、スーパーバイク世界選手権で戦うNinja ZX-10RRと同イメージのカラーリングを採用する。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●636cc●126PS(ラムエア加圧時:132PS)/13500rpm●7.1kg-m/11000rpm●197kg●120/70-17・180/55-17●132万8400円

2018年12月/2019年3月

## ホンダ VFR800F



ETC2.0車載器を採用。2019年3月には80年代にアメリカのレースシーンで活躍した「VFR750F インターセプター」をイメージさせるカラーを採用したバールグレアホワイト・ストライプを発売。

●水冷4ストDOHC4バルブV型4気筒●781cc●107PS/10250rpm●7.9kg-m/8500rpm●243kg●120/70-17・180/55-17●141万9120円/80万6760円～149万4720円

2019年1月

## ホンダ CB1100/EX/RS



各部熟成を進めると共に、各モデル新車体色を採用。CB1100が、ダークネスブラックメタリック1色の設定。EXは、フエンダーも車体色と同じ色に変更。RSの車体色は3色設定。

●空冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1140cc●90PS/7500rpm●9.3kg-m/5500rpm●256/255/252kg●110/80R18・140/70R18(CB1100/EX)120/70ZR17・180/55ZR17(RS)●123万1200円～137万8080円

2019年1月

## ホンダ CBR1000RR/SP



後輪のスリップや加速時の前輪浮きを抑止するHondaセレクトタブトルクコントロールの旋回中のタイヤ周長変化の精度が向上した。また、制動介入量を任意で選択可能に。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●999cc●192PS/13000rpm●2.1kg-m/11000rpm●196/195kg●120/70-17・190/50-17●204万6600円・207万9000円/249万4800円

2019年1月

## スズキ SV650 ABS



SV650がフロントブレーキキャリパーを片押し2ポットから異径対向4ポットに。カラーも新色でマフラーカバーも新デザインに。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●645cc●76.1PS/8500rpm●6.5kg-m/8100rpm●197kg●120/70ZR17・160/60ZR17●73万8720円

2019年1月

## ホンダ レブル250



水冷単気筒エンジンと積む軽快でスタイリッシュなクルーザーのレブル。新色2色が追加され、全4色のラインアップに。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒●249cc●26PS/9500rpm●2.2kg-m/7750rpm●168kg(170kg)●130/90-16・150/80-16●53万7840円(58万8600円) ( )はABS

2018年12月

## カワサキ Ninja ZX-6R



ZX-6Rが徐々にモデルチェンジを受け国内発売。フレームやエンジンなどは従来モデルがベースだが、LEDヘッドライトを採用した新スタイリングとなり、さらにKQS(カワサキイックシフター)、KTRC(カワサキトラクションコントロール)、パワーモードなど最新のライダーサポート技術を搭載。国内仕様はETC2.0も標準装備する。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●636cc●126PS(ラムエア加圧時:132PS)/13500rpm●7.1kg-m/11000rpm●197kg●120/70-17・180/55-17●132万8400円

2019年1月

## ホンダ タクト・ベーシック スペシャル



タクトのシート高をダウンし足着き性を向上させたのかベーシック。スペシャルは専用カラーを採用した受注期間限定車。

●水冷4ストOHC単気筒●49cc●4.5PS/8000rpm●0.42kg-m/6000rpm●78kg●80/100-10・80/100-10●16万7400円

2019年1月

## ホンダ ジョルノ・スペシャル



ジョルノは愛らしいスタイルと扱いやすさか特徴の50ccスクーター。スペシャルは専用カラーを採用した受注期間限定車。

●水冷4ストOHC単気筒●49cc●4.5PS/8000rpm●0.42kg-m/6000rpm●81kg●80/100-10・80/100-10●19万9800円

2019年1月

## カワサキ ヴェルシスX250 ツアラー



ニンジャ譲りのエンジンを積んだ250アドベンチャー。2019年モデルはカラーリングとグラフィックを一新した。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●248cc●33PS/11500rpm●2.1kg-m/10000rpm●183kg●110/90-19・130/80-17●68万9040円

2019年1月

## スズキ SV650X ABS



SV650のカフェレーサーバージョン、SV650XもスタンダードなSV650と同様のマイナーチェンジを受けている。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●645cc●76.1PS/8500rpm●6.5kg-m/8100rpm●197kg●120/70ZR17・160/60ZR17●78万1920円

2019年1月

## カワサキ Ninja250



250スーパースポーツの人気モデル・ニンジャ250の2019年カラーが登場。新色2色がラインアップされた。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●248cc●37PS/12500rpm●2.3kg-m/10000rpm●166kg●110/70-17・140/70-17●62万9640円/64万4400円

2019年1月

## カワサキ Z125 PRO



Zシリーズの最小排気量モデルで、本格装備と軽快な走り、独特なデザインが魅力。カラー&グラフィックを変更。

●水冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●124cc ●9.7PS/8000rpm ●0.98kg・m/6000rpm ●102kg ●100/90-12・120/70-12 ●34万5600円/35万3160円

2019年2月

## スズキ GSX-S1000F ABS



GSX-S1000のフルカウル版。新色としてスズキのMotoGPマシンを想わせるグラフィックのブルーが追加された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●148PS/10000rpm ●10.9kg・m/9500rpm ●214kg ●120/70ZR17・190/50ZR17 ●118万5840円

2019年2月

## カワサキ ヴェルシス1000SE



ニンジャ1000系の基本メカニズムをベースにしたアドベンチャーツアラー・ヴェルシス1000。2019年モデルから電子制御スロットルやIMUなど最新の電子制御システムが盛り込まれているが、国内仕様としては電子制御サス、クイックシフターなどを追加した上級版のSEのみが販売された。この国内仕様はETC2.0車載器も標準装備されている。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●1040cc ●120PS/9000rpm ●10.4kg・m/7500rpm ●257kg ●120/70-17・180/55-17 ●186万8400円

2019年2月

## カワサキ Ninja H2 SX SE+



ニンジャH2 SXの最上位版として、SE+も国内発売。SXSEに電子制御サス・KECSやブレンボブレーキなどを追加装備してグレードアップ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●210PS/11000rpm ●14kg・m/9500rpm ●262kg ●120/70-17・190/55-17 ●277万5600円

2019年2月

## ホンダ X-ADV



独特なスタイルが特徴のATアドベンチャーX-ADV。ETC2.0車載器が標準搭載され、カラーリングも変更されている。

●水冷4ストOHC4バルブ並列2気筒 ●745cc ●54PS/6250rpm ●6.9kg・m/4750rpm ●238kg ●120/70-17・160/60-15 ●124万920円~127万3320円

2019年2月

## ヤマハ TMAX530SX/DX



スタンダードモデルのSX、豪華装備のDX。両モデルのカラーリングを変更。2019年カラーとして発売を開始。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●530cc ●46PS/6750rpm ●5.4kg・m/5250rpm ●215kg(218kg) ●120/70-15・160/60-15 ●124万2000円(135万円)( )はDX

2019年2月

## ヤマハ ビーノ



レトロポップなスタイルで人気の50ccスクーター。カラーリングとグラフィックを変更した2019年モデルが登場。新色はイエロー、ライトブルー、ブルーの3色。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●49cc ●4.5PS/8000rpm ●0.42kg・m/6000rpm ●81kg ●80/100-10・80/100-10 ●19万9800円

2019年2月

## スズキ GSX-S1000 ABS



GSX-R譲りの走りが魅力のスーパーネイキッド。2019年モデルではカラー、グラフィックが変更された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●148PS/10000rpm ●10.9kg・m/9500rpm ●209kg ●120/70ZR17・190/50ZR17 ●113万1840円

2019年2月

## カワサキ Ninja H2 SX



ニンジャH2シリーズのスポーツツアラーバージョン。防風性の高いカウルやタンデムでも快適なシートなどを備える。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●210PS/11000rpm ●14kg・m/9500rpm ●256kg ●120/70-17・190/55-17 ●198万8000円

2019年2月

## カワサキ Ninja H2 SX SE



ニンジャH2 SXにフルカラーTFT液晶メーターパネルやLEDコーナリングライトなどのさらなる機能や装備を追加したモデル。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●210PS/11000rpm ●14kg・m/9500rpm ●260kg ●120/70-17・190/55-17 ●239万7600円

2019年2月

## ヤマハ AXIS Z



軽快な125ccスクーターのアクシスZがカラー変更。2019年モデルとして新色4色を追加、全5色のラインアップ。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●124cc ●8.2PS/6500rpm ●0.99kg・m/5000rpm ●100kg ●100/90-10・100/90-10 ●24万3000円

2019年2月

## ホンダ ディオ110



14インチホイール採用の原付二種スクーター。カラーリングを変更すると同時に、ツートーンカラーシートも採用。

●空冷4ストOHC単気筒 ●108cc ●9PS/7500rpm ●0.95kg・m/5500rpm ●100kg ●80/90-14・90/90-14 ●23万1120円~23万4360円

2019年2月

## ホンダ タクト/ベーシック



スタンダードなタクトと、アイドリングストップを省略し、シート高も落としたベーシック。2019年はカラーのみ変更。

●水冷4ストOHC単気筒 ●49cc ●4.5PS/8000rpm ●0.42kg・m/6000rpm ●78kg ●80/100-10・80/100-10 ●16万5240円

2019年2月

ホンダ **レブル500**



レブルと基本的に共通の車体に、471cc並列2気筒エンジン搭載モデル。2019年モデルでは車体色のみが変わった。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●471cc ●46PS/8500rpm ●4.4kg・m/6500rpm ●190kg ●130/90-16・150/80-16 ●78万5160円

2019年2月

ホンダ **ジョルノ/くまモンバージョン**



丸みを帯びた愛らしいスタイルのスクーター、ジョルノ。カラーバリエーションの変更が行われた。くまモンバージョンも設定。

●水冷4ストOHC単気筒 ●49cc ●4.5PS/8000rpm ●0.42kg・m/6000rpm ●81kg ●80/100-10 ●80/100-10 ●19万4400円/20万3040円

2019年2月

カワサキ **Ninja650**



650cc水冷並列ツインを積んだミドルフルカウルスポーツ。2019年はカラー&グラフィックを変更、ブラック1色のみ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●649cc ●68PS/8000rpm ●6.6kg・m/6500rpm ●193kg ●120/70-17・160/60-17 ●80万7840円

2019年2月

ホンダ **ジョルノ・デラックス**



ジョルノの高級版。上品でかわいらしいジョルノの印象をより際立たせる、専用ソートンカラー2色が用意されている。

●水冷4ストOHC単気筒 ●49cc ●4.5PS/8000rpm ●0.42kg・m/6000rpm ●81kg ●80/100-10 ●80/100-10 ●19万9800円

2019年2月

カワサキ **Ninja650 KRT EDITION**



ニンジャ650をカワサキのワークスチーム・KRTイメージのカラーとしたモデル。2019年モデルでグラフィック変更。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●649cc ●68PS/8000rpm ●6.6kg・m/6500rpm ●193kg ●120/70-17・160/60-17 ●82万9440円

2019年2月

カワサキ **Z400**



Zシリーズの400cc版がフルモデルチェンジ。ER-6系から、2018年にフルモデルチェンジしたニンジャ400iにベースを変更。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●398cc ●48PS/10000rpm ●3.9kg・m/8000rpm ●166kg ●110/70-17・150/60-17 ●66万7440円

2019年2月

ホンダ **CRF250L/Type LD**



定番250ccオフロード・CRF250Lが新カラーに。前後サスを変更してシート高をダウンしたタイプLDも追加設定。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●24PS/8500rpm ●2.3kg・m/6750rpm ●144kg(143kg) ●3.00-21・120/80-18 ●49万7880円( )はTypeLD

2019年2月

カワサキ **Z250**



ニンジャ250のネイキッド版がフルモデルチェンジ。2018年のモデルチェンジで大幅に進化した新型ニンジャベースとなる。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●248cc ●37PS/12500rpm ●2.3kg・m/10500rpm ●164kg ●110/70-17・140/70-17 ●59万7240円

2019年3月

スズキ **Vストローム1000 ABS**



スポーティなアドベンチャー、Vストローム1000の2019年モデルはカラーリングの変更のみとなっている。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒 ●1036cc ●99PS/8000rpm ●10.2kg・m/4000rpm ●232kg ●110/80R19・150/70R17 ●140万4000円

2019年3月

スズキ **Vストローム1000XT ABS**



Vストローム1000iにスポークホイールを装着したモデル。2019年モデルはカラーリングのみ変更された。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒 ●1036cc ●99PS/8000rpm ●10.2kg・m/4000rpm ●233kg ●110/80R19・150/70R17 ●144万7200円

2019年3月

カワサキ **Ninja ZX-10R KRT EDITION**



2019年国内で販売されるZX-10Rシリーズのスタンダードモデル。カラーリングはWSBKで活躍するワークスマシンをイメージ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●212PS/13500rpm ●11.6kg・m/11200rpm ●206kg ●120/70-17・190/55-17 ●206万2800円

2019年3月

カワサキ **Ninja ZX-10R SE**



電子制御サス・KECSを装備した高級モデル。マルケナーニ製アルミ鍛造ホイールも標準装備。自己修復する特殊塗装も採用。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●212PS/13500rpm ●11.6kg・m/11200rpm ●208kg ●120/70-17・190/55-17 ●265万6800円

2019年3月

カワサキ **Ninja ZX-10RR**



レース用ベースモデル。チタンコンロッドを使用したエンジンをはじめ、鍛造ホイールやサーキット向けのサスも装備。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●213PS/13500rpm ●11.7kg・m/11200rpm ●206kg ●120/70-17・190/55-17 ●292万6800円

2019年3月

ヤマハ **MT-07 ABS**



688cc水冷並列ツインを搭載するミドルネイキッド・MT-07がカラーチェンジ、全3色のラインアップとなった。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●688cc ●73PS/9000rpm ●6.9kg・m/6500rpm ●183kg ●120/70-17・180/55-17 ●77万7600円

2019年3月

## ヤマハ ナイケン GT



大排気量BMWスポーツモデルのナイケンをベースに、大型スクリーンやグリップヒーター、専用シートを追加したツアラー仕様。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列3気筒●845cc●116PS/10000rpm●8.9kg・m/8500rpm●267kg●120/70-15-190/55-17●194万4000円

2019年3月

## ヤマハ XSR700 ABS



XSR700/2019年カラーは大人の雰囲気。カラー以外にメカニズムなどの変更点はない。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●688cc●73PS/9000rpm●6.9kg・m/6500rpm●186kg●120/70-17-180/55-17●89万9640円

2019年3月

## ホンダ CBR650R



CBR650Fから“操る楽しみ”を狙いフルモデルチェンジ。LEDライトを活かした新デザインのフルカウルで一新。剛性バランスを見直した新フレームを中心に、軽量化とマスの集中化を進めた車体に倒立フォークなどを組み合わせた運動性能も向上。エンジンもフレキシブルさと高回転での力強さを両立。アシストスリッパークラッチで快適でスムーズな乗り味に。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●648cc●95PS/12000rpm●6.5kg・m/8500rpm●207kg●120/70-17-180/55-17●103万6800円～106万9200円

2019年3月

## ヤマハ トレーサー900 ABS



街乗りからツーリングまでスポーティで快適な走りを楽しめるトレーサー900。走りへの情熱を表現した新色を採用。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列3気筒●845cc●116PS/10000rpm●8.9kg・m/8500rpm●214kg●120/70-17-180/55-17●111万2400円

2019年3月

## ヤマハ トレーサー900 GT ABS



フルアジャスタブル倒立フォークやクルーズコントロールを備えるトレーサー900の上級モデル。GTもカラーを変更。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列3気筒●845cc●116PS/10000rpm●8.9kg・m/8500rpm●215kg●120/70-17-180/55-17●119万8800円

2019年3月

## ヤマハ XSR900 ABS



レットロでスポーティなイメージのXSR900。ヤマハスポーツの伝統とスポーティさを表現する新色が追加された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列3気筒●845cc●116PS/10000rpm●8.9kg・m/8500rpm●195kg●120/70-17-180/55-17●104万2200円

2019年3月

## ホンダ CB650R



CB650Fの後継モデルとして登場。CB1000Rと共通な凝縮感のあるカフェレーサーのスタイルに一新。LEDヘッドライトも採用。フレームも一新され軽量化と同時に剛性/バランスも改善し、より軽快で上質な乗り味に。エンジンも扱いやすいトルク特性を備えつつ高回転での出力を向上し、アシストスリッパークラッチやセレクトダブルトルクコントロールも装備。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●648cc●95PS/12000rpm●6.5kg・m/8500rpm●202kg●120/70-17-180/55-17●96万1200円

2019年3月

## カワサキ W800ストリート



往年の名車Wシリーズの重厚なスタイリングや走りを現代に寄せたW800シリーズ。W800ストリートは、全身ブラックアウトしたオーソドックスなスタイルと、アップライトなハンドルがもたらすゆったり快適なポジションが特徴。熟成を重ねた空冷4バルブツイン、前後18インチホイール、LEDヘッドライト、ETC2.0車載器などはカフェと共通。

●空冷4ストOHC4バルブ並列2気筒●773cc●52PS/6500rpm●6.3kg・m/4800rpm●221kg●100/90-18-130/80-18●99万3600円

2019年3月

## カワサキ W800カフェ



W800カフェはエンジンやフレーム、足まわりなどの基本的なメカニズムはW800ストリートと共通。コンパクトなピキニカウルをはじめ、低く構えたスローハンドルや、軽快なイメージのカフェシートを装着することで、クラシカルな満点のカフェレーサースタイルへとイメージチェンジを図った。ETC2.0車載器キットも標準装備されている。

●空冷4ストOHC4バルブ並列2気筒●773cc●52PS/6500rpm●6.3kg・m/4800rpm●223kg●100/90-18-130/80-18●111万2400円

2019年3月

## スズキ Vストローム650XT ABS



Vストローム650にスポークホイールを装着した650XT。2019年モデルもカラーリングのみを変更している。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●645cc●69PS/8800rpm●6.2kg・m/6500rpm●215kg●110/80R19-150/70R17●95万4000円

2019年3月

## スズキ Vストローム650 ABS



VストロームシリーズのミドルバージョンであるVストローム650もカラー変更。シリーズ各車ともに価格は据え置き。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒 ●645cc ●69PS/8800rpm ●6.2kg・m/6500rpm ●212kg ●110/80R19-150/70R17 ●90万7200円

2019年3月

## ホンダ 400X



モデルチェンジでスタイリングを変更すると同時に、フロントホイールを19インチ化して走破性の向上を図った。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●399cc ●46PS/9000rpm ●3.9kg・m/7500rpm ●196kg ●110/80-19-160/60-17 ●81万1080円

2019年3月

## ヤマハ MT-03



MT-25と共通の車体に320ccエンジンを搭載するMT-03。2019年モデルはカラーとグラフィックを変更している。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●320cc ●42PS/10750rpm ●3kg・m/9000rpm ●166kg ●110/70-17-140/70-17 ●56万7000円

2019年3月

## ホンダ CRF250ラリー/Type LD



最新のダカールラリー参戦マシン・CRF450ラリーのイメージを踏襲するカラーを新採用。低シート高仕様のタイプLDも追加。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●24PS/8500rpm ●2.3kg・m/6750rpm ●157/156kg ●3.00-21-120/80-18 ●70万2000円

2019年3月

## ヤマハ YZF-R25



毎日乗れるスーパースポーツとして根強い人気を集めているYZF-R25が、初めて大規模なモデルチェンジを受けた。フロントマスクをはじめ、スタイリングは最新のMotoGPマシン・YZR-M1を想わせる新デザインになり、LEDヘッドライトも採用。フロントフォークは倒立タイプとなり、快適性とスポーツ性をハイレベルで両立させている。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●249cc ●35PS/12000rpm ●2.3kg・m/10000rpm ●167kg ●110/70-17-140/70-17 ●59万9400円

2019年3月

## カワサキ Z650



Z650は650cc水冷並列2気筒エンジン搭載の軽快なミドルネイキッド。カラーとグラフィックが変更された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●649cc ●68PS/8000rpm ●6.6kg・m/6500rpm ●187kg ●120/70-17-160/60-17 ●78万6240円

2019年3月

## ヤマハ トリシティ155 ABS



トリシティの軽二輪バージョン。2019年モデルはフィット感に優れたシートを採用し、シート高も15mmダウン。新色も採用した。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●155cc ●15PS/8000rpm ●1.4kg・m/6000rpm ●165kg ●90/80-14-130/70-13 ●47万5200円

2019年3月

## ヤマハ トリシティ125 ABS



フロント二輪のLMW機構を採用する三輪スクーター・トリシティ125のABS版。軽快なイメージの新色を追加して全3色に。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●124cc ●12PS/7500rpm ●1.2kg・m/7250rpm ●164kg ●90/80-14-130/70-13 ●45万3600円

2019年3月

## ヤマハ トリシティ125



ABSを備えていないトリシティ125のスタンダードモデル。ABS版とカラーリングが共通になりブルーメタリックとホワイトメタリック、グレーメタリックの全3色のラインアップに。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●124cc ●12PS/7500rpm ●1.2kg・m/7250rpm ●159kg ●90/80-14-130/70-13 ●41万5800円

2019年3月

## ホンダ スーパーカブ110・ストリート



スーパーカブ110をベースに、街に溶け込む落ち着いた印象のカラーを採用したおしやれで特別感にあふれたモデル。

●空冷4ストOHC単気筒 ●109cc ●8PS/7500rpm ●0.87kg・m/5500rpm ●99kg ●70/90-17-60/90-17 ●28万6200円

2019年3月

## ホンダ スーパーカブ50・ストリート



実用車であるスーパーカブ50を、淡い色合いボディを中心に上品で洗練されたカラーコーディネートでまとめた1台。

●空冷4ストOHC単気筒 ●49cc ●3.7PS/7500rpm ●0.39kg・m/5500rpm ●96kg ●60/100-17-60/100-17 ●24万3000円

2019年3月

## ホンダ ダンク



上質さと個性的なスタイルが特徴のダンク。上質感を際立たせるカラーを新たに追加設定し、全6色のラインアップに。

●水冷4ストOHC単気筒 ●49cc ●4.5PS/8000rpm ●0.42kg・m/6000rpm ●81kg ●90/90-10-90/90-10 ●21万4920円 ●22万320円

2019年3月

## ヤマハ YZF-R25 ABS



R25のABS仕様もスタンダードモデルと同じくカラー変更。レッド、ブラック、ブルーの3色。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●249cc ●35PS/12000rpm ●2.3kg・m/10000rpm ●170kg ●110/70-17・140/70-17 ●64万2600円

2019年3月

## ヤマハ MT-25



YZF-R25ベースのネイキッドモデルMT-25のカラー&グラフィックが変更され、MT-03や07と同様の新色を追加。マットブラックは継続。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●249cc ●35PS/12000rpm ●2.3kg・m/10000rpm ●166kg ●110/70-17・140/70-17 ●63万4600円

2019年3月

## スズキ バーグマン200



使い勝手の良い軽二輪スクーター。バーグマン200がカラー変更で新色を追加し、全3色の設定となった。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●199cc ●18PS/8000rpm ●1.6kg・m/6000rpm ●163kg ●110/90-13・130/70-12 ●52万3800円

2019年4月

## ヤマハ MT-10 ABS



MTシリーズのフラッグシップモデル。2019年は新色マットライトグレー、ブルー、マットダークグレーの3色が用意され、継続販売のシルバーと合わせ全4色に。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●997cc ●160PS/11500rpm ●11.3kg・m/9000rpm ●210kg ●120/70-17・190/55-17 ●167万4000円

2019年4月

## スズキ GSX-R1000R ABS



GSX-R1000Rがマイナーチェンジ。フロントブレーキホースがステンメッシュなり、タイヤやマフラーカバーも変更。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●999cc ●197PS/13200rpm ●11.9kg・m/10800rpm ●203kg ●120/70ZR17-190/55ZR17 ●211万6800円

2019年4月

## ヤマハ MT-09 ABS



カラーリングのみ変更され、ホイールが朱色に。スポーティなスタイリングとアグレッシブさを際立たせる新色マットライトブルーを追加。全3色に。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列3気筒 ●845cc ●116PS/10000rpm ●8.9kg・m/8500rpm ●193kg ●120/70-17・180/55-17 ●111万2400円

2019年4月

## ホンダ CB250R



前後サスの変更とメインステップバーの形状変更によって足着き性を向上。ABSも標準装備となった。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●27PS/9000rpm ●2.3kg・m/8000rpm ●144kg ●110/70-17・150/60-17 ●55万4040円

2019年4月

## ヤマハ XMAX ABS



MAXシリーズの250ccモデル。2019年モデルではボディカラーが全面変更され、ラインアップが新された。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●23PS/7000rpm ●2.4kg・m/5500rpm ●179kg ●120/70-15・140/70-14 ●64万2600円

2019年4月

## ヤマハ NMAX155 ABS



手頃なサイズのボディにパワーフルな155ccエンジンを積むスクーター。NMAX155に、マットグレーとホワイトの新色2色が追加された。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●155cc ●15PS/8000rpm ●1.4kg・m/6000rpm ●128kg ●110/70-13・130/70-13 ●37万8000円

2019年5月

## スズキ KATANA



新生カタナがついに国内発売開始。GSX1100Sカタナから受け継がれた研ぎ澄まされた刀のようなシャープなボディラインに、LEDヘッドライト、短く切り詰められたテールやスイングアームマウントのリヤフェンダーなど、最新のディテールを融合させたデザインが印象的。GSX-S11000ベースのメカニズムで現代的な走りを可能としている。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●148PS/10000rpm ●10.9kg・m/9500rpm ●215kg ●120/70ZR17-190/50ZR17 ●151万2000円

2019年6月

## ヤマハ YZF-R3 ABS

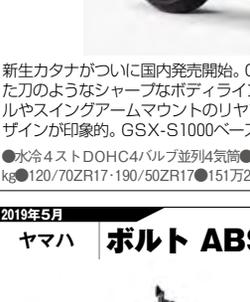


モデルチェンジで大幅に進化したYZF-R25に続いて、排気量を拡大してパワーアップを図った兄弟車・YZF-R3も新世代と生まれ変わった。力強いエンジンはそのままに、レーシーな雰囲気と優れた空力特性を備える新デザインのフルカウルをはじめ、LEDヘッドライト、フル液晶メーター、倒立フロントフォークなどで魅力をアップ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●320cc ●42PS/10750rpm ●3kg・m/9000rpm ●170kg ●110/70-17・140/70-17 ●67万5000円

2019年5月

## ヤマハ ボルト ABS



シンプルでスポーティなミドルクラスレーザーで人気のボルトがカラーリングを変更。ボバースタイルのイメージを強調している。

●空冷4ストOHC4バルブV型2気筒 ●941cc ●54PS/5500rpm ●8.2kg・m/3000rpm ●252kg ●100/90-19・150/80-16 ●96万1200円

2019年5月

## ヤマハ **ボルトRスペックABS**



ボルトシリーズの上級モデルであるボルトRスペックが、カジュアルかつスポーティなイメージを強調する新カラーとなって登場。

●空冷4ストOHC4バルブV型2気筒●941cc●54PS/5500rpm●8.2kg・m/3000rpm●252kg●100/90-19-150/80-16●100万6560円

2019年6月

## ホンダ **クロスカブ50/110・くまモンバージョン**



クロスカブ50/110に、熊本県PRキャラクター・くまモンとコラボしたくまモンバージョンを追加。

●空冷4ストOHC単気筒●49cc(109cc)●3.7PS/7500rpm(8PS/7500rpm)●0.39kg・m/5500rpm(0.87kg・m/5500rpm)●100kg(106kg)●60/100-14-60/100-14(80/90-17-80/90-17)●30万2400円(34万5600円)

2019年6月

## ヤマハ **NMAX ABS**



斬新なスタイルとスポーティな走りのスクーター・NMAXのカラーリングを、アクティブなイメージを表現するように変更。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒●124cc●12PS/7500rpm●1.2kg・m/7250rpm●127kg●110/70-13-130/70-13●35万1000円

2019年7月

## カワサキ **Ninja H2 CARBON**



「全てを超える」をコンセプトに、最大出力231PSを発揮するスーパーチャージドエンジンを搭載。2018年12月10日～2019年1月18日までの受注期間限定。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●998cc●231PS(ラムエア圧加圧時:242PS)/11500rpm●14.4kg・m/11000rpm●238kg●120/70-17-200/55-17●356万4000円

2019年7月

## ホンダ **モンキー125/ABS**



モンキー125のボディカラーに、遊び心を刺激する爽やかなパールグリッターリングブルーが新たに追加された。

●空冷4ストOHC単気筒●124cc●9.4PS/7000rpm●1.1kg・m/5250rpm●105/107kg●120/80-12-130/80-12●39万9600円/43万2000円

2019年8月

## カワサキ **Z900RS**



Z900RSの2020年モデルはカラー変更のみ。Z1のタイガーカラーを再現したキャンディートーングリーンなど新色を用意。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●948cc●111PS/8500rpm●10kg・m/6500rpm●215kg●120/70-17-180/55-17●132万8400円

2019年8月

## スズキ **アドレス110**



軽やかな車体に14インチホイールを組み合わせたアドレス110に新色が加わり、全4色のラインアップとなっている。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●112cc●8.8PS/7750rpm●0.88kg・m/6250rpm●99kg●80/90-14-90/90-14●21万3840円

2019年6月

## ホンダ **スーパーカブC125**



スーパーカブC125に新色・パールカデットグレーを追加。シートはソートンタイプが標準装備となる。

●空冷4ストOHC単気筒●124cc●9.7PS/7500rpm●1kg・m/5000rpm●110kg●70/90-17-80/90-17●39万9600円

2019年6月

## カワサキ **Ninja H2R**



最高出力326PSを絞り出す、クローズドコース専用モデルのH2R。一般公道の走行は適わなしか、その驚異のパフォーマンスを594万円で購入できた。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●998cc●310PS(ラムエア圧加圧時:326PS)/14000rpm●16.8kg・m/12500rpm●216kg●120/600-17-190/650-17●594万円

2019年6月

## ホンダ **クロスカブ50/110**



50はカムフラージュグリーンとクラシカルホワイトの全2色、110はそれに加えてパールシャイニングイエローの全3色がラインアップ。

●空冷4ストOHC単気筒●49cc(109cc)●3.7PS/7500rpm(8PS/7500rpm)●0.39kg・m/5500rpm(0.87kg・m/5500rpm)●100kg(106kg)●60/100-14-60/100-14(80/90-17-80/90-17)●29万1600円(33万4800円)※( )内は110

2019年7月

## スズキ **GSX250R**



GSX250Rが2020年モデルでカラー変更。新色の2トーンカラー2色、単色2色の合計4色となった。

●水冷4ストOHC2バルブ並列2気筒●248cc●24PS/8000rpm●2.2kg・m/6500rpm●178kg●110/80-17-140/70-17●52万7040円～53万8920円

2019年7月

## ホンダ **ディオ110**



ディオ110に受注期間限定のカラーリングとして、スポーティなイメージのパールジャスミンホワイトが追加設定された。

●空冷4ストOHC単気筒●108cc●9PS/7500rpm●0.95kg・m/5500rpm●100kg●80/90-14-90/90-14●23万4360円

2019年8月

## スズキ **Vストローム250/ABS**



フレンドリーな250アドベンチャーとして人気のVストローム250がボディカラーをリニューアル。ABSモデルには専用色も用意される。

●水冷4ストOHC2バルブ並列2気筒●248cc●24PS/8000rpm●2.2kg・m/6500rpm●188/189kg●110/80-17-140/70-17●57万2400円/60万2640円

2019年8月

## ヤマハ **EC-05**



ヤマハとGogoro社とのEVビジネス協業に基づいて開発され、台湾でヤマハブランドでの販売を開始した電動スクーター。

●電動モーター●10HP/3000rpm●2.65kg・m/0-2500rpm●126kg●100/80-14-110/70-13●海外モデル

2019年9月

スズキ **バーグマン400 ABS**



カラーリングを変更。車体色自体は従来同様だが、ホワイトとブラック車体のホイールカラーのみレッドからブルーにされた。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●399cc ●31PS/6300rpm ●3.7kg・m/4800rpm ●215kg ●120/70-15-150/70-13 ●79万9200円

2019年9月

カワサキ **Ninja 250 KRT EDITION**



WSBKに参戦するZX-10RRと共通カラーを採用したKRTエディションの2020年モデル。こちらも250・400で共通デザインだ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●248cc ●37PS/12500rpm ●2.3kg・m/10000rpm ●166kg ●110/70-17-140/70-17 ●64万2600円

2019年9月

カワサキ **Ninja250**



ニンジャ250の2020年モデル。車体を共用する250と400で、排気量表示以外のカラー&グラフィックが共通となった。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●248cc ●37PS/12500rpm ●2.3kg・m/10000rpm ●166kg ●110/70-17-140/70-17 ●64万2600円

2019年9月

ヤマハ **シグナスX モンスター-エナジーヤマハ MotoGPエディション**



シグナスXを人気のMotoGPマシン・YZR-M1のイメージを再現したカラーリングとしたモデル。限定1300台。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●124cc ●9.8PS/7500rpm ●1.0kg・m/6000rpm ●119kg ●110/70-12-120/70-12 ●34万200円

2019年9月

ヤマハ **YZF-R1**



シリンダーヘッドをはじめとしたエンジンで大改良。前後サスのセッティング変更、進化した電子制御システムの採用、イメージチェンジを図りつつ空力特性を向上させた新デザインのカウルなど、大幅にポテンシャルをアップして9月より欧州で発売。国内向けは2020年5月28日から9月30日までの期間限定で予約受付をして、8月に発売された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●200PS/13500rpm ●11.6kg・m/11500rpm ●201kg ●120/70ZR17-190/55ZR17 ●海外モデル

2019年9月

スズキ **アドレス125/フラットシート仕様**



アドレス125がカラーリングのみ変更。アドレス125、フラットシート仕様でそれぞれ新色を設定し、いずれも全3色に。

●水冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●124cc ●9.4PS/7000rpm ●1kg・m/6000rpm ●109kg ●90/90-12-100/90-10 ●22万1400円/22万6800円

2019年9月

ヤマハ **YZF-R1M**



YZF-R1Mがモデルチェンジして9月より欧州で発売。オーリンス製電子制御サス、カーボンアップカウルを採用している。国内向けはYZF-R1と同様に8月に発売。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●200PS/13500rpm ●11.6kg・m/11500rpm ●202kg ●120/70ZR17-200/55ZR17 ●海外モデル

2019年9月

カワサキ **Ninja400 KRT EDITION**



ニンジャ400のフルカウルを、カワサキのWSBKワークスマシンをイメージしたカラーリングとしたモデル。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●398cc ●48PS/10000rpm ●3.9kg・m/8000rpm ●167kg ●110/70-17-150/60-17 ●71万2800円

2019年9月

カワサキ **Ninja400**



250ベースの軽量コンパクトなスポーツモデル・ニンジャ400の2020年モデル。主な変更点はカラー&グラフィック。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●398cc ●48PS/10000rpm ●3.9kg・m/8000rpm ●167kg ●110/70-17-150/60-17 ●71万2800円

2019年10月

ホンダ **CB1300スーパーフォア SP**



CBシリーズの頂点に立つCB1300SFの足まわりをグレードアップしたSP。往年のCBを想わせる伝統的なカラーを追加。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●1284cc ●110PS/7250rpm ●12kg・m/5500rpm ●268kg ●120/70-17-180/55-17 ●188万5400円

2019年10月

ホンダ **CRF1100L アフリカツイン アドベンチャースポーツ ES**



CRF1100Lアフリカツインへ、大容量燃料タンクや大型スクリーンといったハードな走りを可能とする装備を与えたアドベンチャースポーツ。このアドベンチャースポーツに、スピードや車体の状態に合わせて瞬時に減衰力を最適化できるショーワ製電子制御サス・EERAを装備したモデルがESだ。

●水冷4ストOHC4バルブ並列2気筒 ●1082cc ●102PS/7500rpm ●10.7kg・m/6250rpm ●240kg (250kg) ●90/90-21-150/70-18 ●194万7000円(205万7000円) ( )はDCT

2019年10月

ホンダ **CB1300スーパーボルドール SP**



CB1300ボルドールにオーリンス製前後サスなどを装着した上級版のSP。SFと同じCBらしき溢れる新色が追加された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●1284cc ●110PS/7250rpm ●12kg・m/5500rpm ●274kg ●120/70-17-180/55-17 ●199万5400円

2020年1月

## ホンダ CB400スーパーフォア



熟成を重ねた高い完成度とスポーティさによって、長年400ccクラスのベストセラーとなっているCB400SF。受注期間限定カラーとしてマットペタシルパーメタリックを発売。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●399cc ●56P/11000rpm ●1.0kg・m/9500rpm ●201kg ●120/60ZR17・160/60ZR17 ●91万7400円

2020年1月

## ホンダ リード125



eSPエンジンや充実した装備を備える実用的な原付二種スクーターとして人気のリード125。受注期間限定モデルとして限定カラーマットギャラクシーブラックメタリックが登場。

●水冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●124cc ●11P/8500rpm ●1.1kg・m/5500rpm ●114kg ●90/90-12・100/90-10 ●31万9000円

2020年2月

## ホンダ ゴールドウイング



左側サドルバッグ内にUSBケーブルを標準装備。同時にカラーバリエーションも変更され全2色のラインアップになった。

●水冷4ストOHC水平対向6気筒 ●1833cc ●126P/5500rpm ●17.3kg・m/4500rpm ●365kg (364kg) ●130/70-18・200/55-16 ●278万7400円 (293万400円) ※()内はDCT

2020年2月

## ホンダ CRF1100L アフリカツイン アドベンチャースポーツ<s>/ES<s>



アフリカツイン・アドベンチャースポーツにストロークの長いサスを装着、オフロード走破性を高めた受注期間限定モデル。

●水冷4ストOHC4バルブ並列2気筒 ●1082cc ●102P/7500rpm ●10.7kg・m/6250rpm ●226kg~250kg ●90/90-21・150/70-18 ●161万7000円~205万7000円

2020年2月

## ホンダ CB1000R



新世代CBシリーズのフラッグシップとなる大排気量ネイキッドのCB1000Rがカラーバリエーションを変更。新色のマットパールグレリアホワイトを追加、全3色のラインアップに。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●145P/10500rpm ●10.6kg・m/8250rpm ●212kg ●120/70ZR17・190/55ZR17 ●167万9000円

2020年2月

## ホンダ PCX/150



実用性、経済性、軽快な走りを高い次元で兼ね備え、125ccスクーターのベストセラーとなったPCXと、その軽二輪版であるPCX150に、受注期間限定カラー2色が発売された。

●水冷4ストSOHC2バルブ単気筒 ●124(149)cc ●12(15)P/8500rpm ●1.2(1.4)kg・m/5000(6000)rpm ●130(131)kg ●100/80-14・120/70-14 ●35万2000円(38万3900円/40万5900円・ABS) ※()内は150

2020年2月

## ホンダ ADV150



スクーターの利便性に、力強いスタイリングと優れた走破性を組み合わせることで、冒険ツーリングにも対応させた個性的な新型スクーター。PCX150譲りのeSPエンジンを搭載する。

●水冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●149cc ●15P/8500rpm ●1.4kg・m/6500rpm ●134kg ●110/80-14・130/70-13 ●45万1000円

2020年1月

## ヤマハ セロー250ファイナルエディション



長年オフロードモデルのベストセラーとなっていたセロー250が生産終了を発表。最終モデルとして発売されたファイナルエディション。初代セロー風のカラーリングを採用しており、瞬く間に完売となった。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●249cc ●20P/7500rpm ●2.1kg・m/6000rpm ●133kg ●2.75-21・120/80-18 ●58万8500円

2020年2月

## ホンダ CRF1100L アフリカツイン



CRF1000Lからモデルチェンジ。エンジンの排気量拡大や車体の軽量化などで、扱いやすさとトルクバランスを大きく向上させた。

●水冷4ストOHC4バルブ並列2気筒 ●1082cc ●102P/7500rpm ●10.7kg・m/6250rpm ●226kg (236kg) ●90/90-21・150/70-18 ●161万7000円(172万7000円) ()はDCT

2020年2月

## スズキ GSX-S1000 ABS



GSX-R1000譲りのエンジンを、アグレッシブなスタイルと軽快なハンドリングを備えたボディに積んだネイキッド。2020年はカラーリングを変更、配色とグラフィックが新しくなった。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●148P/10000rpm ●10.9kg・m/9500rpm ●209kg ●120/70ZR17・190/50ZR17 ●115万2800円

2020年2月

## スズキ GSX-S1000F ABS



GSX-S1000をベースにフルカウルを装着し、高速走行や長距離ツーリング向けの性格を与えられたのがGSX-S1000F。GSX-S1000と同じくカラーリングが変更されている。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●148P/10000rpm ●10.9kg・m/9500rpm ●214kg ●120/70ZR17・190/50ZR17 ●120万7800円

2020年2月

## ヤマハ MT-09



845cc並列3気筒エンジンを積んだネイキッドのMT-09に、新色としてYZF-R1と共通イメージのディープブリッシュブルーメタリック Cが追加。継続色と合わせ全3色に。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列3気筒 ●845cc ●116P/10000rpm ●8.9kg・m/8500rpm ●193kg ●120/70ZR17・180/55ZR17 ●102万3000円

2020年2月

## スズキ GSX-R125 ABS



今回のマイナーチェンジでカラーリング変更、ハザードスイッチの追加、メーター表示が変更された。カラーはトリトンプール、タイタンブラック、ブリリアントホワイトの3色展開となった。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●124cc ●15PS/1000rpm ●1.1kg-m/800rpm ●134kg ●90/80-17・130/70-17 ●39万3800円

2020年2月

## ヤマハ トレーサー900



MT-09から発展したヤマハのスポーツツアラー・トレーサー900に、スポーティなイメージの新しい2色が加わった。その上級版であるトレーサー900GTにも新色1色が追加されている。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列3気筒 ●845cc ●116PS/1000rpm ●8.9kg-m/850rpm ●214(215)kg ●120/70ZR17・180/55ZR17 ●113万3000円/122万1000円 ※( )内はGT

2020年2月

## スズキ GSX-S125 ABS



GSX-R125がベースのネイキッドバージョンであるGSX-S125も、GSX-R125と同時にマイナーチェンジ。ハザードスイッチの追加、メーター変更、新カラーなど変更点はGSX-Rと共通。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●124cc ●15PS/1000rpm ●1.1kg-m/800rpm ●133kg ●90/80-17・130/70-17 ●36万8000円

2020年2月

## ヤマハ XSR900



MT-09ベースのメカニズムに、レットロでレーシーなスタイルを組み合わせたXSR900。2020年モデルでは新カラーを追加、ポジションランプを追加したヘッドランプも新たに装着。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列3気筒 ●845cc ●116PS/1000rpm ●8.9kg-m/850rpm ●195kg ●120/70ZR17・180/55ZR17 ●106万1500円

2020年2月

## カワサキ Z125 PRO



空冷125ccエンジンを積んだコンパクトなボディを、Zシリーズらしい磨きだしたスタイルでまとめた魅力的なミニスポーツ。新カラーとグラフィックを採用したモデルが登場した。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●124cc ●9.7PS/800rpm ●0.98kg-m/600rpm ●102kg ●100/90-12・120/70-12 ●35万2000円

2020年2月

## スズキ GSX-S750 ABS



GSX-R750から発展したエンジンを搭載する、扱いやすくバランスの良いスポーティなナナハン・ネイキッド。カラーリングが変更されたが価格やスペックに変更は無い。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●749cc ●112PS/10500rpm ●8.2kg-m/900rpm ●212kg ●120/70ZR17・180/55ZR17 ●98万7800円

2020年2月

## カワサキ Z650



軽快なミドルネイキッド・Z650がモデルチェンジ。主な変更点は新採用されたLEDヘッドライトやTFTカラー液晶メーターをはじめ、EURO5対応エンジン、タイヤの変更なども施された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●649cc ●68PS/800rpm ●6.4kg-m/6700rpm ●189kg ●120/70ZR17・160/60ZR17 ●84万7000円

2020年2月

## カワサキ Ninja 650/KRT EDITION



ニンジャ650がモデルチェンジ、LEDライトや新型液晶メーターを採用、排ガス対策とトルク向上のため吸排気系も改良。WSBKマシン風カラーのKRTエディションも引き続き設定された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●649cc ●68PS/800rpm ●6.4kg-m/6700rpm ●194kg ●120/70ZR17・160/60ZR17 ●88万円/90万2000円

2020年2月

## ヤマハ YZF-R25/R3



250ccスーパースポーツとして根強い人気のYZF-R25と、その排気量拡大版のR3。2020年モデルではカラーリングを全面変更。両モデル共通の新しい3パターンのラインアップとなった。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●249(320)cc ●35(42)PS/12000(10750)rpm ●2.3(3.0)kg-m/10000(9000)rpm ●170kg ●110/70-17(110/70R17)・140/70-17(140/70R17) ●65万4500円/68万7500円(R3) ※( )内はR3

2020年3月

## ホンダ CBR1000RR-R/SP



ホンダ製スーパースポーツの最高峰がフルモデルチェンジ。サーキット走行やレースでの使用を前提に、MotoGPで培われた技術を惜しまず投入して車体もエンジンも一新し、最新の電子制御技術も満載して超高性能を実現。SPはオーリンズ製電子制御サスなどを標準装備し、より高度な走りを楽しむ上級版。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●999cc ●218PS/14500rpm ●11.5kg-m/12500rpm ●201kg ●120/70ZR17・200/55ZR17 ●242万円/278万3000円

2020年3月

## ヤマハ MT-07



軽量スリムなベーシックネイキッドMT-07の2020年モデル。変更点はカラーリングのみで、新色としてYZF-R1を連想させるディープパーブリッシュブルーメタリックを設定。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●688cc ●73PS/900rpm ●6.9kg-m/6500rpm ●183kg ●120/70ZR17・180/55ZR17 ●79万2000円

2020年3月

## スズキ SV650/X ABS



方強い水冷Vツインエンジンを搭載したネイキッドモデルのSV650と、ピクニックカウルなどでカフェレーサー風に変身したSV650Xがカラーリング変更。価格や諸元は変更されなかった。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒 ●645cc ●76.1PS/8500rpm ●6.5kg-m/8100rpm ●197kg ●120/70ZR17・160/60ZR17 ●75万2400円/79万6400円

2020年3月

## スズキ Vストローム650 ABS



バランスが良く使い勝手に優れたアドベンチャーツアラーとして国内外で高く評価されているVストローム650がカラーを変更。全3色のラインアップとなった。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒 ●645cc ●69PS/8800rpm ●6.2kg-m/6500rpm ●212kg ●110/80R19・150/70R17 ●92万4000円

2020年3月

## スズキ Vストローム650XT ABS



Vストローム650にワイヤースポークホイールを装着、アンダーカウルやナックルガードを装備したモデルXTもカラーリングを変更。スタンダードと異なるラインアップを用意。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●645cc●69PS/8800rpm●6.2kg・m/6500rpm●215kg●110/80R19-150/70R17●96万8000円

2020年3月

## ホンダ レブル250/Sエディション



人気の新世代クルーザーレブル250がモデルチェンジ。灯い類を全てLED化し、アシストスリッパークラッチも装着。Sエディションはピキニカウルや専用シートなどを装着する。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒●249cc●26PS/9500rpm●2.2kg・m/7750rpm●170(171)kg●130/90-16-150/80-16●59万9500円(63万8000円) ※( )内はSエディション

2020年3月

## スズキ ジクサー



力強い1150ccエンジンをスリムな車体と合体。軽快な走りを表現したジクサー150がモデルチェンジ。洗練されたスタイリングに加え、フロントABSの採用などで完成度をアップ。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●154cc●14PS/8000rpm●1.4kg・m/6000rpm●139kg●100/80-17-140/60R17●35万2000円

2020年3月

## ヤマハ XMAX



スポーティで環境性にも優れるブルーコアエンジンを搭載した、MAXシリーズの250cc版であるNMAXの2020年モデル。カラーリング変更のみで、新色3色を含む全5色を用意。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒●249cc●23PS/7000rpm●2.4kg・m/5500rpm●179kg●120/70-15-140/70-14●65万4500円

2020年4月

## スズキ GSX-R1000R ABS 特別色



スズキの創立100周年に合わせ、GSX-R1000Rをベースに発売された特別色。スズキがMotoGPに参戦させているマシン・GSX-RRのレプリカカラーリングが特徴。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●999cc●197PS/13200rpm●11.9kg・m/10800rpm●203kg●120/70ZR17-190/55ZR17●215万6000円

2020年4月

## カワサキ Z H2



スーパーチャージドエンジンならではのパワーと独特な存在感が魅力のプレミアムスポーツ・H2シリーズに、新たに追加されたネイキッドモデル。Zシリーズの特徴であるワイルドで力強いSugomiスタイリングに、H2の最新メカニズムをミックス。ハイグレードなサスやブレーキも備え、豪快な走りに対応。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒+スーパーチャージャー●998cc●200PS/11000rpm●14.0kg・m/8500rpm●240kg●120/70ZR17-190/55ZR17●189万2000円

2020年3月

## ヤマハ MT-25/03



YZF-R25ベースのネイキッドMT-25と、その排気量拡大版のMT-03がモデルチェンジ。R25同様の倒立フォークを採用し、スタイリングもLEDヘッドライトの採用でイメージチェンジ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●249(320)cc●35(42)PS/12000(10750)rpm●2.3(3.0)kg・m/10000(9000)rpm●169kg●110/70-17(110/70R17)-140/70-17(140/70R17)●65万4500円(68万7500円) ※( )内はMT-03

2020年3月

## スズキ バーグマン200



扱いやすいサイズの車体とパワフルな200ccエンジンによる軽快な走りと、利便性に優れたパッケージが好評のバーグマン200がカラーリングを変更。価格や諸元は変更されていない。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒●199cc●18PS/8000rpm●1.6kg・m/6000rpm●163kg●110/90-13-130/70-12●53万3500円

2020年3月

## ホンダ グロム



個性的で躍動感あふれるスタイルのコンパクトボディに、粘り強いエンジンを投資したミニスポーツのグロムが、スポーティさ、精悍さを強調する新しいカラー2色を採用した。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●124cc●9.8PS/7000rpm●1.1kg・m/5250rpm●104kg●120/70-12-130/70-12●36万3000円

2020年2月

## ホンダ CRF1100L アフリカツイン アドベンチャースポーツ



CRF1100Lアフリカツインのオフロード性能をそのまま、大容量燃料タンクなどを装備しツーリング適性を高めたモデル。

●水冷4ストOHC4バルブ並列2気筒●1082cc●102PS/7500rpm●10.7kg・m/6250rpm●238kg(248kg)●90/90-21-150/70-18●180万4000円(191万4000円) ※( )内はDCT

2020年4月

## スズキ Vストローム1050



Vストローム1000がモデルチェンジし、新世代ビッグ・アドベンチャーツアラーのVストローム1050として生まれ変わった。従来のイメージを受け継ぎつつリファインされた独特なスタイリングに、パワーアップしたエンジンや電子制御システムを組み合わせて、スポーティな走りと快適さを幅広い状況で楽しめるように進化。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●1036cc●106PS/8500rpm●10.1kg・m/6000rpm●236kg●110/80R19-150/70R17●143万円

2020年4月

## スズキ Vストローム1050XT



Vストローム1050の上級版。専用カラーとワイヤースポークホイールに加え、クルーズコントロールをはじめとする電子制御デバイスや、シート高調整機能など充実した装備も搭載。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●1036cc●106PS/8500rpm●10.1kg・m/6000rpm●247kg●110/80R19-150/70R17●151万8000円

2020年5月

## ヤマハ TMAX560/ テックマックス



TMAX530の後継であるTMAX560は、エンジンの排気量拡大やスタイリングの変更、足まわりの熟成で完成度を高めた。テックマックスはクルーズコントロールなど装備充実の高級仕様。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ● 561cc ● 48PS/7500rpm ● 5.7kg-m/5250rpm ● 218(220)kg ● 120/70R15-160/60R15 ● 127万6000円/141万9000円 ※( )内はテックマックス

2020年6月

## ホンダ CT125・ハンターカブ



2019年東京モーターショーで話題を呼んだCT125・ハンターカブ。往年のCT110のクラシカルで機能的な面を見事に再現したスタイルを、最新のスーパーカブC125をベースにABSやLEDライトなども採用する現代的なメカニズムと融合。日常的な街乗りからロングツーリングまで幅広く楽しめる魅力的な1台となっている。

- 空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ● 124cc ● 8.8PS/7000rpm ● 1.1kg-m/4500rpm ● 120kg ● 80/90-17-80/90-17 ● 44万円

2020年7月

## スズキ GSX-R1000R ABS



スズキ製スーパースポーツの最高峰モデルであるGSX-R1000Rがカラーチェンジ。トリートンブルメタリック、マットブラックメタリック No.2の色となった。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ● 999cc ● 197PS/13200rpm ● 11.9kg-m/10800rpm ● 203kg ● 120/70ZR17-190/55ZR17 ● 215万6000円

2020年7月

## ホンダ CBR400R



街乗りからツーリングまで、扱いやすく多様なシチュエーションをカバーする400ccフルカウルスポーツ・CBR400R。ロゴデザインがCBR1000RR-Rと共通のものに変更された。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ● 399cc ● 46PS/9000rpm ● 3.9kg-m/7500rpm ● 192kg ● 120/70ZR17-160/60ZR17 ● 80万7850円

2020年7月

## ホンダ スーパーカブC125



伝統のスタイルとパッケージに、最新のデザインと技術を取り入れ上質さを追求したスーパーカブC125。新色として高級感を感じさせるパールシャイニングブラックを追加。

- 空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ● 124cc ● 9.7PS/7500rpm ● 1.0kg-m/5000rpm ● 110kg ● 70/90-17-80/90-17 ● 40万7000円

2020年7月

## ホンダ スーパーカブ50/110『天気の子』ver.



スーパーカブ110/50をベースに、新海誠監督のアニメ映画『天気の子』に登場したスーパーカブを再現したサマーピンクカラーの天気の子バージョンが受注期間限定で登場。

- 空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ● 109(49)cc ● 8.0(3.7)PS/7500rpm ● 0.87(0.39)kg-m/5500rpm ● 99(96)kg ● 70/90-17(60/100-17) ● 80/90-17(60/100-17) ● 31万3500円(26万9500円) ※( )内は50

2020年6月

## ヤマハ ボルトABS/RスペックABS



シンプルで軽快なスタイルが支持されているミドルクラスボルトがマイナーチェンジ、ヘッドライトにポジションランプを追加。高級モデルのRスペックには新色も設定。

- 空冷4ストOHC4バルブV型2気筒 ● 941cc ● 54PS/5500rpm ● 8.2kg-m/3000rpm ● 252kg ● 100/90-19-150/80B16 ● 97万9000円/102万5200円 (Rスペック)

2020年6月

## スズキ ジクサー250



ジクサーSF250のネイキット版が2ヶ月遅れで登場。SF同様のメカニズムに、軽快で凝縮感のある個性的なスタイリングを合体。価格も3万円以上低く抑えられたスタンダードモデルだ。

- 油冷4ストOHC4バルブ単気筒 ● 249cc ● 26PS/9000rpm ● 2.2kg-m/7300rpm ● 154kg ● 110/70R17-150/60R17 ● 44万8800円

2020年6月

## ホンダ クロスカブ110/ くまモンバージョン



クロスカブ110と、くまモンバージョンがマイナーチェンジ。二輪車灯火器基準へ対応するための改良を施されたテールランプが新たに装着された。

- 空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ● 109cc ● 8.0PS/7500rpm ● 0.87kg-m/5500rpm ● 106kg ● 80/90-17-80/90-17 ● 34万1000円/35万2000円

2020年7月

## ヤマハ テネレ700



MT-07系エンジンをラリーマシンのボディに搭載し、オフロード走破性とツーリング適性をバランスさせた新世代アドベンチャーモデル。低シート高のアクセラリアパッケージも用意。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ● 688cc ● 72PS/9000rpm ● 6.8kg-m/6500rpm ● 205kg ● 90/90-21-150/70R18 ● 126万5000円

2020年7月

## ホンダ 400X



使い手の良い400ccアドベンチャーツアラーとして人気の400Xがカラーリングを変更。新たに軽快な印象のパールグレアホワイトが追加され、全2色のラインアップとなった。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ● 399cc ● 46PS/9000rpm ● 3.9kg-m/7500rpm ● 196kg ● 110/80R19-160/60R17 ● 82万6100円

2020年7月

## スズキ GSX-R125 ABS



スズキ創立100周年を記念し、小さなスーパースポーツGSX-R125にMotoGPに参戦するスズキGSX-RRをモチーフにした特別カラーを追加。

- 水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ● 124cc ● 15PS/10000rpm ● 1.1kg-m/8000rpm ● 134kg ● 90/80-17-130/70-17 ● 39万3800円

2020年8月

## カワサキ Ninja ZX-6R/KRT EDITION



カワサキのミドルスーパースポーツZX-6Rがカラーリングを変更。スタンダードモデルに加えて、WSBKのワークスZX-10Rのカラーを再現したKRTエディションも新しくなった。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ● 636cc ● 126PS/13500rpm ● 7.1kg-m/11000rpm ● 197kg ● 120/70ZR17-180/55ZR17 ● 135万3000円

2020年10月

## カワサキ W800カフェ



W800にピキニカウル、低く構えたハンドルバーとスポーティなシートを装着し、カフェレーサー風スタイルとしたのがW800カフェ。このモデルもグラフィックが変更されている。

●空冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●773cc ●52PS/6500rpm ●6.3kg・m/4800rpm ●223kg ●110/90-18・130/80-18 ●113万3000円

2020年10月

## ヤマハ シグナスX モンスターエナジー



スポーティな125ccスクーターであるシグナスXの限定車として、ヤマハのMotoGPマシンYZR-M1のレーシーなカラーリングを再現したモデルを発売。生産台数は800台。

●空冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●124cc ●9.8PS/7500rpm ●1.0kg・m/6000rpm ●119kg ●110/70-12・120/70-12 ●34万6500円

2020年10月

## スズキ アドレス110



軽量で扱いやすく、燃費も良好で実用的な原付二種スクーター・アドレス110がモデルチェンジ。新たに前後連動ブレーキが装備されて、これまで以上に安全性が高まった。

●空冷4ストDOHC2バルブ単気筒 ●112cc ●8.8PS/7750rpm ●0.8kg・m/6250rpm ●100kg ●80/90-14・90/90-14 ●22万5500円

2020年11月

## カワサキ Z250



248cc並列2気筒エンジンを積んだフルカウルスポーツのニンジャ250をベースにした、俊敏でパワフルなネイキッドモデルであるZ250。カラー&グラフィックが変更された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●248cc ●37PS/12500rpm ●2.3kg・m/10500rpm ●164kg ●110/70-17・140/70-17 ●68万2000円

2020年11月

## カワサキ Z900RS



現代的なメカニズムとZ-1のイメージを再現したスタイリングを融合したスポーティなネイキッドとして人気のZ900RSに、新デザインのグラフィックが登場した。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●948cc ●111PS/8500rpm ●10.0kg・m/6500rpm ●215kg ●120/70ZR17・180/55ZR17 ●135万3000円

2020年12月

## カワサキ Z H2



H2シリーズのスーパーチャージドエンジンと、Zシリーズのワイルドで力強いSugomiスタイリングを組み合わせたZH2。新しいデザインのグラフィックのモデルが登場した。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒+スーパーチャージャー ●998cc ●200PS/11000rpm ●14.0kg・m/8500rpm ●240kg ●120/70ZR17・190/55ZR17 ●189万2000円

2020年12月

## ホンダ CRF250L/L <s>



CRF250シリーズがフルモデルチェンジ。軽量化とパワーアップが図られた改良が施され、オフロード走行を重視したストロークの長いサスを備える<s>も設定される。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●24PS/9000rpm ●2.3kg・m/6500rpm ●140kg ●80/100-21・120/80-18 ●59万9500円

2020年10月

## カワサキ Ninja 400/KRT EDITION



ニンジャ250の車体に、パワフルな398ccエンジンを搭載したモデルがニンジャ400。特別仕様車のKRTエディションも含め、新デザインのグラフィックに変更。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●398cc ●48PS/10000rpm ●3.9kg・m/8000rpm ●167kg ●110/70R17・150/60R17 ●11万5000円~72万6000円 /72万6000円(KRTエディション)

2020年10月

## カワサキ Z125 PRO



Zシリーズの中で最小の124ccエンジンとコンパクトな車体で、軽快な走りを楽しめるZ125プロに新しいグラフィックを採用したモデルが登場。このモデル以降、国内販売も行われていない。

●空冷4ストDOHC2バルブ単気筒 ●124cc ●9.7PS/8000rpm ●0.98kg・m/6000rpm ●102kg ●100/90-12・120/70-12 ●35万2000円

2020年11月

## カワサキ Z400



Z250と基本的に共通のスリムで軽量な車体へパワフルな398ccエンジンを搭載して、力強い走りを実現したのがZ400。新たにカラー&グラフィックを変更。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●398cc ●48PS/10000rpm ●3.9kg・m/8000rpm ●166kg ●110/70R17・150/60R17 ●68万2000円

2020年11月

## ヤマハ E-Vino



コンパクトでポップなスタイルが目立つスクーターのVinoをベースに開発された、原付一種電動スクーターがE-Vino。カラー変更でイエロー/ホワイト、ホワイトの2色設定に。

●電動モーター ●0.58kw ●1.6PS/3760rpm ●0.8kg・m/330rpm ●68kg ●90/90-10・90/90-10 ●25万9600円

2020年11月

## カワサキ バルカンス



独特なスタイルが印象的な車体に、Z650など同系の並列2気筒エンジンを搭載した軽快で扱いやすいクルーザーのバルカンス。2021年モデルでは新グラフィックが採用された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●649cc ●61PS/7500rpm ●6.4kg・m/6500rpm ●229kg ●120/70R18・160/60R17 ●85万8000円

2020年12月

## カワサキ Z900RS CAFE



Z900RSをベースに、ピキニカウルとローポジションハンドル、専用シートで精悍さを増したモデルがZ900RSカフェ。こちらも新しいデザインのグラフィックとなっている。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●948cc ●111PS/8500rpm ●10.0kg・m/6500rpm ●215kg ●120/70ZR17・180/55ZR17 ●138万6000円

2020年12月

## ホンダ CRF250ラリー/ラリー<s>



CRF250ラリーも同様の改良を受け、こちらもオフロード重視のストロークの長いサスを備える<s>が設定される。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●24PS/9000rpm ●2.3kg・m/6500rpm ●152kg ●80/100-21・120/80-18 ●74万1400円

2020年12月

## スズキ GSX250R/ABS



街乗りで扱いやすく快適な乗り味と、スポーティなフルカウルスタイルが人気のGSX250R。モデルチェンジを受けて新たにABS仕様が追加設定されている。

●水冷4ストDOHC2バルブ並列2気筒●248cc●24PS/8000rpm●2.2kg-m/6500rpm●178kg/181kg(ABS)●110/80-17・140/70-17●53万6800円～58万1900円

2020年12月

## カワサキ Ninja 250/KRT EDITION



レーシーなフルカウルスタイルと、パワフルなエンジン魅力の250ccスポーツ・ニンジャ250と、その特別仕様のKRTエディションに、新しいグラフィックが採用された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●248cc●37PS/12500rpm●2.3kg-m/10500rpm●166kg●110/70-17・140/70-17●64万3500円/65万4500円(KRTエディション)

2021年1月

## スズキ KATANA 特別色



カタナに特別色を設定。カラーはWeb上のアンケートで人気だったキャンディカラーリングレッドで、各部にゴールド仕上げのパーツも装着。100台のみの限定販売。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●998cc●148PS/10000rpm●10.9kg-m/9500rpm●215kg●120/70ZR17・190/50ZR17●159万5000円

2021年1月

## スズキ レッツ



コンパクトで扱い勝手の良い原付一種スクーターのレッツがカラーリングを変更。新色としてサンディベージュが追加され、全4色の設定となっている。

●空冷4ストDOHC2バルブ単気筒●49cc●3.7PS/8500rpm●0.35kg-m/7000rpm●70kg●80/90-10・80/90-10●16万6100円

2021年1月

## カワサキ Z900



Zシリーズの中でバランスの良いミドルモデルであるZ900。カラー&グラフィックの変更に加え、3年間の定期点検とオイル交換が無償というカワサキケアの対象モデルとなった。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●948cc●125PS/9500rpm●10.0kg-m/7700rpm●213kg●120/70ZR17・180/55ZR17●110万円

2021年1月

## スズキ GSX-R125 ABS



排気量は小さくてもスポーツライディングを楽しめる原付二種スーパースポーツであるGSX-R125がカラーリングを変更。ストロングレッド/タイタンブラックほか全3色となった。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒●124cc●15PS/10000rpm●1.1kg-m/8000rpm●134kg●90/80-17・130/70-17●41万5800円

2021年1月

## ホンダ CB650R



ミドルネイキッドCB650Rがモデルチェンジ。フロントフォークはショーワ製SFF-BPを採用し、シートカウルとリアフェンダーの形状も変更。カラーリングの配色も新しくなった。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●648cc●95PS/12000rpm●6.5kg-m/8500rpm●201kg●120/70ZR17・180/55ZR17●97万9000円

2021年1月

## スズキ GSX-S125 ABS



スポーティな走りを楽しめるネイキッドモデルGSX-SシリーズのエントリーモデルがGSX-S125。カラーリングを変更、トリトンブルーメタリックなど全2色設定に。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒●124cc●15PS/10000rpm●1.1kg-m/8000rpm●133kg●90/80-17・130/70-17●38万2800円

2021年1月

## ホンダ CBR650R



CBR650Rがモデルチェンジを受け、フロントフォークをショーワ製SFF-BPとしてハンドリングを改善。シートカウルなどスタイリングもリファイン。カラーリングも変更されている。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●648cc●95PS/12000rpm●6.5kg-m/8500rpm●206kg●120/70ZR17・180/55ZR17●105万6000円～108万9000円

2021年1月

## ヤマハ YZF-R25/R3



250ccスーパースポーツYZF-R25と、排気量を320ccに拡大したR3。2021年モデルはカラーリングを変更、新色シアン、マットダークグレーなど全3色のランアップになった。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●249(320)cc●35(42)PS/12000(10750)rpm●2.3(3.0)kg-m/10000(9000)rpm●170kg●110/70-17(110/70R17)・140/70-17(140/70R17)●65万4500円(68万7500円) ※()内はR3

2021年1月

## ホンダ PCX160



エンジンをはじめ、全てを一新してフルモデルチェンジされたPCXの軽二輪バージョン。エンジンの排気量を156ccに拡大し、PCXより3.3PS/パワーアップして高速走行に対応。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒●156cc●15.8PS/8500rpm●1.5kg-m/6500rpm●132kg●110/70-14・130/70-13●40万7000円

2021年1月

## ホンダ PCX e:HEV



従来型PCXにあったPCXハイブリッドの後継モデル。新型PCXをベースに、リチウムイオンバッテリーと、ACGスターター(起動アシスト機能も担わせるハイブリッドシステムを搭載する。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒+交流同期電動機●124cc●エンジン・12.5PS/8750rpm 電動機・1.9PS/3000rpm●エンジン・1.2kg-m/6500rpm 電動機・0.44kg-m/3000rpm●136kg●110/70-14・130/70-13●44万8800円

2021年1月

## ホンダ PCX125



125ccスクーターのベストセラーPCXがフルモデルチェンジ。新設計エンジン・eSP+をはじめ、フレーム、スタイリング、装備類と全てを一新して、従来より大きく利便性を向上。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒●124cc●12.5PS/8750rpm●1.2kg-m/6500rpm●132kg●110/70-14・130/70-13●35万7500円

2021年1月

## スズキ アドレスV50



軽快で扱いやすい走り、低燃費を両立する原付一種スクーターアドレスV50。諸元やボディカラーは従来のままだが、価格設定のみが変更された。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 49cc ● 3.7PS/8500rpm ● 0.35kg-m/7000rpm ● 74kg ● 80/90-10-80/90-10 ● 18万2600円

2021年1月

## スズキ SV650 ABS



強力な645ccVツインエンジンを搭載する、ベーシックなミドルネイキッドのSV650に2021年モデルが登場。メカニズムについては従来モデルのものが受け継がれていて、カラーリングのみが変更された。

- 水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒 ● 645cc ● 76.1PS/8500rpm ● 6.5kg-m/8100rpm ● 197kg ● 120/70ZR17-160/60ZR17 ● 78万5400円

2021年2月

## カワサキ Ninja 650/KRT EDITION



軽量フルカウルボディに強力な並列ツインエンジンを搭載、エキサイティングな走りでも評価されているニンジャ650。KRTエディションも含め、新しいグラフィックになった。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ● 649cc ● 68PS/8000rpm ● 6.4kg-m/6700rpm ● 194kg ● 120/70ZR17-160/60ZR17 ● 90万2000円

2021年2月

## ホンダ ゴールドウイング/ツアー



オーディオがアップデートされ、アンドロイドオートも標準採用。ミッションはDCT仕様のみになった。シート一体のリアボックスを備えるツアーは、シート形状を変更しトランク容量も拡大。

- 水冷4ストOHC(ユニカム)水平対向6気筒 ● 1833cc ● 126PS/5500rpm ● 17.3kg-m/4500rpm ● 386kg (389kg) ● 130/70R18-200/55R16 ● 294万8000円 (346万5000円) ※( )内はツアー

2021年2月

## スズキ GSX-S750 ABS



GSX-R750から発展した強力なエンジンを搭載、ストリートファイター的なスタイリングも魅力なネイキッドのGSX-S750。カラーリングを変更、メカニズムについては従来モデルと同様のものだ。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ● 749cc ● 112PS/10500rpm ● 8.2kg-m/9000rpm ● 212kg ● 120/70ZR17-180/55ZR17 ● 98万7000円

2021年2月

## ヤマハ TMAX560 テック マックス ABS



2021年モデルでTMAX560に追加された上級グレード。クルーズコントロールをはじめ、電動調整スクリーン、グリップウォーマー、シートヒーター、調整機能付きリアサスペンションを標準装備しているのが特徴。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ● 561cc ● 48PS/7500rpm ● 5.7kg-m/5250rpm ● 220kg ● 120/70R15-160/60R15 ● 141万9000円

2021年3月

## ホンダ CB1300スーパーボルドール



CB1300SFをベースに、高速走行での快適性を高めるハーフカウルを装着したCB1300SBも同時にモデルチェンジ。電子制御デバイスによって、さらに完成度が高められた。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ● 1284cc ● 113PS/7750rpm ● 11.4kg-m/6250rpm ● 272kg ● 120/70ZR17-180/55ZR17 ● 156万2000円

2021年1月

## スズキ SV650X ABS



ベーシック・ネイキッドであるSV650に、セパレートハンドルやビキニカウルなどを装着したカプエーサー版SV650Xの2021年モデル。メカニズムは従来モデルのものを受け継ぎ、カラーリングのみを変更。

- 水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒 ● 645cc ● 76.1PS/8500rpm ● 6.5kg-m/8100rpm ● 197kg ● 120/70ZR17-160/60ZR17 ● 82万9400円

2021年2月

## カワサキ メグロK3



Wシリーズのルーツとなった、往年のメグロブランドを復活させたモデルの第一弾。メグロの伝統を感じさせる上質なクラシカルスタイルを、W800のメカニズムに組み合わせた。

- 空冷4ストOHC4バルブ並列2気筒 ● 773cc ● 52PS/6500rpm ● 6.3kg-m/4800rpm ● 227kg ● 110/90-19-130/80-18 ● 127万6000円

2021年2月

## ホンダ NC750X/DCT



デビューから二度目のフルモデルチェンジ。新型フレームを軽量化。エンジンは各部改良とスロットルワイヤ化を遂げ、ライディングモードも搭載。優れた機能性を持つスタイリングもリファインされた。

- 水冷4ストOHC4バルブ並列2気筒 ● 745cc ● 58PS/6750rpm ● 7.0kg-m/4750rpm ● 214kg (224kg) ● 120/70ZR17-160/60ZR17 ● 92万4000円 (99万円) ※( )内はDCT

2021年2月

## ホンダ ディオ110



実用的な原付二種スクーターのディオ110がフルモデルチェンジ。低燃費化を進めた新設計のeSPエンジンや、軽量で高剛性なeSAFフレームを採用し、基本メカニズムを一新。スマートキーで利便性も高まった。

- 空冷4ストOHC単気筒 ● 109cc ● 8.7PS/7500rpm ● 0.92kg-m/5750rpm ● 96kg ● 80/90-14-90/90-14 ● 24万2000円~24万5300円

2021年2月

## スズキ バーグマン200 ABS



トータルバランスの良さと支持されているスクーター「バーグマン200」の2021年モデル。定評のあった快適さと優れた利便性、絶妙なサイズ設定による扱いやすさはそのままに、新たにABSが標準装備となった。

- 水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ● 199cc ● 18PS/8000rpm ● 1.6kg-m/6000rpm ● 165kg ● 110/90-13-130/70-12 ● 57万1340円

2021年3月

## ホンダ CB1300スーパーフォア



CBシリーズの最高峰・CB1300SFがモデルチェンジ。パワーモード、セレクトマルチトルクコントロール、クルーズコントロールなど電子制御デバイスの採用で快適な走りを目指す。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ● 1284cc ● 113PS/7750rpm ● 11.4kg-m/6250rpm ● 266kg ● 120/70ZR17-180/55ZR17 ● 156万2000円

2021年3月

## ヤマハ ジョグ/デラックス



スポーティな原付一種スクーターのロングセラー、ジョグの2021年モデル。スタンダードモデルのジョグ、シルバーの立体エンブレムを装着するジョグ・デラックス共に、新しいボディカラーが採用された。

- 水冷4ストOHC2バルブ単気筒 ● 49cc ● 4.5PS/8000rpm ● 0.42kg-m/6000rpm ● 78kg (79kg) ● 80/100-10-80/100-10 ● 17万5000円 (18万3700円) ※( )内はデラックス

2021年3月

## ヤマハ SR400ファイナルエディション



1978年のデビューから長く愛されてきたSR400の文字通り最終モデル。スタンダード仕様に加え、手作業によるサンバースト塗装のタンクなどで上質に仕上げられた、1000台限定のリミテッドモラインナップ。

- 空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●399cc ●24PS/6500rpm ●2.9kg・m/3000rpm ●175kg ●90/100-18-110/90-18 ●60万5000円(リミテッドは74万8000円)

2021年3月

## ヤマハ ビーノ



レトロポップ調のスタイリングで人気の原付一種スクーターであるビーノが、カラーリングを変更して2021年モデルとして登場。新色4色に継続販売される2色、全6色という豊富なカラーバリエーションが揃う。

- 水冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●49cc ●4.5PS/8000rpm ●0.42kg・m/6000rpm ●81kg ●80/100-10-80/100-10 ●20万3500円

2021年3月

## ホンダ CB1000R



CBの伝統とモダンなディテール、メカニズムを融合させたCB1000Rがヘッドライト等の外観をリファインし、シートレールやリアフェンダーもスリム化。スマートフォンとの連携を可能とするHSVCSも搭載された。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●145PS/10500rpm ●10.6kg・m/8250rpm ●213kg ●120/70ZR17-190/55ZR17 ●167万9000円

2021年3月

## スズキ Vストローム1050



Vストローム1050のスタンダード版。1036ccVツインをはじめメカニズムの多くはXTと共通。XTとの違いはキャストホイールを装着しているほか装備類がシンプルになり、価格も低く抑えられている。

- 水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒 ●1036cc ●106PS/8500rpm ●10.1kg・m/6000rpm ●236kg ●110/80R19-150/70R17 ●143万円

2021年3月

## スズキ Vストローム650 ABS



Vストローム650のスタンダードモデル。基本的なメカニズムはXTと共通だが、スポークホイールのXTに対してこちらはキャストホイールを履いているほか、一部装備を省くことで価格を抑えている。

- 水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒 ●645cc ●69PS/8800rpm ●6.2kg・m/6500rpm ●212kg ●110/80R19-150/70R17 ●92万4000円

2021年3月

## ホンダ X-ADV



DCT仕様エンジンをスクーター的な利便性とタフなイメージを兼ね備えるボディに搭載するX-ADVがフルモデルチェンジ。より使い勝手良いスタイルと、スロットルパイプワイヤの採用など各部に改良を施し完成度を高めた。

- 水冷4ストOHC4バルブ並列2気筒 ●745cc ●58PS/6750rpm ●7.0kg・m/4750rpm ●236kg ●120/70ZR17-160/60R15 ●132万円

2021年3月

## ホンダ グロム



コンパクトボディに125cc空冷単気筒エンジンを搭載し、軽快な走りが魅力のミニ・スポーツ、グロムがモデルチェンジ。新型エンジンを搭載し、ミッションも迅速に。個性的なスタイリングも新デザインに新された。

- 空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●123cc ●10PS/7250rpm ●1.1kg・m/5500rpm ●102kg ●120/70-12-130/70-12 ●38万5000円

2021年3月

## ホンダ レブル1100DCT



250ccクラスで人気のレブルのコンセプトを、ビッグクルーザーに取り入れたニューモデル。エンジンはアフリカツイン系の1082cc並列ツイン。DCT仕様先行して発売された。

- 水冷4ストOHC4バルブ並列2気筒 ●1082cc ●87PS/7000rpm ●10.0kg・m/4750rpm ●233kg ●130/70-18-180/65-16 ●121万円

2021年3月

## スズキ Vストローム1050XT



Vストローム1050XTはスズキ製アドベンチャーツアラーの最上級版。基本構成はVストローム1050と共通だが、XTはスポークホイールを装着し、さらにクルーズコントロールやシート高調整機能など装備が充実。

- 水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒 ●1036cc ●106PS/8500rpm ●10.1kg・m/6000rpm ●247kg ●110/80R19-150/70R17 ●151万8000円

2021年3月

## スズキ Vストローム650XT ABS



VストロームシリーズのミドルバージョンであるVストローム650の上級モデルがXT。冗費分の1050と同じくXTはスポークホイールを装着。ハンドガード、エンジンガードもXTにのみ標準装備される。

- 水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒 ●645cc ●69PS/8800rpm ●6.2kg・m/6500rpm ●215kg ●110/80R19-150/70R17 ●96万8000円

2021年3月

## スズキ ジクサー150



スリムで軽量なボディと粘り強いエンジンによってキビキビとした走りを楽しめる、低価格なライトウエイトネイキッドとして人気のジクサー150。2021年モデルではボディカラーのみが変更された。

- 空冷4ストOHC2バルブ単気筒 ●154cc ●14PS/8000rpm ●1.4kg・m/6000rpm ●139kg ●100/80-17-140/60R17 ●35万2000円

2021年3月

## ホンダ フォルツァ



250ccスクーターの定番フォルツァがモデルチェンジ。優れた出力特性と環境性能を高次元で両立させた新搭載のeSP+エンジンを新たに採用。フレームも改良され安定感と快適性をアップしている。

- 水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●249cc ●23PS/7750rpm ●2.4kg・m/6250rpm ●186kg ●120/70-15-140/70-14 ●65万8900円

2021年3月

## ホンダ ジャイロ e:



ホンダのe: ビジネスバイクシリーズの第二弾として、配送業務などで広く用いられているビジネス三輪スクータージャイロの電動版として登場。法人向けモデルのため、個人で購入することはできない。

- 交流同期電動機 ●4.4PS/5800rpm ●1.3kg・m/2300rpm ●141kg ●90/90-12-130/70-8 ●55万円

2021年3月

## スズキ Hayabusa



13年ぶりにモデルチェンジした三代目ハヤブサの国内仕様。先代からエンジンやフレームを受け継ぎながら、最新の電子制御デバイスや空力技術を採用することで、持ち前の圧倒的パフォーマンスが大きく洗練された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1339cc●188PS/9700rpm●15.2kg・m/7000rpm●264kg●120/70ZR17-190/50ZR17●215万6000円～216万7000円、221万1000円～222万2000円(カラーオーダープラン)

2021年4月

## ヤマハ トリシティ125/ABS



独自のLMW機構により、三輪レイアウトながら二輪同様の旋回性と、三輪ならではの高い安定性を兼ね備える125ccスクータートリシティ125。2021年モデルでは新色のイエローがボディカラーに追加された。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒●124cc●12P/7500rpm●1.2kg・m/7250rpm●159kg(164kg)●90/80-14-130/70-13●42万3500円(46万2000円)※( )内はABS

2021年4月

## ホンダ CB125R



モダンなスタイリングと250譲りの車体が魅力の125ccスポーツ。CB125Rがモデルチェンジ。新たに水冷シングルエンジンをDOHC化し、倒立フロントフォークもSFF-BPタイプを採用。走りの質をグレードアップ。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒●124cc●15P/10000rpm●1.2kg・m/8000rpm●130kg●110/70R17-150/60R17●47万3000円

2021年4月

## スズキ ジクサーSF250



ネイキッドモデルのジクサー250をベースに、レーシーなフルカウルを装着し、ライティングポジションも変更したジクサーSF250。ジクサー250同様、2021年モデルはカラーリングが変更された。

●油冷4ストOHC4バルブ単気筒●249cc●26P/9000rpm●2.2kg・m/7300rpm●158kg●110/70R17-150/60R17●48万8800円

2021年5月

## ホンダ レブル1100



アフリカツイン譲りのエンジンを積んだレブルシリーズのフラッグシップモデル。3月に発売されたDCT仕様に続いて、通常の6速マニュアルミッション仕様も5月に登場。

●水冷4ストOHC4バルブ並列2気筒●1082cc●87P/7000rpm●10.4kg・m/4750rpm●223kg●130/70-18-180/65-16●110万円

2021年6月

## カワサキ Ninja ZX-10RR



レース向けのベースモデルとして設定されるZX-10RRもZX-10Rと同時にモデルチェンジ。シングルシートやマルカジーニ製ホイールが装着され、チタンコントロールや専用カムが組まれたRR専用エンジンを搭載。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●998cc●204P/14000rpm●11.4kg・m/11700rpm●207kg●120/70ZR17-190/55ZR17●328万9000円

2021年6月

## ヤマハ NMAX ABS



コンパクトでスタイリッシュ、軽快な走りのNMAXが2021年にモデルチェンジ。トラクションコントロールも備えた新型ブルーコアエンジンに加え、着信通知や燃費管理が可能なスマホアプリにも対応。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒●124cc●12P/8000rpm●1.1kg・m/6000rpm●131kg●110/70-13-130/70-13●36万8500円

2021年4月

## ヤマハ MT-25/03 ABS



MTシリーズの中でもエントリーモデルとして人気のMT-25と、その排気量を拡大した小型二輪版MT-03の2021年モデル。アグレッシブさを強調するボディカラーを新たに採用。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●249cc(320cc)●35P/12000rpm(42P/10750rpm)●2.3kg・m/10000rpm(3.0kg・m/9000rpm)●169kg●110/70-17-140/70-17(110/70R17-140/70R17)●62万1500円(65万4000円)※( )内はMT-03

2021年4月

## カワサキ Z H2 SE



スーパーチャージド・スポーツ、H2シリーズのネイキッドバージョンのZ H2に追加した高級モデル。シヨワのスカイフックテクノロジーを取り入れた電子制御サスペンションでスムーズな乗りを実現。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●998cc●200P/11000rpm●14kg・m/8000rpm●241kg●120/70ZR17-190/55ZR17●220万円

2021年4月

## スズキ ジクサー250



249ccの油冷シングルエンジンを、スリムなボディに搭載する軽快なスポーツネイキッドがジクサー250。2021年モデルは、スペックなどの変更はなく、基本的にカラーリング変更のみとなった。

●油冷4ストOHC4バルブ単気筒●249cc●26P/9000rpm●2.2kg・m/7300rpm●154kg●110/70R17-150/60R17●44万8800円

2021年4月/7月

## ホンダ GB350/S



ホンダの新しいクラシカル・ロードスポーツGB350。単気筒エンジンのフィーリング、オーソドックスで存在感の強いスタイリングが魅力。Sは基本メカニクスはそのままに、スポーティなスタイルが与えられた。

●空冷4ストOHC単気筒●348cc●20P/5500rpm●3.0kg・m/3000rpm●180kg(178kg)●100/90-19-130/70-18(100/90-19-150/70R17)●55万円(59万4000円)※( )内はGB350S

2021年5月

## カワサキ Ninja ZX-10R/KRT EDITION



スーパーバイク世界選手権でも活躍するZX-10Rが2021年にモデルチェンジ。先端の空力技術を取り入れてカウルの形状が大きく変わり、空力特性が向上。引き続きワークスマンのカラーのKRT仕様も用意。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●998cc●203P/13200rpm●11.7kg・m/11400rpm●207kg●120/70ZR17-190/55ZR17●229万9000円

2021年6月

## ヤマハ ボルト R スペック ABS



個性的なボルトスタイルと、軽快な乗り味を兼ね備えたミドルクラスであるボルトRスペック。2021年モデルは新色としてブルー、ブラックが設定された。リザーバータンク付きリアサスなどは従来モデル同様。

●空冷4ストOHC4バルブV型2気筒●941cc●54P/5500rpm●8.2kg・m/3000rpm●252kg●100/90-19-150/80B16●104万7500円

2021年6月

## スズキ バーグマン400 ABS



スズキの400ccスクーターであるバーグマン400がマイナーチェンジ。新たにトラクションコントロールが追加され、強力な400ccエンジンのパワーを効率よく路面に伝え、悪条件でも安定した走りが可能となった。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒●399cc●29P/6300rpm●3.6kg・m/4900rpm●218kg●120/70-15-150/70-13●84万7000円

2021年7月

ホンダ **クロスカブ110**



スーパーカブ110をベースに、アウトドアテイストあふれるスタイリングと装備を与えたクロスカブ110。2021年には、かわいらしさや親しみやすさを感じさせるプロブルーを採用したモデルを2000台限定で発売。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 109cc ● 8.0PS/7500rpm ● 0.87kg・m/5500rpm ● 106kg ● 80/90-17・80/90-17 ● 34万1000円

2021年7月

ホンダ **ADV150**



スクーターでありながらも、個性的なアドベンチャーモデルの新たなスタイルを提案するモデルとして人気のADV150。2021年7月には、8月一杯の受注期間限定カラーとしてロスホワイトが販売された。

- 水冷4スト OHC単気筒 ● 149cc ● 15PS/8500rpm ● 1.45 kg・m/6500rpm ● 134 kg ● 110/80-14・130/70-13 ● 45万1000円

2021年7月

ヤマハ **MT-09 ABS**



MTシリーズの中でも、個性的なスタイルと並列3気筒エンジンを備える個性的なモデルであるMT-09がフルモデルチェンジ。新型フレームに排気量を拡大したエンジン、最新電子制御デバイスなどで大幅に進化した。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列3気筒 ● 888cc ● 120PS/10000rpm ● 9.5kg・m/7000rpm ● 189kg ● 120/70ZR17・180/55ZR17 ● 110万円

2021年7月

ヤマハ **トレーサー9 GT ABS**



エンジン、フレームが新しくなった新型MT-09をベースに、MT譲りの高いスポーツ性能を活かしながら、ツーリングをはじめとする多様な用途に使えるツアラーとして開発されたトレーサー9GTが登場。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列3気筒 ● 888cc ● 120PS/10000rpm ● 9.5kg・m/7000rpm ● 220kg ● 120/70ZR17・180/55ZR17 ● 145万2000円

2021年7月

ヤマハ **MT-07 ABS**



洗練されたスタイルと扱いやすく軽快な乗り味を備える、MTシリーズのミドル版のMT-07がマイナーチェンジ。最新の排ガス規制に対応し、ハイファンクションLEDヘッドライトの採用でスタイリングもリファイン。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列2気筒 ● 688cc ● 73PS/8750rpm ● 6.8 kg・m/6500rpm ● 184kg ● 120/70ZR17・180/55ZR17 ● 81万4000円

2021年7月

ヤマハ **XMAX ABS**



ヤマハのスポーティな250ccスクーターXMAXがマイナーチェンジ。エンジンの最新ガス規制適合に合わせて、シート表皮やスマートキーの質感を向上、ヘッドライトも光量アップ。カラーリングも新しくなった。

- 水冷4スト OHC4バルブ単気筒 ● 249cc ● 23PS/7000rpm ● 2.4kg・m/5500rpm ● 179kg ● 120/70-15・140/70-14 ● 65万4500円

2021年7月

カワサキ **ヴェルシス1000SE**



パワフルなエンジンと最新の電子制御デバイスによる快適でスポーティな万能ツアラー、ヴェルシス1000SEがマイナーチェンジ。電子制御サス・KECSが、ショーワ製スカイフックテクノロジーを活用した最新仕様に。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 1043cc ● 120PS/9000rpm ● 10.4kg・m/7500rpm ● 257kg ● 120/70ZR17・180/55ZR17 ● 199万1000円

2021年7月

スズキ **GSX-S1000**



GSX-R1000譲りのエンジンを積んだスーパーネイキッドGSX-S1000がモデルチェンジ。最新の電子制御デバイスで優れたパフォーマンスを幅広く堪能できる。スタイリングもシャープなイメージに变身。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 998cc ● 150PS/11000rpm ● 10.7kg・m/9250rpm ● 214kg ● 120/70ZR17・190/50ZR17 ● 143万円

2021年7月

スズキ **GSX-R1000R ABS**



GSX-Rシリーズの最高峰モデルである、GSX-R1000Rの2021年モデル。カラーリングのみが変更されていて、パワフルなエンジンをはじめ、車体周りや電子制御などの基本的なメカニズムは従来型のままで。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 999cc ● 197PS/13200rpm ● 11.9kg・m/10800rpm ● 203kg ● 120/70ZR17・190/55ZR17 ● 215万76000円

2021年8月

スズキ **アドレス110**



14インチホイールを装着したスリムで軽やかな車体と、力強く燃費も良好な空冷SEPエンジンを積んだ実用的なアドレス110。同月にはスペシャルエディションとして、特別色が2タイプ追加設定された。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 112cc ● 8.8PS/7750rpm ● 0.88kg・m/6250rpm ● 100kg ● 80/90-14・90/90-14 ● 22万75000円

2021年8月

カワサキ **Z900RS/CAFE**



Z1を現代に復活させたような魅力的なスタイルと、現代的なメカニズムを融合させたネイキッドスポーツのZ900RSと、カフェレーサー版のZ900RSカフェ。2022年モデルでは、両モデル共にカラーリングを変更。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 948cc ● 111PS/8500rpm ● 10.0kg・m/6500rpm ● 215kg (217kg) ● 120/70ZR17・180/55ZR17 ● 138万6000円 (141万9000円) ※ ()内はカフェ

2021年9月

ホンダ **スーパーカブC125**



スーパーカブシリーズの中でも、クラシカルな美しいスタイルと125ccエンジンが魅力のC125がモデルチェンジ。従来モデルからロングストローク化された新しい空冷単気筒エンジンを搭載。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 123cc ● 9.8PS/7500rpm ● 1.0kg・m/6250rpm ● 110kg ● 70/90-17・80/90-17 ● 44万円

2021年9月

ホンダ **モンキー125**



モンキー125が初めてモデルチェンジ。スタイリングや車体の基本構成はそのままで、グロムにも搭載されたロングストロークエンジンや、5速ミッションを新たに採用している。

- 空冷4スト OHC2バルブ単気筒 ● 123cc ● 9.4PS/6750rpm ● 1.1kg・m/5500rpm ● 104kg ● 120/80-12・130/80-12 ● 44万円

2021年9月

カワサキ **Ninja 250**



パワフルな水冷並列ツインエンジンを、レーシーなフルカウルと組み合わせた250スーパースポーツ。2022年モデルは、ボディカラーを新色2色に変更してイメージチェンジ。前年まで存在したKRT仕様は未設定。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列2気筒 ● 248cc ● 37PS/12500rpm ● 2.3kg・m/10000rpm ● 166kg ● 110/70-17・140/70-17 ● 65万4500円

2022年1月

## カワサキ Z900RS SE



人気抜群のZ900RSに、2022年モデルで上級グレードのSEが追加。リアサスをオーリンズ製のS46とし、合わせて倒立フロントフォークもセッティングを変更。カラーリングも専用のイエローボールカラーだ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●948cc●111PS/8500rpm●10.0kg-m/6500rpm●215kg  
●120/70ZR17-180/55ZR17●160万6000円

2022年1月

## ヤマハ YZF-R1 ABS/M ABS



ヤマハ製スーパースポーツの最高峰・YZF-R1と、その上級グレードであるYZF-R1M。2022年モデルは基本的なメカニズムやスペックに関しては従来モデルに準じた内容で、目立った変更点はカラーリングのみ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●997cc●200PS/13500rpm●11.5kg-m/11500rpm●201kg(202kg)  
●120/70ZR17-190/55ZR17(120/70ZR17-200/55ZR17)●236万5000円(319万円)※( )内はYZF-R1M

2022年1月

## カワサキ バルカンS



独特なスタイルの車体に、Z650などと同系の並列ツインエンジンを搭載した個性的なクルーザー。2022年モデルではボディカラーを変更。排ガス規制クリアのためマフラーも新しくなり、型式なども新しくなった。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●649cc●61PS/7500rpm●6.3kg-m/6600rpm●229kg  
●120/70R18-160/60R17●91万3000円

2022年1月

## カワサキ Z1000



摩訶不思議なSugomiデザインとアグレッシブな走りが特徴である、カワサキのスーパーネイキッド、Zシリーズの最高峰モデルがZ1000。2022年モデルでは、3年ぶりにボディカラーが変更を受けている。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1043cc●141PS/10000rpm●11.3kg-m/7300rpm●220kg  
●120/70ZR17-190/50ZR17●118万8000円

2022年1月

## カワサキ Ninja ZX-6R/KRT EDITION



現行のミドルスーパースポーツとしては、希少になった並列4気筒エンジンを搭載したニンジャ ZX-6R。2022年モデルでは、スタンダードモデルのカラーを変更。KRTエディションは従来モデルのまま継続販売。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●636cc●126PS/13500rpm●7.1kg-m/11000rpm●197kg  
●120/70ZR17-180/55ZR17●137万5000円

2022年1月

## カワサキ Ninja 1000SX



ニンジャ1000から発展を続け、完成度の高いオールラウンドスポーツとして根強い人気を集めるニンジャ1000SX。2022年モデルは、ボディカラーが新色2色に変更された。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●1043cc●141PS/10000rpm●11.3kg-m/8000rpm●236kg  
●120/70ZR17-190/50ZR17●151万8000円

2022年1月

## ホンダ CBR400R



CBRシリーズの400cc版であるCBR400Rがマイナーチェンジ。フロントフォークをSHOWA製のSFF-BPに変更し、スイングアームやブレーキの改良や、新型ホイールと合わせてハンドリングを改善した。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●399cc●46PS/9000rpm●3.9kg-m/7500rpm●192kg  
●120/70R17-160/60R17●84万1500円

2022年1月

## ホンダ 400X



400ccクラス唯一のクロスオーバーモデル。400Xがマイナーチェンジ。CBR400Rと同様のハンドリングを改善する足まわりの改良を受けたのに加え、ヘッドライトの配光を最適化し視認性・被視認性を向上。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●399cc●46PS/9000rpm●3.9kg-m/7500rpm●199kg  
●110/80R19-160/60R17●85万8000円

2022年1月

## ホンダ CBR250RR



グラファイトブラックを新たに採用。継続色のグラプリレッド(ストライプ)、マットガンパウダーブラックメタリック、パールグレアホワイトと合わせた全4色を設定している。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●249cc●41PS/13000rpm●2.5kg-m/11000rpm●168kg  
●110/70R17-140/70R17●82万1700円-85万4700円

2022年1月

## ホンダ ジョルノ



フロントエンブレムのデザインを統一するとともに、愛らしく個性的なスタイリングをより際立たせる計5色のカラーバリエーションを設定。くまモンバージョンは継続されたが、デラックスは廃止。

●水冷4ストOHC単気筒●49cc●4.5PS/8000rpm  
●0.42kg-m/6000rpm●81kg●80/100-10-90/90-10●20万9000円

2022年1月

## ホンダ ダンク



上質な印象をより引き立てる計3色のカラーに。それぞれ、リアサスペンションスプリングのカラーをレッド、シートのカラーをブラック、ブレーキキャリパーのカラーをブラックとしている。

●水冷4ストOHC単気筒●49cc●4.5PS/8000rpm  
●0.42kg-m/6000rpm●81kg●80/100-10-90/90-10●22万9900円

2022年1月

## スズキ SV650X ABS



スポーティさとカフェレーサースタイルの融合させたSV650X ABSが2022年モデルで令和2年国内排出ガス規制に適合させ、カラーリングを変更。グラスパープルブラック1色のラインアップ。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●645cc●72PS/8500rpm●6.4kg-m/6800rpm●199kg  
●120/70ZR17-160/60ZR17●84万7000円

2022年1月

## スズキ SV650 ABS



令和2年国内排出ガス規制に適合させカラーを変更。グラスパープルブラック、グラスパープルブラックメタリックホワイト、マットブラックメタリックNo.2の3色のラインアップ。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●645cc●72PS/8500rpm●6.4kg-m/6800rpm●199kg  
●120/70ZR17-160/60ZR17●80万3000円

2022年3月

## ホンダ CBR1000RR-R FIREBLADE /SP



吸気ポートおよびエキゾーストパイプ集合部の形状とドリフンスプロケット丁数及び、エアクリナーボックス形状やスロットルワイヤのリターンสปリング荷重やHSTCの制御プログラムを変更。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●999cc●218PS/14500rpm●11.5kg-m/12500rpm●201kg
- 120/70ZR17・200/55ZR17●242万円～278万3000円

2022年3月

## スズキ Vストローム650ABS/XT ABS



新排ガス規制に対応。Vストローム650ABSはプリリアントホワイトとガラススパークルブラックの2色。XTはチャンピオンイエローNo.2、プリリアントホワイト、パールビガーブルー×マットソードシルバーメタリック、ガラススパークルブラックの4色。

- 水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●645cc●69PS/8800rpm●6.2kg-m/6300rpm●212kg/215kg(XT)●110/80R19・150/70R17●95万7000円/100万1000円(XT)

2022年4月

## ヤマハ XSR700 ABS



XSR700 ABSがマイナーチェンジして平成32年排出ガス規制適合化。新タイヤの採用とフロントブレーキディスクの大径化、灯火類のLED化やネガポジ反転LCDメーターの採用などが行われた。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●688cc●73PS/8750rpm●6.8kg-m/6500rpm●188kg●120/70ZR17・180/55ZR17●93万5000円

2022年4月

## ヤマハ ビーノ



2022年モデルはシンプル&キュートな新色、ライトブルーとマットグリーンの2色を追加。レッド、ブラック、ブラウン、ベージュは継続販売し、あわせて全6色展開となった。

- 水冷4ストOHC2バルブ単気筒●49cc●4.5PS/8000rpm●0.42kg-m/6000rpm●81kg●80/100-10・80/100-10●20万3500円

2022年4月

## カワサキ Ninja H2 SX/SE



スーパーチャージドエンジンによる究極の性能と、ロングツーリングのための快適性を追求したモデル。SEはKECSを搭載し、路面やライディング状況に合わせ瞬時に減衰力を最適化するなどした上級版。

- 水冷4ストDOHC 4バルブ並列4気筒●998cc●200PS/11000rpm(ラムエア加圧時:210PS/11000rpm)●14.0kg-m/8500rpm●266kg/267kg(SE)●120/70ZR17・190/55ZR17●265万1000円/297万円(SE)

2022年5月

## ヤマハ MT-07 ABS



カラーリングとグラフィックを変更。グレーはホイールにシアンを採用し、ブルーはフラッグシップモデルYZF-R1イメージのカラーに、マットダークグレーは、ダークトーンでシリアスなイメージを表現している。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●688cc●73PS/8750rpm●6.8kg-m/6500rpm●184kg●120/70ZR17・180/55ZR17●81万4000円

2022年3月

## ヤマハ アクシスZ



静粛かつ振動の少ないエンジン始動をもたらすSMGを装備するとともに最新の排出ガス規制に適合。リアブレーキ操作でフロントもバランスよく効かせるUBSの採用するほか、ヘッドランプの光量をアップ。

- 空冷4ストOHC2バルブ単気筒●124cc●8.3PS/7000rpm●1.00kg-m/5000rpm●100kg●100/90-10・100/90-10●27万1700円

2022年4月

## ホンダ CBR1000RR-R FIREBLADE SP 30th Anniversary



1992年に発売された初代「CBR900RR」の発売30周年記念モデル。初代モチーフの特別カラーを採用し、30周年記念のマークなどを各部にあしらっている。トップブリッジにはシリアルナンバーを刻印。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●999cc●218PS/14500rpm●11.5kg-m/12500rpm●201kg●120/70ZR17・200/55ZR17●283万8000円

2022年4月

## ホンダ クロスカブ110/くまモンバージョン



最大トルクと燃費性能の向上を図りながら最新の排出ガス規制に対応した新エンジンを搭載。ABSを採用したフロントディスクブレーキと、前後キャストホイールおよびチューブレスタイヤを新たに採用。

- 空冷4ストOHC単気筒●109cc●8.0PS/7500rpm●0.90kg-m/5500rpm●107kg●80/90-17●80/90-17●36万3000円/37万4000円(くまモン)

2022年4月

## カワサキ Z650RS/50th Anniversary



649cc並列2気筒エンジンと軽量シャーシをZ650から継承し、レトロスポーツZ900RSの流れを受け継いだ普遍的な美しさをもつスタイルに搭載。ファイアーボールカラーのZ50周年記念モデルも登場。

- 水冷4ストDOHC 4バルブ並列2気筒●649cc●68PS/8000rpm●6.4kg-m/6700rpm●188kg/190kg(50th)●120/70ZR17・160/60ZR17●101万2000円/110万円(50th)

2022年4月/5月

## ホンダ スーパーカブ110/プロ



新エンジンを搭載するとともに、ABS付きのフロントディスクブレーキや前後キャストホイールとチューブレスタイヤを採用してモデルチェンジ。メーター内には新たにギアポジションや時計などが新たに用意された。

- 空冷4ストOHC単気筒●109cc●8.0PS/7500rpm●0.90kg-m/5500rpm●101kg/111kg(プロ)●70/90-17・80/90-17/70/100-14・80/100-14(プロ)●30万2500円/34万6500円(プロ)

2022年5月

## ヤマハ MT-25 ABS



エンジン性能を維持しながら、平成32年排出ガス規制に適合。加えて、クイックシフターをMT-25として初めてアクセラリ設定。カラーは同時に変更されたMT-07ABSと同様の3バリエーション。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●249cc ●35PS/12000rpm ●2.3kg・m/10000rpm ●167kg ●110/70-17-140/70-17 ●63万2500円

2022年5月/7月

## ヤマハ YZF-R25 ABS



エンジン性能を維持しつつ平成32年排出ガス規制に適合。さらにLEDウインカーを前後に採用し、クイックシフターをYZF-R25として初めてアクセラリ設定。WGP 60周年記念カラーも7月に発売。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●249cc ●35PS/12000rpm ●2.3kg・m/10000rpm ●169kg ●110/70-17-140/70-17 ●66万8800円/69万8000円 (WGP 60th Anniversary)

2022年6月

## ホンダ CB1000R ブラックエディション



車体色に精悍なグラフィイトブラックを採用。燃料タンクをはじめとして、ラジエーター、ジュラウド、シートレール、スイングアーム、マフラー、エキゾーストパイプ、ホイールナットなど細部まで、ブラックで統一。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●998cc ●145PS/10500rpm ●10.6kg・m/8250rpm ●214kg ●120/70ZR17-190/55ZR17 ●171万6000円

2022年6月

## ホンダ PCX/160



PCXとPCX160がカラーバリエーションを変更。両モデルにマットギアボックスブラックメタリックとフォギーブルーメタリックのカラーリングを新たに設定。PCXは全5色、PCX160は全4色。

- 水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●124cc(156cc) ●12.5PS/PS/8750rpm (15.8PS/8500rpm) ●1.2kg・m/6500rpm (1.5kg・m/6500rpm) ●132kg ●110/70-14-130/70-13 ●35万7500円(40万7000円) ※()はPCX160

2022年6月

## ホンダ クロスカブ50/くまモンバージョン



マフラープロテクターをブラックのカラーにするとともに車体色を変更。新色となるマットアーマードグリーンメタリックとパールティープマッドグレーの2色を設定。くまモンバージョンもラインアップ。

- 空冷4ストOHC単気筒 ●49cc ●3.7PS/7500rpm ●0.39kg・m/5500rpm ●100kg ●70/100-14-80/100-14 ●30万8000円/31万9000円(くまモン)

2022年6月

## ヤマハ Xフォース ABS



トラクションコントロールシステムや可変バルブを採用した155ccのブルーコアエンジンを、ストリートモトードを表現したボディに搭載。着信通知や燃費管理が可能なスマホ専用アプリに対応している。

- 水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●155cc ●15PS/8000rpm ●1.4kg・m/6500rpm ●130kg ●120/70-13-130/70-13 ●39万6000円

2022年7月

## スズキ GSX-S125 ABS



GSX-R125ABSと同様、最新の平成32年(令和2年)国内排出ガス規制に対応し、アンダーカウルの形状を変更した2022年モデル。トリトンブルーメタリック×タイタンブラックとタイタンブラックの2色設定。

- 水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ●124cc ●15PS/10500rpm ●1.1kg・m/8500rpm ●135kg ●90/80-17-130/70-17 ●42万2000円

2022年5月

## ヤマハ テネレ700 ABS



エンジンを平成32年排出ガス規制適合化し、新グラフィック&カラーを採用。ブルー、ブラック、ホワイトの3色で。ホワイトは赤のスピードブロックを配しつつゴールドのリムを採用している。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●688cc ●73PS/9000rpm ●6.9kg・m/6500rpm ●205kg ●90/90-21-150/70R18 ●128万7000円

2022年5月/7月

## ヤマハ NMAX155 ABS



Smart Motor GeneratorやStop & Start Systemを装備した平成32年排出ガス規制適合のブルーコアエンジンを搭載してモデルチェンジ。着信通知や燃費管理が可能なスマホ専用アプリに対応。

- 水冷4ストOHC4バルブ単気筒 ●155cc ●15PS/8000rpm ●1.4kg・m/6500rpm ●131kg ●110/70-13-130/70-13 ●40万7000円

2022年6月

## ヤマハ YZF-R3 ABS WGP 60周年記念カラー



1980年の「YZF500」をモチーフとしたヤマハレーシング伝統のカラーリングのほか、記念エンブレム、ゴールドのホイール、イエローのリアサスペンションスプリングなどを採用。240台限定。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ●320cc ●42PS/10750rpm ●3.1kg・m/9000rpm ●169kg ●110/70R17-140/70R17 ●72万3800円

2022年6月

## ホンダ スーパーカブ50/プロ



スタンダード、プロともにマフラープロテクターをブラックに変更。スーパーカブ50のリアキャリアをブラックに変更するとともに、車体色にグリントウエーブブルーメタリックを新たにラインアップ。

- 空冷4ストOHC単気筒 ●49cc ●3.7PS/7500rpm ●0.39kg・m/5500rpm ●96kg/108kg (プロ) ●60/100-17-60/100-17 / 70/100-14-80/100-14 (プロ) ●24万7500円/26万9500円(プロ)

2022年6月

## ヤマハ XSR900



ヤマハレーシングヘリテージを反映した新スタイルに変更。エンジンは888ccへと排気量アップし、軽量新フレームと軽量ホイールを採用した車体に搭載。IMUを活用し運転操作を支援する各種制御も装備。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列3気筒 ●888cc ●120PS/10000rpm ●9.5kg・m/7000rpm ●193kg ●120/70ZR17-180/55ZR17 ●121万円

2022年6月

## スズキ Hayabusa



カラー変更。標準モデルとしてサンダーグレーメタリック×キャンディスターリングレッド、クラススパークルブラック×マットブラックメタリックNo.2、プリリアントホワイト/パールビガブルーの3色を設定。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●1339cc ●188PS/9700rpm ●15.2kg・m/7000rpm ●264kg ●120/70ZR17-190/50ZR17 ●215万6000円

2022年7月

## カワサキ Ninja 1000SX



平成32年排出ガス規制へ適合するとともにカラーを変更。メタリックマットソプリンレッド×メタリックディアプロブラックを新たに設定。エメラルドブレイズグリーン×メタリックディアプロブラックは継続。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ●1043cc ●141PS/10000rpm ●11.3kg・m/8000rpm ●236kg ●120/70ZR17-190/50ZR17 ●159万5000円

2023年1月

## ホンダ CRF250L/CRF250ラリー/<S>



CRF250Lにスウィフトグレーを新たに設定し、ナックルガードを装備。CRF250L/250ラリーとともに平成32年(令和2年)排出ガス規制に適合。前後のサスストロークを延長させた<S>もラインアップ。

- 水冷4ストDOHC4バルブ単気筒●249cc●24PS/9000rpm●2.3kg-m/6500rpm●141kg/153kg(ラリー)●80/100-21・120/80-18●62万1500円(CRF250L/CRF250<S>)/76万4500円(CRF250ラリー/CRF250ラリー<S>)

2023年1月

## スズキ SV650/X ABS



SV650/X共に諸元などに変更はなく、SV650はグラススパークルブラック/ソリッドアイアングレー、リフレクティブブルーメタリック、グラススパークルブラックの3色となり、SV650Xはマットソードシルバーメタリックのみとなった。

- 水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●645cc●72PS/8500rpm●6.4kg-m/6800rpm●199kg●120/70ZR17・160/60ZR17●90万3000円/84万7000円

2023年1月

## スズキ ジクサー150



154cc空冷単気筒エンジンを搭載したライトウエイトスポーツモデルのジクサー150が令和2年国内排出ガス規制に対応し、カラー&グラフィックを一新。

- 空冷4ストOHC2バルブ単気筒●154cc●13PS/8000rpm●1.3kg-m/5750rpm●139kg●100/80-17・140/60R17●38万5000円

2023年2月

## ホンダ ゴールドウイング ツアー



水平対向6気筒を搭載した大型プレミアムツアラーゴールドウイング ツアーが平成32年(令和2年)排出ガス規制に適合させると同時にカラー変更。ベータシルバーメタリックとグラフィックブラックを新たに採用。

- 水冷4ストOHC4バルブ水平対向6気筒●1833cc●126PS/5500rpm●17.3kg-m/4500rpm●390kg●130/70R18・200/55R16●346万5000円

2023年2月

## ホンダ CBR650R/CB650R



CBR650Rは、パールグレアホワイトを新たに採用し、継続設定のカラーも車体一部の配色を変更。CB650Rのカラーリングは、車体一部の配色を変更。ともに、平成32年(令和2年)排出ガス規制に適合。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒●648cc●95PS/12000rpm●6.4kg-m/9500rpm●208kg(CBR)/203kg(CB)●120/70ZR17・180/55ZR17●107万8000円~111万1000円(CBR)/100万1000円~102万3000円(CB)

2023年2月

## ホンダ リード125



高級感のあるキャンディークラッシュレッドと、マットブラックの車体に赤いエンブレム、フロントブレーキキャリパー、リアサスペンションスプリングを採用したマットギャラクシーブラックメタリックを新設定。

- 水冷4ストOHC4バルブ単気筒●124cc●11PS/8750rpm●1.2kg-m/5250rpm●116kg●90/90-12・100/90-10●32万4500円~33万円

2023年2月

## カワサキ Ninja 250/KRT EDITION



メタリックマグネティックダークグレー×メタリックマットワイライトブルーとメタリックカーボングレー×メタリックマットカーボングレーにカラー変更。KRTが再びラインアップされた。

- 水冷4ストDOHC 4バルブ並列2気筒●248cc●35PS/12500rpm●2.2kg-m/10500rpm●166kg●110/70-17・140/70-17●67万1000円

2023年1月

## ホンダ レブル500



平成32年(令和2年)排出ガス規制に適合すると同時にカラーリングを変更。シンプルで落ち着いた印象のマットジーンズブルーメタリックと、モダンなパールティールマッドグレーの計2色を設定した。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●471cc●46PS/8500rpm●4.4kg-m/6000rpm●191kg●130/90-16・150/80-16●83万6000円

2023年1月

## ホンダ PCX/160

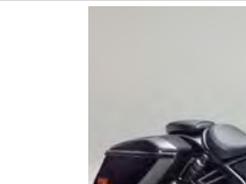


PCXにマットスーツブルーメタリックとマットマインブラウンメタリックを、PCX160にマットマインブラウンメタリックとボセイドンブラックを設定。ともにシート表皮のカラーをブラックに変更。

- 水冷4ストOHC4バルブ単気筒●124cc(156cc)●12.5PS/8750rpm(15.8PS/8500rpm)●1.2kg-m/6500rpm(1.5kg-m/6500rpm)●133kg●110/70-14・130/70-13●36万3000円(41万2500円)※( )はPCX160

2023年2月

## ホンダ レブル1100/T



大型フロントカウルとサイドバッグを装備したレブル1100T/DCTが登場。カラーはガンメタルブラックメタリックのみ。レブル1100/DCTは新色のイリジウムグレーメタリックと継続色のガンメタルブラックメタリックの2色に。

- 水冷4ストOHC4バルブ並列2気筒●1082cc●87PS/7000rpm●10.0kg-m/4750rpm●223kg(レブル1100)/233kg(レブル1100DCT)/238kg(レブル1100T)/248kg(レブル1100T DCT)●113万8500円(レブル1100)/124万8500円(レブル1100DCT)/131万4500円(レブル1100T)/142万4500円(レブル1100T DCT)

2023年2月

## ホンダ CBR250RR



カウルにレイヤー構造を採用。エンジンの細部を見直すことで最高出力を向上し、フロントはショーワ製SFF-BP倒立フォークに、Hondaセレクトダブルトルクコントロール、ハザードランプも新採用。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●249cc●42PS/13500rpm●2.5kg-m/10750rpm●168kg●110/70R17・140/70R17●86万9000円~90万7500円

2023年2月

## カワサキ Z250



カラー&グラフィックをキャンディークラッシュグリーン×メタリックスパークブラックに変更。令和2年排出ガス規制への適合で型式および型式指定・認定番号が変わり、それに伴い諸元が変更されている。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●248cc●35PS/12500rpm●2.2kg-m/10500rpm●164kg●110/70-17・140/70-17●63万8000円

2023年2月

## ホンダ スーパーカブC125



洗練されたデザインと高級感のある装備で人気のスーパーカブC125に、パールカデットグレー、マットアクシスグレーメタリックの2色が追加され、継続色のパールネビュラレッドと合わせて全3色のラインアップとなった。

- 空冷4ストOHC単気筒●123cc●9.8PS/7500rpm●1.0kg-m/6250rpm●110kg●70/90-17・80/90-17●44万円

2023年2月

## スズキ ジクサー250/SF



オイル冷却システムSOCSを搭載した水冷SEPエンジンを搭載し、軽快かつ爽快な走りが魅力のジクサー250とカウルを纏ったSF。2023年モデルはマットカラーとなり、各モデル2色展開となった。

●水冷4ストOHC4バルブ単気筒●249cc●26PS/9300rpm ●2.2kg・m/7300rpm ●154(158)kg ●110/70R17-150/60R17 ●48万1800/51万4800円  
※( )はSF

2023年2月

## スズキ Vストローム1050



双方向クイックシフトシステム、S.I.R.S(スズキエンジンジェントライドシステム)、5インチの大画面TFTメーターなど、長距離ツーリングでの利便性を上げる機能がさらに充実。

●水冷4ストDOHC 4バルブV型2気筒●1036cc●106PS/8500rpm ●10.1kg・m/6000rpm ●242kg ●110/80R19-150/70R17 ●162万8000万円

2023年2月

## スズキ Vストローム1050DE



Vストローム1050をベースに、フロントに21インチホイールを装着し、セミブロックパターンのタイヤ、幅広いハンドルを装備し登場した1050DE。トラクションコントロールシステムには専用のGモードも設定される。

●水冷4ストDOHC4バルブV型2気筒●1036cc●106PS/8500rpm ●10.1kg・m/6000rpm ●252kg ●90/90-21・150/70R17 ●171万6000万円

2023年2月

## ヤマハ YZF-R7 ABS



「Fun Master of Super Sport」がコンセプトのYZF-R7。ホワイトのボディには大胆にロゴグラフィックを配し、アクセントとなるバーミリオン(朱色)のホイールがポイントの新品。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●688cc●73PS/8750rpm ●6.8kg・m/6500rpm ●168kg ●120/70Z17R-180/55Z17 ●105万4900円

2023年2月

## ヤマハ MT-03 ABS



平成32年排出ガス規制に適合し、ニューグラフィックカラーで登場。シアンのホイールにグレーの車体、YZF-R1を彷彿させるブルー、マットダークグレーの3色を用意。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●320cc●42PS/10750rpm ●3.1kg・m/9000rpm ●167kg ●110/70Z17R-140/70Z17 ●68万7500円

2023年2月

## ヤマハ YZF-R25 ABS



「毎日乗れるスーパーバイク」をコンセプトに若年層に人気となっているYZF-R25 ABSに、斬新なトレンドカラー「パープル」を取り入れ、継続色のブルー、ブラックと合わせ3色ラインアップ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●249cc●35PS/12000rpm ●2.3kg・m/10000rpm ●169kg ●110/70-17-140/70-17 ●69万800円

2023年2月

## ヤマハ テネレ700 ABS



人気のアドベンチャーモデルテネレ700 ABSに、マットグレーの新品に、新たなグラフィックを採用したブルーが追加され、継続色のホワイトの3色ラインアップ。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●688cc●73PS/9000rpm ●6.9kg・m/6500rpm ●205kg ●90/90-21・150/70R18 ●139万7000円

2023年2月/4月

## ヤマハ トリシティ125/150ABS



フロント2輪のLMWモデルトリシティ125/150ABSが平成32年排出ガス規制適合の新ブルーコアエンジンを採用し新フレーム、ロングホイールベース化で上質な乗り味になってモラルチェンジ。

●水冷4ストDOHC4バルブ単気筒●124cc●12PS/8000rpm ●1.1kg・m/6000rpm ●168kg ●90/80-14-130/70-13 ●49万5000円※諸元は125

2023年3月

## ホンダ NT1100



カラーバリエーションとしてガンメタルブラックメタリックを新たに設定。継続色のマットイリジウムグレーメタリックとあわせて全2色の設定とした。また、マフラーの外観仕上げはヘアライン仕上げに変更。

●水冷4ストOHC4バルブ並列2気筒●1082cc●102PS/7500rpm ●10.6kg・m/6250rpm ●248kg ●120/70Z17R-180/55Z17 ●168万3000円

2023年3月

## ホンダ ディオ110/ベーシック



ディオ110はマットディムグレーメタリックの1色展開となり、新たに価格を抑えたベーシックタイプが仲間入り。ベーシックはパールジュビターグレー、パールジャスミンホワイト、マットキャラクシーブラックメタリックの3色を用意。

●空冷4ストOHC単気筒●109cc●8.7PS/7500rpm ●0.92kg・m/5750rpm ●96kg ●80/90-14-90/90-14 ●25万3000/21万7800円

2023年3月

## スズキ Vストローム250



令和2年国内排出ガス規制に対応し登場したVストローム250。スポーツアドベンチャーツアラーモデルとして、ビギナーからベテランまでを満足させる1台。カラーはレッド、ブラック、イエロー、シルバーの4色展開。

●水冷4ストOHC2バルブ2気筒●248cc●24PS/8000rpm ●2.2kg・m/6500rpm ●191kg ●110/80-17-140/70-17 ●64万6800円

2023年3月

## スズキ GSX250R



2017年のデビューから人気となっているGSX250Rが、令和2年国内排出ガス規制に対応させつつ、燃費の向上、出力特性を変化させ登場。カラーはレッド、ブラック、ブルー、ホワイトの4色がラインアップ。

●水冷4ストOHC2バルブ2気筒●248cc●24PS/8000rpm ●2.2kg・m/6500rpm ●181kg ●110/80-17-140/70-17 ●60万2800円~61万4900円

2023年3月

## スズキ バーグマンストリート125EX



ラグジュアリースクーターとして登場したバーグマンストリート125EX。停車時にエンジンを自動的に停止させるアイドリングストップシステムや、静かに始動させるサイレントスターターシステムが組み込まれたSEP-αエンジンを搭載。

●空冷4ストOHC2バルブ単気筒●124cc●8.3PS/6500rpm ●1.0kg・m/5500rpm ●112kg ●90/90-12-100/80-12 ●31万7900円

2023年3月

## スズキ Vストローム800DE



フロント21インチホイールを採用し、2軸1次バランススズキクロスバランサーを採用した775cc並列2気筒エンジンを搭載したスポーツアドベンチャーツアラーVストローム800DE。

●水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒●775cc●82PS/8500rpm ●7.7kg・m/6800rpm ●230kg ●90/90-21-150/70R17 ●132万円

2023年5月

ホンダ **CL500**



CL250iに続き登場したCL500。レブル500で高い評価を得るDOHC2気筒エンジンには、アシスト&スリッパークラッチを採用。カジュアルな印象のグリントゥエーブブルーメタリック、タフな印象のマットアーモンドグリーンメタリックの2色がラインアップ。

- 空冷4ストDOHC2気筒 ● 471cc ● 46PS/8500rpm ● 4.4kg・m/6250rpm ● 192kg ● 110/80R19-150/70R17 ● 86万3500円

2023年5月

ヤマハ **YZF-R3 ABS**



若年層に高い人気を誇るYZF-R3 ABSが平成32年排出ガス規制に適合し、前後ウインカーをLEDに変更し発売。グラフィックの変更以外に、新たにカーブルを追加し、3色ラインアップとなった。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ● 320cc ● 42PS/10750rpm ● 3.1kg・m/9000rpm ● 169kg ● 110/70R17-140/70R17 ● 72万6000円

2023年6月

スズキ **Hayabusa 25周年 特別仕様車**



2023年で25周年を迎えるハヤブサに登場した記念モデル。カラーやタンクの25周年記念エンブレム、シットプラストで25周年ロゴが入られたマフラーなどの特別仕様となっている。シングルシートカウルも標準装備。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ● 1339cc ● 188PS/9700rpm ● 15.2kg・m/7000rpm ● 264kg ● 120/70ZR17-190/50ZR17 ● 221万1000円 ※ 300台限定抽選

2023年7月

ホンダ **GB350/S**



2021年に登場したGB350/Sが平成32年排出ガス規制に対応させてつづ、GB350iにマットシルバーグレアホワイท์を施したリアサスのスプリングをブラックに、Sにはフコブルーが追加されハンドルがマットシルバー塗装などの変更がなされた。

- 空冷4ストOHC単気筒 ● 348cc ● 20PS/5500rpm ● 3.0kg・m/3000rpm ● 179(178)kg ● 100/90-130/70-18(150/70R17) ● 56万1000(60万5000)円 ※ ()はS

2023年7月

カワサキ **Ninja ZX-4RR KRT EDITION**



クラストップレベルの性能を発揮するZX-4Rの最上級モデルZX-4RR KRTエディション。専用カラー以外にもリアにはニンジャZX-10Rと同タイプのSHOWA BFRC-lite リヤショックアブソーバーを装備。

- 水冷4ストDOHC並列4気筒 ● 399cc ● 77PS/14500rpm(ラムエア加圧時80PS/14500rpm) ● 4.0kg・m/13000rpm ● 189kg ● 120/70ZR17-160/60ZR17 ● 115万75000円

2023年7月

カワサキ **Z900RS SE**



Z900RSのハイグレードモデルとして発売されるZ900RS SE。フレンド社製のフロントブレーキ、オーリンズ製のハイグレードリヤショックを装備し、専用カラーを採用。2023年モデルからの変更点はなし。

- 水冷4ストDOHC並列4気筒 ● 948cc ● 111PS/8500rpm ● 10.0kg・m/6500rpm ● 215kg ● 120/70ZR17-180/55ZR17 ● 170万5000円

2023年7月

カワサキ **Z900RS Yellow Ball Edition**



深みのあるキャンディグリーンに鮮やかなイエローボールを配し登場したイエローボールエディション。ヘリテージKAWASAKIロゴやZ1メモリーのサイドカバーマーク、シボ入りのシート、DOHCマークがデザインされたカバーなどが採用された。

- 水冷4ストDOHC並列4気筒 ● 948cc ● 111PS/8500rpm ● 10.0kg・m/6500rpm ● 216kg ● 120/70ZR17-180/55ZR17 ● 156万2000円

2023年5月

ホンダ **XL750 トランザルブ**



歴代のトランザルブシリーズが受け継いできたオールラウンド性能はそのまま、新開発の水冷4ストOHC4バルブ2気筒エンジンで、低・中速回転域で強力トルク性能を発揮。HSVCS、HSTCなどの最新機能も搭載される。

- 水冷4ストOHC4バルブ2気筒 ● 754cc ● 91PS/9500rpm ● 7.6kg・m/7250rpm ● 208kg ● 90/90-21-150/70R18 ● 126万5000円

2023年6月

ホンダ **グロム**



前年にモデルチェンジを遂げた登場したグロム。2023年モデルではさらに精悍な印象のアステロイドブラックメタリックと、スポーティな印象のゲイエティレッドの2色展開となった。

- 空冷4ストOHC単気筒 ● 123cc ● 10PS/7250rpm ● 1.1kg・m/6000rpm ● 103kg ● 120/70-12-130/70-12 ● 39万5000円

2023年6月

ヤマハ **シグナス グリファス**



原付二種スクーターモデルとして高い人気を誇るシグナスグリファスに、YZF-Rシリーズとリレーションを図ったブルーと、インパクトのあるオレンジが追加され、継続色のホワイト、ブラックと合わせて全4色ラインアップとなった。

- 水冷4ストSOHC4バルブ単気筒 ● 124cc ● 12PS/8000rpm ● 1.1kg・m/6000rpm ● 125kg ● 120/70-12-130/70-12 ● 37万4000円

2023年7月

カワサキ **Ninja ZX-4R SE**



77PSを発揮する新設計の水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒エンジンを搭載した、400ccスーパースポーツZX-4R SE。SHOWA SFF-BPフロントサスペンション、KTRC、KQSなど充実の装備も魅力。

- 水冷4ストDOHC並列4気筒 ● 399cc ● 77PS/14500rpm(ラムエア加圧時80PS/14500rpm) ● 4.0kg・m/13000rpm ● 190kg ● 120/70ZR17-160/60ZR17 ● 112万2000円

2023年7月

カワサキ **Z900RS CAFE**



人気のZ900RSに、フロントカウル、低いハンドル、シングル風シートを採用しカフェレーサーのような目でたで人気のZ900RS CAFE。仕様、カラーなど2023年モデルからの変更はなく、継続販売される。

- 水冷4ストDOHC並列4気筒 ● 948cc ● 111PS/8500rpm ● 10.0kg・m/6500rpm ● 217kg ● 120/70ZR17-180/55ZR17 ● 151万8000円

2023年7月

カワサキ **Z900RS**



レットモダンな外装に、最新の機能、装備を搭載し不動の人気モデルとなっているZ900RS。2024年モデルではカラー/ブラックのツートンと、ブラックにピンストライブを配した2色が登場した。

- 水冷4ストDOHC並列4気筒 ● 948cc ● 111PS/8500rpm ● 10.0kg・m/6500rpm ● 215kg ● 120/70ZR17-180/55ZR17 ● 148万5000円

2023年7月

ヤマハ **ナイケン GT**



大型スポーツタイプのLMWモデルナイケンGTが、新設計フレームに888ccに排気量アップした新型CP3エンジンを搭載しモデルチェンジ。その他にもセッティングが見直されたサスペンション、クイックシフターなど各部装備も変更された。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列3気筒 ● 888cc ● 116PS/10000rpm ● 9.3kg・m/7000rpm ● 270kg ● 120/70R15-190/55R17 ● 220万000円

2023年7月

## ヤマハ NMAX ABS



ヤマハのスポーツ通勤用MAXシリーズから発売される原付二種モデルNMAX ABSに、ダークブルーが追加され、継続色のマットダークグリーン、マットダークグレーと合わせて3色ラインアップとなった。

- 水冷4スト SOHC4バルブ単気筒 ● 124cc ● 12PS/8000rpm ● 1.1kg・m/6000rpm ● 131kg ● 110/70-13-130/70-13 ● 37万9000円

2023年8月

## カワサキ Z H2/SE



「Supogim」スタイリングを身に纏ったスーパーネイキッドモデルZ H2に2024年モデルが登場。今回の変更点としては新排気ガス規制に適合し、Z H2のみカラー変更となり、新たにメタリックカーボングレー×エポニーが採用された。

- 水冷4スト DOHC 並列4気筒 ● 998cc ● 200PS/11000rpm ● 14.0kg・m/8500rpm ● 240(241)kg ● 120/70ZR17-190/55ZR17 ● 201万3000(229万9000)円(0)はSE

2023年8月

## カワサキ Ninja ZX-10R/KRT EDITION



ウィングレット一体型のカウルに小型ヘッドライトと大口径ラムエアインテークを採用するなど、本格的な装備が魅力のニンジャ ZX-10R。2024年カラーではメタリックグラフィックグレー×メタリックディアプロブラックが新たに採用された。

- 水冷4スト DOHC 並列4気筒 ● 998cc ● 203PS/13200rpm(ラムエア加圧時)213.1PS/13200rpm ● 11.7kg・m/11400rpm ● 207kg ● 120/70ZR17-190/55ZR17 ● 236万5000円

2023年9月

## ホンダ モンキー125



基本構成はそのまま、歴代モンキーをイメージさせるシート座面のチェック柄や、燃料タンク形状を強調する台形のグラフィックを採用。カラーはパールネビュラレッド、パナサイエロー、パールシャイニングブラックの3色となった。

- 空冷4スト OHC 単気筒 ● 123cc ● 9.4PS/6750rpm ● 1.1kg・m/5500rpm ● 104kg ● 120/80-12-130/80-12 ● 44万円

2023年9月

## カワサキ Ninja 250/KRT EDITION



メタリックカーボングレー×メタリックマットカーボングレーにカラー変更となったニンジャ250。KRTエディションはタンクに描かれる Kawasaki Racing Teamのロゴが変更された。

- 水冷4スト DOHC 並列2気筒 ● 248cc ● 35PS/12500rpm ● 2.2kg・m/10500rpm ● 166kg ● 110/70-17-140/70-17 ● 70万4000円

2023年9月

## カワサキ Z400



400cc並列2気筒エンジンを搭載したミッドクラスのスーパーネイキッドマシンZ400。新たに発表された車体ではエポニー×メタリックカーボングレーを採用。

- 水冷4スト DOHC 並列2気筒 ● 398cc ● 48PS/10000rpm ● 3.8kg・m/8000rpm ● 166kg ● 110/70ZR17-150/60ZR17 ● 72万6000円

2023年9月

## カワサキ Z650



高いスポーツ性能を発揮するスーパーネイキッドZ650。新たに採用されたキャンディパーシモンレッド×エポニーではホイールまで、レッドとなることで、よりインパクトのある見た目となった。

- 水冷4スト DOHC 並列2気筒 ● 649cc ● 68PS/8000rpm ● 6.4kg・m/6700rpm ● 189kg ● 120/70ZR17-160/60ZR17 ● 101万2000円

2023年8月

## ホンダ EM1 e:(イーエムワン イー)



ホンダの国内二輪ラインアップで初めてとなる一般向け電動二輪車EM1 e。運転免許は第一種原動機付自転車となり、一充電あたりの53kmの走行が可能。カーボンニュートラル時代のパーソナル通勤用車を目指した一台。

- EF16M・交流同期電動機 ● 定格出力0.58kw ● 2.3PS/540rpm ● 9.2kg・m/25rpm ● 92kg ● 90/90-12-100/90-10 ● 29万9200円

2023年8月

## スズキ Vストローム250SX



油冷単気筒エンジンを搭載し、フロントには19インチホイールを採用したスポーツクロスオーバーモデルVストローム250SX。高い防風性のウインドスクリーン、ナックルカバーなど装備も充実する。

- 油冷4スト OHC4バルブ単気筒 ● 249cc ● 26PS/9300rpm ● 2.2kg・m/7300rpm ● 164kg ● 100/90-19-140/70-17 ● 56万9800円

2023年9月

## カワサキ Z250



Zシリーズ共通の「Supogim」デザインの車体に並列2気筒エンジンを搭載した本格的スーパーネイキッドマシンZ250。ブラックを基調としたメタリックマットグラフィックステンチールグレー×エポニーカラーが新たに採用された。

- 水冷4スト DOHC 並列2気筒 ● 248cc ● 35PS/12500rpm ● 2.2kg・m/10500rpm ● 164kg ● 110/70-17-140/70-17 ● 68万2000円

2023年9月

## カワサキ Ninja ZX-25R /KRT EDITION



クラス唯一の250cc並列4気筒エンジンを搭載したスーパースポーツモデルニンジャ ZX-25Rがメタリックファントムシルバー×エポニーに変更。KRTエディションは継続販売となる。

- 水冷4スト DOHC 並列4気筒 ● 249cc ● 48PS/15500rpm(ラムエア加圧時)49PS/15500rpm ● 2.2kg・m/12500rpm ● 184kg ● 110/70ZR17-150/60ZR17 ● 96万2500円

2023年9月

## カワサキ Ninja 400/KRT EDITION



ニンジャ400はパールアイボリー×メタリックマットダークグレー、メタリックマグネティックダークグレー×メタリックブラックにカラー変更。KRTエディションはタンクに描かれる Kawasaki Racing Teamのロゴが変更された。

- 水冷4スト DOHC 並列2気筒 ● 398cc ● 48PS/10000rpm ● 3.8kg・m/8000rpm ● 167kg ● 110/70ZR17-150/60ZR17 ● 77万円

2023年9月

## カワサキ Ninja 650/KRT EDITION



ニンジャ650は新たにマットカラーのメタリックマットグラフィックステンチールグレー×エポニーに変更。スーパーバイク世界選手権を走るニンジャ ZX-10RRをイメージしたKRTエディションはタンクに描かれる Kawasaki Racing Teamのロゴが変更された。

- 水冷4スト DOHC 並列2気筒 ● 649cc ● 68PS/8000rpm ● 6.4kg・m/6700rpm ● 194kg ● 120/70ZR17-160/60ZR17 ● 104万5000円

2023年9月

## カワサキ **メグロK3**



往年のブランド「メグロ」を最新の技術・装備で再現したメグロK3。ミラーコートブラックのタンクなど高級感漂う仕上がりがたまらない。前年モデルから仕様・装備に変更はない。

- 空冷4スト SOHC 並列2気筒 ● 773cc ● 52PS/6500rpm ● 6.3kg・m/4800rpm ● 227kg ● 100/90-19-130/80-18 ● 139万7000円

2023年9月

## カワサキ **W800**



1966年に登場した650-W1に始まった歴史を引き継ぎ発売されるW800。新たにメタリックディアプロブラック×エボニー、メタリックグラファイトグレー×メタリックディアプロブラックの2色展開となった。

- 空冷4スト SOHC 並列2気筒 ● 773cc ● 52PS/6500rpm ● 6.3kg・m/4800rpm ● 226kg ● 100/90-19-130/80-18 ● 123万2000円

2023年9月

## ヤマハ **テネレ700 ABS**



人気のアドベンチャーモデルテネレ700700 ABSに5インチカラーTFTメーター、3モードのABS、LEDウインカー、USBソケットなどの充実した装備を用意した2024年モデルが登場。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列2気筒 ● 688cc ● 73PS/9000rpm ● 6.9kg・m/6500rpm ● 205kg ● 90/90-21-150/70R18 ● 139万7000円

2023年10月

## カワサキ **Ninja 1000SX**



2024年モデルではエメラルドブレイズグリーン×メタリックマットグラフェンステールグレー、メタリックマットグラファイトグレー×メタリックディアプロブラック、メタリックディアプロブラック×メタリックファントムシルバーの3色ラインアップとなった。

- 水冷4スト DOHC並列4気筒 ● 1043cc ● 141PS/10000rpm ● 11.3kg・m/8000rpm ● 236kg ● 120/70ZR17-190/50ZR17 ● 159万5000円

2023年10月

## カワサキ **ヴェルシス1000 SE**



「ANY ROAD, ANY TIME」のコンセプトに、スポーツライディングからロングツーリングまで、オールラウンドな性能を発揮するヴェルシス1000 SE。2024年モデルではカラー&グラフィックが変更となった。

- 水冷4スト DOHC 並列4気筒 ● 1043cc ● 120PS/9000rpm ● 10.4kg・m/9000rpm ● 257kg ● 120/70ZR17-180/55ZR17 ● 204万6000円

2023年10月

## スズキ **GSX-S1000GT**



グランドツアラーを意味するGTの名前通りの快適な走りを提供してくれるGSX-S1000GT。新たにキャンディターリングレッドやブラックの外装にゴールドのホイールをあしらったグラススパークルブラックが登場。もちろんトリトンブルーメタリックもある。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 998cc ● 150PS/11000rpm ● 10.7kg・m/9250rpm ● 226kg ● 120/70ZR17-190/50ZR17 ● 159万5000円

2023年10月

## スズキ **GSX-S1000**



スーパースポーツシリーズのDNAを引き継ぎ発売されるGSX-S1000に2024年カラーが登場。マットカラーにレッドが映えるマットロードシルバーメタリックをはじめとし、トリトンブルーメタリック、グラススパークルブラックの3色展開となった。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列4気筒 ● 998cc ● 150PS/11000rpm ● 10.7kg・m/9250rpm ● 214kg ● 120/70ZR17-190/50ZR17 ● 143万円

2023年10月

## スズキ **Vストローム800**



人気のVストロームシリーズに新たに仲間入りするVストローム800。775ccの並列2気筒エンジンに、フロント19インチホイールを採用。最新のS.I.R.S.により、様々なシーンで快適な走りを実現。

- 水冷4スト DOHC 並列2気筒 ● 775cc ● 82PS/8500rpm ● 7.7kg・m/6800rpm ● 223kg ● 110/80R19-150/70R17 ● 123万2000円

2023年10月

## ヤマハ **トレーサー9 GT+**



スポーツツアラーとして確固たる地位を確立するトレーサー9 GT+に、ヤマハから発売されるオートバイで初となるミリ波レーダーを活用したアダプティブクルーズコントロール、新型ユニファイドブレーキシテムを搭載された。

- 水冷4スト DOHC4バルブ並列3気筒 ● 888cc ● 120PS/10000rpm ● 9.5kg・m/7000rpm ● 223kg ● 120/70ZR17-180/55ZR17 ● 182万6000円

2023年10月

## ヤマハ **XMAX ABS**



2017年に登場した初代から6年ぶりとなるモデルチェンジを果たしたXMAX ABS。Condensed 7days MobilityをコンセプトにXMAXの存在を印象づけるXモチーフの灯火類、スマートフォン連携機能と2画面構成の新型メーターなどを新採用。

- 水冷4スト DOHC4バルブ単気筒 ● 249cc ● 23PS/7000rpm ● 2.4kg・m/5500rpm ● 181kg ● 120/70-15-140/70-14 ● 71万5000円

2023年10月

## ヤマハ **YZF-R125 ABS**



盛り上がる原付二種クラスに満を持して登場したYZF-R125 ABS。ヤマハのスポーツモデルYZF-RシリーズのDNAを受け継ぎながら、街中などの日常からサーキットなどの非日常まで楽しめる1台。

- 水冷4スト DOHC4バルブ単気筒 ● 124cc ● 15PS/10000rpm ● 1.2kg・m/8000rpm ● 141kg ● 100/80-17-140/70-17 ● 51万7000円

2023年10月

## ヤマハ **YZF-R15 ABS**



YZF-R125と同様同じ車体構成ながら、155ccのエンジンを搭載することで、より走りか楽しめるYZF-R15 ABS。VVA(可変バルブ)採用のエンジンやトラクションコントロールなど最新の装備も魅力。

- 水冷4スト DOHC4バルブ単気筒 ● 155cc ● 19PS/10000rpm ● 1.4kg・m/8000rpm ● 141kg ● 100/80-17-140/70-17 ● 55万円

2023年10月

## ヤマハ **NMAX155 ABS**



静かなエンジン始動/再始動を可能にする「Smart Motor Generator」を採用したブルーコアエンジンにコンパクトなボディで人気のNMAX155。2023年モデルではオートドックスもホワイトと、スポーツテイナレットが追加。

- 水冷4スト DOHC4バルブ単気筒 ● 155cc ● 15PS/8000rpm ● 1.4kg・m/6500rpm ● 131kg ● 110/70-13-130/70-13 ● 42万3500円

## 2023年12月 カワサキ Ninja ZX-4RR 40th Anniversary Edition



最高出力77PSを発揮するZX-4RRにも40周年記念モデルが設定された。外装から車体のカラーリング、デカール、ロゴの他にテールカウルには1989年のZXRシリーズのフロントでZX-4RRロゴをあしらっている。

- 水冷4ストDOHC並列4気筒 ● 399cc ● 77PS/14500rpm (ラムエア加圧時80PS/14500rpm)
- 4.0kg・m/13000rpm ● 189kg ● 120/70ZR17-160/60ZR17 ● 117万7000円

## 2023年12月 カワサキ Ninja ZX-6R/KRT EDITION



ZX-10Rからさらに進化したNinjaデザインの車体に、KQS、KTRC、KIBS、パワーモードの選択など、新世代のニンジャにふさわしいアップデートが施され登場。カワサキケアにも対応。

- 水冷4ストDOHC並列4気筒 ● 636cc ● 122PS/13000rpm (ラムエア加圧時128PS/13000rpm)
- 7.0kg・m/11000rpm ● 199kg ● 120/70ZR17-180/55ZR17 ● 156万2000円

## 2023年12月 カワサキ Ninja 1000SX 40th Anniversary Edition



ニンジャ1000SXに用意された40周年アニバーサリーカラーは、1985年モデルの北米向けGPZ900Rのオリジナルカラーともいえるファイアクラッカーレッドとエポニーのトップガンカラーを採用。

- 水冷4ストDOHC並列4気筒 ● 1043cc ● 141PS/10000rpm ● 11.3kg・m/8000rpm ● 236kg ● 120/70ZR17-190/50ZR17 ● 162万8000円

## 2023年12月 ヤマハ XSR125 ABS



XSRシリーズのアイデンティティはそのままに124ccエンジンを搭載し、原付二種クラスとして登場したXSR125 ABS。先に発売されたYZF-R125、MT-125同様、若い世代がバイクライフを始めやすいエントリーモデルとして登場。

- 水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ● 124cc ● 15PS/10000rpm ● 1.2kg・m/8000rpm ● 137kg ● 110/70-17-140/70-17 ● 50万6000円

## 2024年1月 カワサキ Ze-1



カワサキから発売されたEVスポーツモデルZe-1。400ccクラスの車体に、EVならではの早いレスポンスとトルクで、静かで俊敏な走りを実現。ROADとECOの2つの走行モードが用意される。原付二種免許で運転可能。

- 交流同期電動機 ● 定格出力: 0.98kW ● 12PS/2600-4000rpm ● 4.1kg・m/0-1600rpm ● 135kg (バッテリー2個含む) ● 100/80-17-130/70-17 ● 101万2000円

## 2024年1月 カワサキ Ninja e-1



ニンジャシリーズのEVモデルとして登場するニンジャe-1。一時的な加加速力を得られるe-boostや、駐輪場での移動に便利な後進機能付きウォークモードなども装備される。コチャも原付二種免許で運転可能。

- 交流同期電動機 ● 定格出力: 0.98kW ● 12PS/2600-4000rpm ● 4.1kg・m/0-1600rpm ● 140kg (バッテリー2個含む) ● 100/80-17-130/70-17 ● 106万7000円

## 2024年1月 カワサキ Ninja H2 SX SE



2024年モデルではエメラルドブレイズドグリーン×メタリックディアブロブラックに変更されて登場したニンジャHS SX SE。塗装の一部にニンジャH2カーボンにも採用されたハイリデュラブルペイントが使用されている。

- 水冷4ストDOHC並列4気筒 ● 998cc ● 200PS/11000rpm (ラムエア加圧時210PS/11000rpm)
- 14.0kg・m/8500rpm ● 267kg ● 120/70ZR17-190/55ZR17 ● 306万9000円

## 2024年1月 スズキ GSX-S1000GX



スポーツツアラーとアドベンチャーを融合させたクロスオーバーモデルGSX-S1000GX。スズキの二輪車として初となるスズキアドバンスドエレクトロニックサスペンションや多彩な電子制御機能が走りが楽しめる1台。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ● 998cc ● 150PS/11000rpm ● 10.7kg・m/9250rpm ● 232kg ● 120/70ZR17-190/50ZR17 ● 199万1000円

## 2024年1月 スズキ GSX-8R



GSX-8Sをベースに、スポーツライディングに適したカウリングやセレクトハンドルを採用したスポーツバイク。トリトンブルーメタリック、マットソーダシルバーメタリック、マットブラックメタリックNo.2の3色がラインアップ。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列2気筒 ● 775cc ● 80PS/8500rpm ● 7.7kg・m/6800rpm ● 205kg ● 120/70ZR17-180/55ZR17 ● 114万4000円

## 2024年1月 ヤマハ YZF-R1/M ABS



ヤマハのフラッグシップモデルYZF-R1/Mに、より高い質感を与えてくれるニューカラーが登場。YZF-R1MのアイコンとなっているVフ掛けされたアルミ製燃料タンクは継続して採用される。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ● 997cc ● 200PS/13500rpm ● 11.5kg・m/11500rpm ● 201(202)kg ● 120/70ZR17-190/55ZR17 (120/70ZR17-200/55ZR17) ● 236万5000(319)万円 ※ () はR1M

## 2024年1月 ヤマハ MT-10 ABS/SP



MTシリーズの最高峰モデルMT-10に、新たなトレンドを提案するダークグレーの車体や、シアンカラーのグラフィック、ホイールを採用した新色が仲間入り。

- 水冷4ストDOHC4バルブ並列4気筒 ● 997cc ● 166PS/11500rpm ● 11.4kg・m/9000rpm ● 212(214)kg ● 120/70ZR17-190/55ZR17 ● 192万5000(218万9000)万円 ※ () はSP

## 2024年1月 ヤマハ トリシティ300



フロント2輪のLMWモデルTRICITY300が、2020年の登場以降初となるモデルチェンジを果たした。エンジン性能はそのまま平成32年排出ガス規制に対応させ、カラーリングとグラフィックを一新。

- 水冷4ストDOHC4バルブ単気筒 ● 292cc ● 29PS/7250rpm ● 3.0kg・m/5750rpm ● 237kg ● 120/70-14-140/70-14 ● 104万5000円

## 2024年2月 ホンダ CBR600RR



新たにクイックシフターが標準装備され、平成32年排出ガス規制に対応。グランプリレッドにはグラフィックデザイン、配色が一部変更され、マットリズミックブラックメタリックが追加となった。

- 空冷4ストDOHC並列4気筒 ● 599cc ● 121PS/14250rpm ● 6.4kg・m/11500rpm ● 193kg ● 120/70ZR17-180/55ZR17 ● レッド160万6000/ブラック157万3000円